

始
→



新しい学習指導の計画

納本

中学1,2,3年用

栃木師範男子附属小・中学校
教育研究会編

株式会社 技報堂 刊

栃木師範男子附屬小・中學校
教育研究會 編

新しい學習指導の計畫

(中學一・二・三年用)

株式會社

技

報

堂刊

372
69
a



131162

まえがき

新しいほんとうの教育は、人間の眞實な良心の恢復にその出發點をもとめなければならない。だから眞に人間性の生長と發展とを念願とする新教育は、まず私たちに自主性の確立を條件として要求している。

もともと人間は、自然的な、そして歴史的な、さらに現實の社會的な環境の中でそだてられるのであるが、しかもみずから心身の統一體として意識し、自分で考えてはその目的をたてて逆にこの環境にはたらきかける。

すなわち、環境に順應することによつてつくられながら、なお環境そのものを創造していくものと考えられる。

かくて教育の眼は、環境としての社會構造にむけられ、そのひとりびとりをして、より眞實で、より美しい社會の構成員にまでしあげる使命をもつとともに、さらに協働による郷土文化の育成を起點として、新世界文化への公路をひらくことともなるのである。

だから教育は、それ自身が民主的な社會構造のうちに、正しく位置づけられ科學的に運営されなければならない。

それから新教育は、兒童中心の教育でもある。そこでは兒童の生活經驗をもととして、いわゆる“必要と興味”とが助長され、問題が解決されていく。それは教權にむちうたれてきた封建的な束縛から解放されて、兒童が目的的な存在となり、兒童の活潑な自己表現が中心となつて、革新的な行動的な、創造的な教育となる。そして兒童の生活活動が組織化され、その心身の發達に應じてつくられた教科課程は、さらに具體的に、この兒童の實態と、この地域の季節や、風俗、習慣など、一切の社會的事情をふくめた環境の實態とに關連をもちながら、學習指導の計畫がたてられ、學習の實際がすすめられるのである。

それは、まさに教育における主客の轉換でなければならない。

かくて新教育ではいろいろと新しい方法がとりあげられていく。しかし新教育の新教育たるゆえんは、それら幾多の新しい方法をして可能ならしめるとこ

ろの根底的な教育精神にあるのであつて、斷じ單なる方法て上の革新に終らしめてはならない。子どもたちを友として敬愛するところの民主的な指導者は、まつたく新しい教養と、良心的な自己反省によつて、本質的に人間改造のできた知性ある信仰の人々でなければならぬと思う。

かかる意味において私たちはいつも生活の頂點にたつている。それは完成された、固定的なものではなく、たえず動き、つねに生長しつつある“いま”のそれである。

私たちはいつも、かく省みてはみずからをふかめ、ともに語つては互に高めあつて行こうとしている。かつて教育生活におけるひとつひとつの足跡を、客觀的にかえりみるために私たちは、いくたびかそのありのままを公開してきた。そのたびごとにいささかでも世に資料を提供し、かつ批判を得て自己の教育的な生長につとめてきたのであるが、いままた、たからぎ研究紀要、第三輯として“新しい學習指導の計畫”を刊行した。ここにひろく諸賢の御批判を、せつにお願いしてやまない次第である。

昭和二十二年八月

栃木師範學校男子部附屬教育研究會

目 次

まえがき	1
指導計畫立案の方針	5
中 學 一 年	
1. 國語科學習指導年次計畫	10
2. 社會科學習指導年次計畫	14
3. 數學科學習指導年次計畫	18
4. 理科學習指導年次計畫	26
5. 音樂科學習指導年次計畫	41
6. 體育科學習指導年次計畫	49
7. 圖畫工作科學習指導年次計畫	55
8. 職業科農業學習指導年次計畫	63
9. 職業科工業學習指導年次計畫	76
10. 職業科家庭學習指導年次計畫	84
中 學 二 年	
1. 國語科學習指導年次計畫	91
2. 社會科學習指導年次計畫	95
3. 數學科學習指導年次計畫	98
4. 理科學習指導年次計畫	105
5. 音樂科學習指導年次計畫	114
6. 體育科學習指導年次計畫	122
7. 圖畫工作科學習指導年次計畫	128
8. 職業科農業學習指導年次計畫	136
9. 職業科工業學習指導年次計畫	147
10. 職業科家庭學習指導年次計畫	155
中 學 三 年	
1. 國語科學習指導年次計畫	162

2. 社會科學習指導年次計畫	167
3. 數學科學習指導年次計畫	170
4. 理科學習指導年次計畫	175
5. 音樂科學習指導年次計畫	195
6. 體育科學習指導年次計畫	206
7. 圖畫工作科學習指導年次計畫	216
8. 職業科農業學習指導年次計畫	223
9. 職業科工業學習指導年次計畫	232
10. 職業科家庭學習指導年次計畫	240

◇指導計畫立案の方針

(1) この學習指導の計畫は、どのようにして生まれて来たか。

新しい教科課程は、新しい指導要領を道しるべとして、この新年度に發足した。四月はじめ、新しい教科課程に衣がえした學校が、子供たちをむかえてますつきあつたことは、學校に於ける子供たちの一日の時間的なくらし方をどうするか、ということであつたと思う。そこで最初に、どこの學校でも、何時にはじめてどんな工合に振鈴して行くかという日課時限や、それとからんで、時間割などが問題にされて新教育の一應の枠組が考えられたのである。

ところが、さて、次の問題は、きめられたその枠組で、なにをどんなふうによつていくか、ということであつた。ここでは教科内容や、それについての學習指導の計畫や、學習指導法のことから取上げられたのである。しかしこれは、新しい教科課程運営上の最も大切な問題の一つであつて、一朝一夕にきまることでもないし、又學習指導要領や教科書もまだ揃っていないなどと、これを解決する上にいろいろと困難があつたのである。われわれも、同じ道を行くものとして、同様にこの困難に出會つて悩んだ。或る教科はたよるべきなにもないままに、いわゆるくふうで學習が行われたり、或る教科では、ようやく手に入つた数少い教科書か、學習指導要領などが利用されたりした。しかし、幸い今は曲りなりにも學習のすすめられる程度にいろいろ揃つて來ていることはうれしいことである。われわれは、上のような困難の時に、ぜひ、なにを、どんなふうによつていくかの見通しを持ちたいと考え、又一般的に示された學習指導要領を、この郷土の、この子供たちのものにしたいたいの念願から、新しい教科課程にもとづいた、われわれの各科學習指導の計畫を立ててみたのである。まことにこのような悩みの中から生まれたもので、まだまだ不十分な試案であるが、一應この郷土の實情に即して、この子供のために、なにを、どんなふうによつていくか、の要求にこたえようとしたものである。不備の點は實驗の記録と反省とによつてよりよいものにして行きたいと考えている。

(2) この學習指導の計畫は、どのようにつくられているか。

學習指導計畫の一般的な立て方については、學習指導要領（一般篇）にくわしくのべられているので、ここでは“新しい學習指導の計畫”で特に考えられたことを記すことにする。

(イ) 配當時間

(A) 小學校の指導計畫の場合

○小學校案の中の、作業單元や題材に対する豫定時間は、下の表のように、その教科の特質を考へて、郷土の季節との關係に於て配當した。これは、季節による寒暖や、日照時間の子供への影響と、季節的・時期的に考慮される教科の要求とによつたものである。

○しかし實際問題として、下の表の示すように、一年の間に何度も教科配當の時間が變つてゐることは、あまりはんさで困るのではないかと心配も起るのであるが、これは特別教室や専科教諭の時間などを考慮に入れた、週のプログラムの編成活用によつて、むしろなんでもなく解消する問題である。

◇教科時間配當表 (試案)

季節時間 (週數)	春季時間 (10)	夏期時間 (5)	秋季時間 (9)	多期時間 (8)	年度末時間 (4)	計 (36)
始と終	4.12—7.5	7.7—9.20	9.22—11.29	12.1—2.14	2.16—3.17	
授業可能の	月	四 五 六 七 八 九	一 二	三 一 二 三		
	週	2 4 4 2 3 1	4 4	4 2 2 1	3	(216日) 36

○この36週は、學習指導要領(一般篇)の35週に對するもので、1週の餘分を見込んでゐる。

○4.12—7.5 とは4月12日から7月5日の意味である。

學年	季節時間 教科	春 (10)			夏 (5)	秋 (9)	多 (8)	年度末 (4)	合計								
		四	五	六					本校	文部省							
一	國 (5)	6	3	16	4	16	4	25	5	54	6	40	5	20	5	177	175
	社 (4)	10	5	16	4	16	4	20	4	27	3	40	5	12	3	141	140
	算 (3)	4	2	8	2	12	3	15	3	36	4	24	3	12	3	111	105
	理 (2)	4	2	12	3	12	3	10	2	18	2	8	1	8	2	72	70
	音 (2)	4	2	8	2	8	2	10	2	18	2	16	2	8	2	72	70
	圖工 (3)	4	2	12	3	12	3	15	3	27	3	24	3	16	4	110	105
	體 (3)	4	2	16	4	12	3	15	3	36	4	8	1	16	4	107	105
總 (22)		36	18	88	22	88	22	110	22	216	24	160	20	92	23	790	770

學年	季節時間 教科	春 (10)			夏 (5)	秋 (9)	多 (8)	年度末 (4)	合計								
		四	五	六					本校	文部省							
二	國 (6)	10	5	24	6	30	6	54	6	56	7	24	6	218	210		
	社 (4)	10	5	20	5	16	4	20	4	27	3	32	4	20	5	145	140
	算 (4)	10	5	20	5	16	4	20	4	45	5	32	4	12	3	155	140
	理 (2)	6	3	12	3	12	3	10	2	18	2	8	1	8	2	74	70
	音 (2)	4	2	8	2	8	2	10	2	18	2	16	2	8	2	72	70
	圖工 (2)	4	2	8	2	12	3	15	3	36	4	16	2	16	4	107	105
年	體 (3)	8	4	16	4	12	3	15	3	36	4	16	2	8	2	111	105
年	總 (24)	52	26	104	26	100	25	120	24	234	26	176	22	96	24	882	840

學年	季節時間 教科	春(10)	夏(5)	秋(9)	多(8)	年度末(4)	合計						
							本校	文部省					
三	國 (6)	50	5	30	6	63	7	43	6	24	6	215	210
	社 (5)	50	5	25	5	36	4	48	6	20	5	179	175
	算 (4)	50	5	15	3	36	4	32	4	16	4	149	140
	理 (2)	30	3	10	2	18	2	8	1	8	2	74	70
	音 (2)	20	2	10	2	18	2	16	2	12	3	76	70
	圖 (3)	20	2	15	3	36	4	24	3	16	4	111	105
年	體 (3)	40	4	15	3	36	4	8	1	8	2	107	105
年	總 (25)	260	26	120	24	243	27	184	23	104	26	911	875

學年	季節時間 教科	春(10)	夏(5)	秋(9)	多(8)	年度末(4)	合計						
							本校	文部省					
四	國 (7)	60	6	30	6	72	8	56	7	28	7	246	245
	社 (5)	50	5	20	4	36	4	48	6	24	6	178	175
	算 (4)	50	5	15	3	36	4	32	4	12	3	145	140
	理 (3)	40	4	15	3	27	3	16	2	12	3	110	105
	音 (2)	20	2	5	1	18	2	24	3	8	2	75	70

年	圖工(2)	20	2	10	2	27	3	8	1	8	2	73	70
	體(3)	40	4	15	3	36	4	8	1	8	2	112	105
	自研(2)	20	2	10	2	18	2	16	2	8	2	72	70
	總(28)	300	30	120	24	270	30	228	26	112	28	1010	980

學年	季節 時間 教科	季節										合計	
		春(10)	夏(5)	秋(9)	冬(8)	年度末 (4)	本校	文部省					
年	國(6)	50	5	25	5	63	7	56	7	20	5	214	210
	社(5)	60	6	20	4	36	4	48	6	16	4	180	175
	算(4)	50	5	15	3	36	4	24	3	16	4	141	140
	理(3)	40	4	10	2	27	3	16	2	16	4	109	105
	音(2)	20	2	5	1	18	2	16	2	12	3	71	70
	圖工(2)	20	2	10	2	27	3	8	1	8	2	73	70
	家(3)	30	3	10	2	27	3	24	3	16	4	107	105
	體(3)	40	4	15	3	36	4	8	1	8	2	107	105
	自研(2)	20	2	10	2	18	2	16	2	8	2	72	70
	總(30)	330	33	120	24	288	32	216	27	120	30	1074	1050

學年	季節 時間 教科	季節										合計	
		春(10)	夏(5)	秋(9)	冬(8)	年度末 (4)	本校	文部省					
六	國(6)	60	6	25	5	54	6	56	7	20	5	215	210
	社(5)	60	6	20	4	45	5	40	5	16	4	181	175
	算(4)	50	5	15	3	36	4	24	3	16	4	141	140
	理(3)	30	3	10	2	27	3	24	3	16	4	107	105
	音(2)	20	2	5	1	18	2	16	2	12	3	71	70
	圖工(2)	20	2	10	2	27	3	8	1	8	2	73	70
	家(3)	30	3	10	2	27	3	24	3	16	4	107	105
	體(3)	40	4	15	3	36	4	8	1	8	2	107	105
	自研(2)	20	2	10	2	18	2	16	2	8	2	72	70
	總(30)	330	33	120	24	288	32	216	27	120	30	1074	1050

○教科の右下の(5)(4)などは、文部省配當の週時間の最低を示した。
○35などは本校の週配當時間を示した。

○本校の總時間は、文部省のものよりも、何れも多くなっているが、指導計畫の配當時間は、35週として、文部省のものと一致させている。

(B) 中學校の指導計畫の場合

○われわれの中學校は現在手不足のため、教科配當時間の充分な季節的考慮が出来ない實情にあるため、止むを得ず此の度の計畫としては、學習指導要領(一般篇)の最低時數のものを取つて、配當時間の基礎とした。

○なお一年間を通しての週數は、次の表のように考へて立案している。

月	四	五	六	七	八	九	一	二	三	計
週數	3	4	2	3	0	4	3	4	3	35

(ロ) 各科の指導計畫の形式

これは形式的に一つに統一することを考へず、各科の特質に應じて立案することとした。なおそれについて、その科で特に必要とする立案の趣旨などつけ加えて記すこととした。

(ハ) 指導計畫一覽表

一年間を通しての學習内容について見通しをつけ、さらに各教科相互の連絡を明かにするために、學年毎に作業單元又は題材と學習要項とを記して指導計畫の一覽表とした。

中學一年

國語科學習指導年次計畫

◆學習活動の要項をどんな考え方によつてあげたか。

○國語を正しくよく話し、かつきくことができるとともに、また正しくよく読み、綴り、書く能力を持つようになること。

(學習指導要領一般編—教育の一般目標)

○こんごの國語教育は、國語教育の目的において、内容それ自體の受けいれという受身の立場から、自己の思想感情を正しく、力強く、美しく、またおもむき深く表現し、みずからまた理解する機能そのものの養成という生徒みずからが、みずからの道を創造していくということをめがけて。

(つごうにより前期用だけ)

◆どのようにつかつていつたらいいか。

○學習は計畫通りにすすめようと意識的にもつていくと指導者の意識に左右されて、自主性をもつた學習がいとなまれない、これはまことにこのましくないことである。

○生徒の生活より離れてはならない。教育的意圖をもちながらも、生徒の興味と關心をそらすことなく、生徒の發達に應じて、たのしい學習としたい、もちろん學習は生徒の生活であるから。

月	季節と行事	生徒の生活	題目	時	學習要項	備考
4	入學式 さくら 花見 學友會編成 苗代 かえる	中學生となつてほこりのある生活にはいる 學級役員の問題に關心をもつ 級友ともそろそろ顔なじみ	中學生になつて 第一歩 世界をつなぐもの	2 4 6	○感想文を書く ○自分の境遇と事實に即した抱負等を述べる ○めいめいで分擔して演出してみる ○みぶりをつけて特に發音發聲に注意する ○反復していることばのいい方等をくふうして強弱あるいは緩急などについてもくふうする ○多人數でする時のくふうをする ○感想文をよびかけの形に書き直してみる ○少年赤十字とはどんな團體か ○どんなことに努力しているのか	4 2 社會科

身體検査	になつてくる					
葉ざくら	休時間などは小學校の頃の思い出話をしあう生徒の群れがある					
天長節						
家庭訪問	春もさかりをこしての自然を鑑賞する	雨にもまけず	3	○宮澤賢治についてその作品、風の又三郎、どんぐりと山猫等の作品により話合う ○いくつかをまとめてくぎりをつける ○なぜこのようなことを言つてゐるのか ○賢治の精神にふれていく ○次に自分の感想を記しそれを互に話合う ○この作者の他の詩や物語りを讀む ○自由詩と定型詩のちがいを學ぶ	1 農業	
5	たんごのせつく 創立記念日 八十八夜 つばめ 若葉 茶つみ	おはよう	1 4	○詩をつくつてみる ○今までに心をうたれたことばを思い出してみる、それはなぜだろう ○生きたことばとはどんなことばかということについて話合う ○學校や家や通學の途中での人のいつたことばをノードしておく ○思考感動と一體となつたことばの味をとらえる ○韻律を生かして讀むにはどうすればいいか ○雨にもまけずとくらべてみる ○詩のうたつてゐる情景を頭に浮べる ○散文にしてさし繪を入れる ○山村暮鳥について話合う	2 1 4	2 理科
	青葉もきれいで家に戻つて茶つみをする生徒もある	昆虫記	4	○フアーブルとはどんな人が ○實驗のやり方のこまかい點に氣をつける	2 理科	

春季遠足	教先生を迎える		○いつでもどこでどんなふうにやつたのかその結果はどうであったか ○二度目の実験はどうか等いくつかの実験はどういう関係があるか ○母性愛によつて本能と智力とはどんな差があるか ○西洋的な表現方法をつかむ	
父兄會				
教育實習		私の研究	2 ○実験の記録をしてみる ○こまかに具体的に書く ○それについて話合う	
花壇の手入れ	よい季節なので遠足や運動會が催される	潮目	3 ○海へ行つたことについていろいろ話合う ○潮目について話合う ○でてくる人物についていろいろ調べてみる ○潮目という現象について説明の文をぬき書きしてみる	2
小運會				
體格検査		日記から	4 ○日記の書き方について話合う ○自分の日記を読んでその内容と本文の内容また表現方法についてどこがどうちがうか ○天體のふしぎさについて研究したことを話合う ○文の中でおじさんと作者の話合いを對話の形の文にしてみる ○國語第三學年上のあさがほの花を読む ○確かなもの永遠なものということについて話合つてみる ○つづけて日記をつける	2
麥の中耕				
	若葉の景色青葉の庭	初夏の道	2 ○初夏の道を散歩してその間に見たり聞いたりした景物の特徴をとらえてうつつだす ○二點優れた作品を印刷してそれを推敲する	
6 入梅	梅雨になつてじめじめした日がつづく	初夏の奈良	4 ○奈良の繪はがきを集めてそれを見ながら話合う ○家の人から聞いたことなども大いに参考になる ○初夏の奈良を作者が歩いた順、場所の景色と井泉水の心持とを考ふる ○奈良の動植物について本文の中からぬきだして話合う ○井泉水のことについてその作風をしつかりつかみながら文表現を學ぶ ○繪に表現してみる ○自分の旅行日記を紀行文に書く ○井泉水の著書を見る	2
さみだれ				
田植え				
麥刈り				
魚つり	農家の生徒は特に多忙な家事を手傳う			
朝顔の手入れ				
校醫檢診				
農繁休業		りすを育てる	6 ○各自動物を育てた経験を發表しあうそれを作文する ○りすについて話合う ○文を最後までしつかり読み通す ○文を読んでどのへんのところに心をひかれたか	3 理科
養蠶				
ほたる	静かな初夏の氣分にひたる			
夜店	頃となる			

			○科學的な觀察の文としての表現を學ぶ	
7 たなばた		りすを育てる	2 ○表現されたおもしろいことばをひろいだしてみる ○動物への深い愛情から生まれた細かい觀察についてぬき書きしてみる ○二葉亭四迷の犬ころなどを讀んで感想文を書く	2 理科
田の草取り	教生先生を送りそして迎える			
教育實習		學校のかえり道	2 ○事件の時、場所、人物その経過感想を述べる ○發表會を開く	
		末ひろがり	4 ○狂言について話合う ○太郎冠者がどんなことをしているか ○どこがどんなふうにおもしろかつたか ○すじをしつかりたどつてみる ○むずかしいことばを今のことばにあててみる ○敬語をひろいあげてみる ○らんぼうにいつていることばをあげる ○大名のせりふの中に表れた大名の心持のうつつゆきをみる ○この文のかなのつかい方と現代かなづかいとを比較する	4
お盆				
水泳	暑さは本格的になつて夜は涼みするものもある			
夕涼み		涼み臺	5 ○寺田寅彦について調べる知つている人に聞く ○生き生きとしたいい表わしのしであるところはどこかそれはなぜだろう ○隨筆について話合う ○科學者らしいものの考え方科學者らしいめんみつな觀察がよく表われたところはどこか ○文中の涼み臺と縁臺について ○作文してみる	2 理科
夏休み		ことしの夏休みには	2 ○想像、豫想すること期待することを論理的にまとめる ○それについての鑑賞批評をする	

社會科學習指導年次計畫

計畫の特色

(1) 基本的な特質

○中學校の計畫は、小學校の場合とよほど趣きを異とする。先づ生徒は、自然的な季節行事の影響も受けるが、それよりも、時々刻々と生起する社會的な問題などの關心が増大して来る。したがつて、生徒の生きた興味や欲求の中心は、豫測することが非常に困難となる、その上、さうした生徒と教師との話し合いが、學習の單元や學習活動が決められて行くとする、指導計畫は、非常な幅を持つたものでないと、實際に利用されないことになる。

○なお、第二に考えられることは、中學校社會科の面からであるが、小學校のそれにくらべて學習内容は、相當に、いわゆる知的なすすんだものとなつてゐる。したがつて、あまり細かに斷ち切られて行くことは好ましくないこととならう。

○そこで指導計畫は、生徒と教材のこのような實狀の上に立つて、當然、大幅の機動性に富んだものが生まれて来ることになる。

(2) この計畫の要項について

(A) 單元の配當は、上のような趣旨から、一應は七學年～九學年の三箇年間にわたることも考えられるが、實際問題として一年間を一期間としてその中に七學年分、八學年分、九學年分というようにしてあてはめることとした。したがつて一年間の中にどの單元が、どこで行われても差支えないわけである。

(B) 表の單元の欄には、學習指導要領の單元名のほかに、参考單元名と豫定時間とをあげた。教材の排列では、主題を學習豫定の順序に従つてあげ、學習活動の例では、豫定された代表的なものを、出来るだけ數少なく記すことにした。備考では關係單元や關係教科と一應考えられる季節的、生活的な單元實施の時期などを参考までにあげてみたが、ここにはなお、將來調査された、學校や家庭、郷土の學習參考となるような施設や備品圖書などが記入されることがのぞましいと思われる。

(C) 更にこれが試案であるということや、これからの教育のあり方としての立場から、反省欄がもうけられ、たえず案が更新されるようにされてほしいものである。

單元(時間)	教材の排列	學習活動の例	備考
單元一 (35) 日本列島はわれわれの生活の舞臺を興えているか	(一) 郷土の自然環境及び産業の發達状態 (二) 日本列島の地理的位置と文化の發展 (三) われわれの生活舞臺としての日本列島の地勢環境 (四) 日本の氣候の特色とわれわれの生活との關係 (五) わが國土の開發 (六) 東北日本諸地方の自然環境、資源の産業の特色 (七) 中央日本諸地方の自然環境、資源、産業の特色 (八) 西南日本諸地方の自然環境、資源、産業の特色	(一) (一四) (二七) (三五) (四四) (五五) (六一) (二) (一九) (二九) (四〇) (四八) (五七) (六三) (三) (一〇) (三三) (四二) (五一) (四八) (六七) (四) (六) (三〇) (三三) (四二) (五一) (四八) (六七) (五) (一三) (二六) (三五) (四四) (五三) (六〇)	○連給 七學年 單元 八學年 單元 國語 (潮目) 理科 (郷土の氣象) 國史 ○一應考えられる實施の時期 4月頃から5月頃
單元二 (25) われわれの家庭生活はどのようになつてゐるだろうか	(一) 現在の日本の家庭の過去からの發展と他國民から受けた影響 (二) 日本の家庭生活の特色 (三) 社會状態の變化によつて日本の家庭はどのようになつてゆくか (四) 日本の將來の家庭生活はどのようになり上されるだろうか (五) われわれの國民生活の將來と家庭生活	(一) (一〇) (一八) (三九) (五四) (二) (一三) (二二) (四七) (五五) (三) (四) (一五) (二四) (四九) (四) (八) (一六) (三八) (五三)	○七學年 單元 九學年 單元 家庭 (明るい家庭生活) 體育 ○1月2月頃になる
單元三 (25) 學校は社會生活に對してどんな意味をもつてゐるだろうか	(一) 社會の教育に對する配慮 (二) 學校の組織と機能 (三) 學校生活の改善	(一) (二) (一八) (四六) (二) (一五) (三五) (五七) (三) (四) (二〇) (三九) (五八) (四) (九) (二六) (四二)	○圖工 國語 (中學生になつて) 學校自治會 ○6月から7月中旬頃にかけて おこなう

<p>○新しい學制はわが國の再建にどうなるか ○新しい學制はなぜ實施されたのだらうか ○新學制とはどんなものか ○學校生活の改善</p>	<p>(一) 新學制はなぜ實施されたのだらうか (二) 新學制とはどんなものか (三) 學校生活の改善</p>	<p>(一) 郷土農村の生活 (二) わが國の農業の特色 (三) わが國の平野の利用と生活 (四) わが國の山地はどのような生活舞臺を興えているか (五) わが國の海岸の人々ほどの程度まで海に生活資源を求めているか (六) わが國のいなかの家や村の姿 (七) わが國のいなかの生活の改善</p> <p>左の場合、下のものをはじめに扱う (一) 戦争は各種の産業にどんな影響を興え (二) 又國民生活にどんな影響を及しているか (三) 賠償地と講和はどうなるか</p>	<p>(二) (一五) (一六) (三九) (六三) (七四) (八三) (一四) (三三) (五〇) (六四) (七五) (八〇) (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (一〇) (一一) (一二) (一三) (一四) (一五) (一六) (一七) (一八) (一九) (二〇) (二一) (二二) (二三) (二四) (二五) (二六) (二七) (二八) (二九) (三〇) (三一) (三二) (三三) (三四) (三五) (三六) (三七) (三八) (三九) (四〇) (四一) (四二) (四三) (四四) (四五) (四六) (四七) (四八) (四九) (五〇) (五一) (五二) (五三) (五四) (五五) (五六) (五七) (五八) (五九) (六〇) (六一) (六二) (六三) (六四) (六五) (六六) (六七) (六八) (六九) (七〇) (七一) (七二) (七三) (七四) (七五) (七六) (七七) (七八) (七九) (八〇) (八一) (八二) (八三) (八四) (八五) (八六) (八七) (八八) (八九) (九〇) (九一) (九二) (九三) (九四) (九五) (九六) (九七) (九八) (九九) (一〇〇)</p> <p>○七學年 單元 一・二 八學年 單元 一・二 數學 (色々な測量) 理科 (庭の草木) 體育 (住居の衛生) 農業 七學年 ○9, 10 月から 11 月上旬頃おこなう</p>
<p>單元四 (40) わが國のいなかの生産生活はどのようなか ○われわれはどの産業や生活をたよりにしようか 單元四と五とを一つにして ○われわれはどの産業や生活をたよりにしようか</p>	<p>(一) 都市の昔の状態 (二) どうして近代都市はその姿を變えたか (三) わが國は近代工業の發達に必要な、どんな天然資源を持っているか (四) わが國の近代的商工業地の發達 (五) わが國の都市生活の特色 (六) わが國の都市生活の改善とそれへの協力</p>	<p>(五) (二一) (三三) (四六) (六三) (七四) (八) (二四) (三七) (五〇) (六五) (一四) (二九) (四〇) (五七) (六九) (七〇) (一六) (三〇) (四五) (五九) (七〇)</p> <p>○七學年 單元 一・二・三 八學年 單元 二・三 理科 (私たちの科學一八) 理科 (水のはたらき) 工業 體育 ○11 月から 12 月にかけておこなう</p>	

<p>單元六 (20) われわれは餘暇をどう利用したらよいか ○われわれは餘暇をどう利用したらよいか</p>	<p>(一) 餘暇の利用やリクリエーションとはどういうことか (二) リクリエーションの必要なわけ (三) リクリエーションの種類や方法 (四) 自分のリクリエーション (五) リクリエーションの改善 (六) より多くリクリエーションの機会を生み出すくふう (七) 公共機關と團體のリクリエーションに對する責任 (八) リクリエーションの活用についての心がけ</p>	<p>(一) (七) (四二) (二) (九) (二六) (三) (一五) (三〇) (四五) (六〇) (七五) (九〇) (一〇五) (一二〇) (一三五) (一五〇) (一六五) (一八〇) (一九五) (二一〇) (二二五) (二四〇) (二五五) (二七〇) (二八五) (三〇〇) (三一五) (三三〇) (三四五) (三六〇) (三七五) (三九〇) (四〇五) (四二〇) (四三五) (四五〇) (四六五) (四八〇) (四九五) (五一〇) (五二五) (五四〇) (五五五) (五七〇) (五八五) (六〇〇) (六一五) (六三〇) (六四五) (六七〇) (六八五) (七〇〇) (七一五) (七三〇) (七四五) (七七〇) (七八五) (八〇〇) (八一五) (八三〇) (八四五) (八七〇) (八八五) (九〇〇) (九一五) (九三〇) (九四五) (九七〇) (九八五) (一〇〇〇)</p> <p>○七學年 單元 二 體育 樂 音 樂 ○2, 3 月におこなう</p>
--	--	---

數學科學習指導年次計畫

立案上の留意點及び使用について

○環境との相關作用によつて個人の生活が發展する、そして教育の營みはその生活の擴充發展に根ざすとすれば私共は生徒の生活の中に時々刻々に進展する教育の生きた體系を見つめつつ最も適切な環境を作り、唯一無二の條件の構成に當らねばならない、この考えに立つて案を作つた。

○「季節と行事」について……子供の生活と相俟つて作業單元の生れてくる根據となるものについて記したが中學校は環境的なものが多く直接關聯が少くない。

○「子供の生活」について……心理的要求と社會的要求の一體的觀點から生活を辿つてみた。

○「作業單元」について……季節と行事、子供の生活の二者を指示される單元（教材指導内容）との相關から必然的に生れるもので、これには國定教科書の子供の生活、素材の取上げ方が重要な参考となり、郷土色を生かしつつこれに倣つた。表現については低（生活題材）中（生活題材文化題材）高（文化題材）の考えに従つた。

○「時間」について……文部省の指定時數による。

○「學習活動要項」について……飽くまで要項である、然し活動を通して單元の目標が達せられるようできるだけ考えた、實施については除去、補充、變更綜合適切な處理が望ましい。計算練習は表現の都合上まとめたが反復練習するようくふうして使用する學習指導要項と相俟つて教材の全學年系統を明かにしつゝ運營することが望ましい。

（教材一覽表を點付する豫定であつたが落した）

○「指導目標及單元との關係」について… 單元の内容を考へて觀念的なものと能力的なものとの便宜分けた。

○「連絡及び備考」について……更にこの上に運營上綜合された學年單元の生れるものもあるであろうことを豫想しつゝ。

（8.25 現在資料）

—（今日の この生徒の この生活が 最も充實するために）—

月	季節と行事	子供の生活	作業單元	時	學習活動要項	單元	指導的觀念的	目標的	果法	連絡及び備考
4	入學式	新制中學一年生と誇りをする	中學一年になつて	1	力だめし（小六までの主要計算につき） ○學習の反省と今後の見通しについて話合つてみる	（五年）	○計算其の基礎能力について調査する ○社會現象を統計的に考察する態度	○適切な統計の考へ方 ○統計表から考察能力	○統計作業の技能はどうか ○統計から社會現象を判断する能力はどうか	○學（十一月） ○理（氣象） ○體（食物と衛生）
		食糧問題と社會不安に對する關心は非常に大きい	主食の統計	9	○縣を中心として主食作物に關する調査をし、統計に關して研究する ○食糧問題から主食作物を中心に話合ふ ・食糧問題の研究を進めて縣を中心とする調査計畫を立てて問題を決定する ・主食作物の作付面積と收穫高 ・人口と主食との需要關係 ・輸入食料について ・食生活の改善及び利用状況について ・耕地の變化及び利用状況について ・以上を縣町村等について調べて表や圖表に表わし考察する ・統計からの研究について話合つたり研究發表したりする	六	○作付面積の意味 ○指數の意味と使い方 ○研究のまとめ方	○tha當りの收穫高をわす能力 ○キログラム單位 ○指數計算	○統計から社會現象を判断する能力はどうか	○國（報告）
		子供の認識は不十分であるが、この指導は極めて重要である	計算練習	2	○15頁～24頁 ・四則計算の復習、概算について	3	○計算能力、概算能力の向上			

5	若	時日	葉	求知的な欲求が大きい 機械の使用も追求められ 態度が見られる	健康週間	16	仕事と力の大きさ	○仕事のやり方やその時の力の 様子について観察に基づ く話し合いをする ○話し合いから基本的な仕事の やり方を分け、それにつ いて力の移り方大きさを研 究してみる ●物を引くとき、押す時の力 ●物を引き出す時の力 ●ゴム(ばね)ではかりを作 り調べる ●板上でそのまゝ引張る ●板を入れた引張る ●測定値について研究する ●摩擦の割合から規則性 の発見につとめる(正比例) ●実験式を作る ●関係をグラフに表わしてみ る ●問題を解く ●グラフや実験式を基にして ○物を持ち上げる時の力 ●てを、使つて重さを加えた 力の関係を調べ ●規則性の発見につとめる (反比例) ●実験式を作る ●この種々の場合について 考へる ○自転車の回轉數、速度 歯車の齒數と回轉數、其の反 人數と仕事の日數等、其の 他の事象について比例、反	6	3	○單一機械に對する力学的観念 ○静止摩擦 ○運動摩擦 ○滑り摩擦 ○比例の観念 ○摩擦係數 ○例定數 ○この特徴について ○てことと仕事の量 ○反比例の観念 ○函數關係の理解	○ゴムの機能を熟知すること ○測定値の處理 ○比例グラフの製作 ○實驗式の製作 ○てことにつとめる力の大きさ ○性質 ○實驗式の製作 ○てこの計算能力 ○比例、反比例や簡單な式計算技術	○解の正しい使用が身につくか ○實驗の態度について見る ○比例の意味を理解しているか ○日常生活への応用はどうか ○實驗の態度について見る ○規則性を見出しているか ○反比例の意味と生活への応用はどうか ○計算能力
---	---	----	---	--------------------------------------	------	----	----------	---	---	---	---	--	--

6	時日	日の記念	6	仕事と力の大きさ(續き)	8	3	○車を使つて物を持ち上げる時の力 ●單滑車の場合の仕事と力の關係について調べる ●複滑車の場合の仕事と力の關係について調べる、規則性を見出す ●滑車の問題について解く ○重いものを動かす時の力 ●車地の働きについて調べる ●輪軸について實驗してみる ○回轉能について習う ○以上について計畫、方法、記録のとおり方、研究、道具の作製、研究發表等に注意しつゝ、學習する ○纏めた仕事と力の關係を理解する	6	3	○滑車の特徴 ○單滑車、定滑車、動滑車、複滑車、仕事の量 ○滑車の理量 ○輪軸の特徴 ○仕事の量 ○回轉能の意味	○滑車によつて出される力と仕事の性質の算出能力 ○輪軸によつて出される力と仕事の性質の算出能力	○實驗の態度について見る ○規則性を見出しているか ○算出能力テスト ○實驗の態度について見る ○規則性を見出しているか ○計算能力テスト	○中一工業
7	夏休	夏休みの研究	7	計算練習 種々の問題	3	7	○71頁~80頁 ●分數、比、等式、概算の問題 ○81頁~90頁 ●種々の統計、力と仕事、齒車等の問題について ○夏休みの研究について計畫する ●この實驗 ●星席(北極星)の研究 ●計算練習	○前記の計画に準じて種々の躍らして胸を躍らせる健全に計畫せしめるよるべきである	○計算能力の確し速	○四則計算の習熟	○計算能力の確し速		

8	夏休み	夏休みの研究	夏休みの友に従って研究する 教科書の例の研究 この実験 星座の研究 計算練習	夏休みの友に従って研究する											
9	二百十日	夏休みの研究 夏休みの研究 形と図の表 表わし方	現小度片て に於ては 何断して 以て 観念的か 體的に 展開も大分 慣れている この際、 図の 表わし方 を種々 めめて 知的な 指導 として おきたい	夏休みの研究の發表交換話 形と図の表わし方について 針穴寫真機、電氣スタシンド の等分まで製作したもの について種々の表わし方を 話し合 簡易な形についての表わし 方を調べる 三角形、四角形、五角形、 六角形基本立體について形 と大きさの決定条件を考え て表わす 極難な形について表わし方 を調べる 物の形とその影について話 し合 投影圖の原理を研究してみ る 平畫面、立畫面、側畫面、 平面圖、立面圖、側面圖に ついて習 地球について位置の表わし 方を投影から調べる	5	5	○圖形の要素の理解 ○圖形の要素の理解 ○投影の觀念 ○側畫面平畫面、立畫面、平面圖、側面圖の觀念	○圖形の要素から図形をかか技術 ○圖形をかか技術があるか ○圖形の要素が理解されているか ○原理が判るか ○見取圖、投影圖をかか技術	○研究態度内容、發表について考察する ○中一工業						

10	運動會	形と図の表わし方(續き)	基本的な投影圖のかき方について習 物の形とその影について原理を調べる 等角投影圖法で表わしてみ 種々な基本立體の組合わさ つた形について投影圖で表 わしてみ 投影圖から實形を求めてみ る 學校中心の案内圖や縮圖を 作る 道具や品物について見取圖 をかいたり投影圖をかいた りして表わす 投影圖や見取圖を読む	○點の投影が正しくかけるか ○實長を求められるか ○見取圖投影圖を読む力はどうか ○點の投影線のかき方 ○讀む能力 ○案内圖縮圖をかか能力 ○簡単なものを見取圖投影圖に表わす能力 ○投影圖法の原理 ○投影圖法の理解 ○投影圖法を日常生活に應用する態度を養う	5	5	○點の投影線のかき方 ○讀む能力 ○案内圖縮圖をかか能力 ○簡単なものを見取圖投影圖に表わす能力 ○投影圖法の原理 ○投影圖法の理解 ○投影圖法を日常生活に應用する態度を養う	○點の投影が正しくかけるか ○實長を求められるか ○見取圖投影圖を読む力はどうか	
11	変りま	形と図の表わし方(續き)	計器や圖による直接の測量について研究する 精密 測量の方法を體驗を基にして話し合 計器使用上の注意について 測量の方法について 平板測量の初歩について 實測しながら習う(三角 形を基礎とする) 仰角、俯角、勾配について 習 概測	○計器使用能力 ○測量技術 ○作圖技術 ○計算能力 ○概測の技術 ○測定値の處理 ○直接測量の指導 ○平板測量の意味の理解 ○三角形の決定の理解 ○仰角俯角の配の觀念の理解 ○歩測、目測による概測の理論	4	3	○計器使用能力 ○測量技術 ○作圖技術 ○計算能力 ○概測の技術 ○測定値の處理 ○直接測量の指導 ○平板測量の意味の理解 ○三角形の決定の理解 ○仰角俯角の配の觀念の理解 ○歩測、目測による概測の理論	○數量的に観ているか ○計器使用が身に付いているか ○正しい測量が可能であるか ○測定値の處理は正しいか ○仰角、俯角、勾配の意味を理解しているか ○基礎照査線	

			・歩測により測量 ・目測と縮図による測量				の理解はどうか
12 防火				4	○體積計算の基礎概念	○計算能力 ○實際問題の解決能力	○計算力
冬休み		2 形と圖の表わし方(續き) 3 計算練習 7 種々の問題	○複雑な形をしたもの、體積計算 ○四則の計算練習 ○投影圖、縮圖に関する問題を解く				
1 正月		1 正の數負の數 新學期で計畫的な暮し方について時間的關心がある 寒さもきびしいので寒暖計を中心とする話も有る 效と思われ	○寒暖計、時間、時計の針、距離方向等の主體的な観方から負數の考え方をする ○負の數の記號の意味、絶對値について習う ○數圖表をかいいて負數の位置を明かにする ○加法のきまりを見出し話し合う ○計算練習をする ○減法のきまりを見出し話し合う ○計算練習をする ○加法の連續計算、加法減法の混合問題について計算する	1 2	○負の數の觀念 ○絶對値の觀念 ○負數の位置の觀念 ○結合法則の觀念	○正の數負の數の記號 ○正項 負項 ○數圖表をかかなく能力 ○法則の適用 ○加法、減法の計算能力	○負の數の考えか ○正項の理解と適用能力はどうか ○負の數の位置が正しいか ○計算能力の正確さ

							中三 數學
2 舊正月		16 正の數負の數(續き)	○逆數について習う ○乗法のきまりを見出し話し合う ○計算練習をする ○三數以上の積の練習をする ○除法のきまりを見出し話し合う ○計算練習する ○乗除の混合問題について練習する	1 2	○逆數の觀念の理解 ○對象の法則配分の法則の理解と適用	○乗法計算に習熟(新教材) ○待號絶對値の決定 ○除法計算に習熟(新教材)	○計算能力をテストする ○正確度、速度 ○基礎法則を用いて簡便に計算する能力はどうか
3 芽生え 彼岸 終了式		計算練習 種々の問題	○正の數、負の數に関する四則の練習をする ○力だめし ○正の數、負の數に関する問題について解く			計算能力向上	○計算能力の正確さ ○計算能力の速度

理科學習指導年次計畫

指導計畫をどのようにたてたか

○問題形式の小単元は 必要と關心との焦點を拾いあげ學習の第一段階を主体的に展開しようとした。

○単元の配列は、季節に関連づけていつたが、小単元においては季節に適っていないものもあるが、他教科の學習と密接に連絡して進めるようにした。

○學習活動については 學習指導要領による一學年間六單元の學習活動内容は豊富で、今の生徒たちは、困難と思われる點もある。そこでこれを組みかえることも考えられるが参考書が少なく教科書が唯一のものである現状として與えられた教科書を最高度に活用して、できるだけ教科書の順序や内容とタイアップするようにした。なお教材の多いための時間の不足は生徒の實力に應じて取捨選擇して負擔過重にならないようにしたい。

○時間の配當は 上に述べたような主旨と事情に基づいてわりだした。

○指導の目標重點は 效果判定、その活動の材料ともなるようにした。

○備考は、指導上の注意、連絡事項、参考圖書、映畫等の一部をあげた。

—(參)は参考書 (映)は視覚教育案内映畫 (國)は國語以下これにならう—

(八月二十日現在の資料による)

月	季節と行事	單元(時間)	學 習 活 動	指 導 の 目 標 重 點	備 考
4	式 業 式 式 始 入 (一年生) 學級役員選舉	○理科學習をどのように進めたいか (1) 1 空氣 (26) ○郷土の氣象はどのようか (2)	○中學一年の學習をどのように進めたいか話して計画を立てる ○郷土の氣象についていろいろ今迄に調べたことを話す ○郷土の天候、氣温、氣壓、風向、湿度、雲量などを分擔し觀測して野帳や表に記入していく ○觀測はどのようにしたらいいか時刻、場所等について研究する ○水銀寒暖計、アルコール寒暖計はどのような構造を調べる ○目盛はどのようにしてきめるかよくふりす ○いろいろな温度計の特徴を調べ話しあひする ○温度計の見方、扱い方について研究し話しあひをする ○一昼夜の氣温の變化を調査研究する ○一年間の氣温の變化を調査研究する ○平均氣温はどのようにして出したらいいか調べる ○井戸水の温度を比較してみよう ○氣温はどうして變るか調べる	<ul style="list-style-type: none"> ・中學生となつて誇りのある生活に満ちていく時自主的學習態度を養うようにする ・計畫的學習態度を養う ・自然に親しみ科學的な自然現象を觀察する態度を養う ・學習班の一員としての責任ある學習態度を養う ・整理の困難を克服する態度を養う ・温度計の構造はどうか又その取り扱いをどうしたらいいか調べる ・實驗觀測の學習は忍耐強く 	<ul style="list-style-type: none"> ・氣象觀測 (農) ・春 (映) ・春の呼聲 (映) ・山羊の世話をはじめる ・繼續觀察の意義を理解してねばり強く研究するようにする ・火と空氣 (理) ・小學五年 ・氣象觀測の實際 (參) ・氣象の話 (參) ・誠文堂新光社 ・氣象觀測の講話 (參) ・天氣叢報論 (參) ・地人書館 ・常に天氣に注意する態度に導く ・この學習は一年間を通じてしなければならぬ専門が多いから常に注意する ・調査は計畫にもとづいてやる ・精密な調査をするようにする
	お 遊 播 種 種 會 保 護 者 會 總 會	○氣温はどのようにかわるか (4)	○空氣の重さを測定する ○物質とはどのようなものか話しあひする	<ul style="list-style-type: none"> ・空氣の性質について調べる ・合理的なてんびん(天秤)の使い方を體得する 	
	天 父 節	○空氣は何かからできているか (6)			

身 體 檢 査	物質の三態について調べ理解する • 空気の中にはどんなものが入っているか調べる • 又それはどのようにして調べられるか実験してみる • 酸素のはたらきについて実験し調べてみる • 空気の圧力はどのように利用されているかいろいろな経験や見聞について話しあう • 空気を利用した機械について調べ話しあう	酸素のはたらきについて理解する • 圧力はどのように利用されているか調べる • ポンプの理について理解する	理科 3 火 理科 5 草木 理科 17 微生物 理科 9 海 紙玉てつぼう (理) 小學四年
5 八 十 八 夜	○ 空気はどのよう に圧力を及ぼすか (5)	眞理にしたがい進んで未知のものを探らうとする態度を養う • パスカルの法則を理解する • 器具を使う能力を高める • 気圧と天候との関係があるか理解する • 記録を整理する • 科学者の仕事の尊さをしる • 風の起るわけを調べる • 風力階級に關心をむける	• ポンプ (理) 小學五年 • 理科 9 海 • 農業と連絡してとうもろこしをかぼちやの播種をする 元草木のところろで學習するから注意する • 理科 2 水 • 生物の生態について常に注意の目を開く • ひょう (雹) の降る頃であるから注意する • 雲の科学 (K)
大 掃 除	• 水はどのように蒸発する かいろいろの条件のもとで実験してみる • 湿度はどのようにしてきめられるか • 湿度は私たちの生活にどのように影響しているか調べて話しあう • 雨や雪はどのようにしてできるか調べる • 雲はどんなものかいろいろな雲について調べ話しあう • 雪の形、色、動きと天候とどんな関係があるか経験を發表したり観察して研究する	• 湿度と私たちの生活について調べる • 自然界の物と現象とを觀察する能力を養う • 雲と天候の関係について話しあう • 風や空の様様を見て明日の天候を判断する	• 氷雪霜についてでは多更に觀察する • 理科 15 電氣
立 小	• 空気中の水蒸気はどんな現象を示すか (5)		

單 衣	• 雨量を測る • 雪や霜はどのようにできたものであるか調べる • 物がしめられないようにするにはどうしたらいいかよく調べる • 測候所を見學し天気豫報のできるまでの仕事のすじ道について話しあう • ラジオ新聞等による天気概況や天気豫報の研究をする • 天気圖の見方を學びラジオをきいてかいてみる • 高低氣壓、不連続線とはどんなものか天気圖をみながら研究する • 日本の大きな氣象の變化について調べ話しあう • 季節風、梅雨、颱風等はどうして起るか調べ話しあう • 交通、産業はどのように氣候に支配されるか調べ話しあう • 郷土の氣象について測候所の話や経験を發表しあう • 農業の豊凶にどう関係するか調べ話しあう • まえがきを讀み今迄の経験を發表しあう 習計畫をたてる	天気豫報のできるまでの仕事を理解する • 天気圖の見方を理解する • 日常使われる氣象用語の理解をする • 日本の氣象の特質を調査研究する • 天候はどのようにに産業に影響するか理解する	理科 4 食物 理科 12 家 理科 17 微生物 理科 7 着物 • 氣象観測器具の規正をする • かえるの生態に注意する • 日本の氣象 (社) 中學一年 • 理科 9 海 • 理科 16 交通通信 • 海流が氣候に及ぼす影響は單元 9 海で學ぶ
苗 代	• 天気豫報はどのようにしてできるか (4)		
か え	• 日本の氣象はどのような特徴をもっているか (3)		
小 運 動 會	2 水 (20)		
6 芒 種	○ 水はどのようにして大切か (3)	• 水の重要性について理解する • 動物植物は水がなくては成長できないことを理解する • 自然界の氣象を觀察する能力を養う	• 農業と連絡 • 夏の天気 (理) 小學五年 • 理科 5 草木
時の記念日			

衣服の虫干	家庭で使用する水の用途を調べ話しあい表につくる	水の科学的利用について理解する	理科 18 からだ
食品の貯蔵	毎月の使用水量の記録をとり調査する	井戸のなりたちについて理解する	水の生活科学 (参) 枯葉書院
入梅	近在の天然にある水の分布それらの水の使用状況について調査する, 天水の水の量の季節による消長の調査をする	飲料水としてみんな水がいいか理解する	食品の貯蔵 (家) 中學一年
麥刈農事多忙	自分の家の井戸水の季節による増減の調査をする	硬水軟水について理解する	夏 (映) 入梅に入り湿度が増し不衛生になるから注意する
田植	井戸の分布, 深さ水量, 水温, 水質の調査をする	水の成分を知る	入梅の候の氣壓配置について注意する
夏至	どんな井戸がいいか調べて話しあいをする	実験観察をする態度を養う	理科 10 土
休み	井戸の構造とその種類特質について調べ話しあい学校や自分の家の井戸とくらべてみる	物質構造についての理解をする	食物と衛生 (體) 中學一年
か (蚊)	水道山へいきその浄水施設について調べる	水の性質についての理解をする	暑さも増し生水を飲みたがる時軟貨物に注意する
7 公開研究会	浄水法の種類にどんな方法があるかしらべ表をつくる	水の偉大なはたらきを理解する	理科 7 着物
半夏	飲料水としてどんな水がいいか調べて話しあいをする	水害防止対策について理解する	とりもろころこしかぼちやの掛け合わせを農業と連絡する
小暑	洗濯にはどんな水がいいか又それはどんな意味か調べる	水の衛生についての理解を深める	理科 15 電氣
	水の蒸りゆりはどのようにしてするか調べる	自主的な学習計畫となるよう導く	理科 16
	水の性質にはどんなものがあるか調べて話しあう		
	水の分解成の實驗をする		
	物質は何からできているか分る構造について話しあう		
	水の力はどのように利用されているか見聞したことや経験したことについて話しあいを		

雷	腐敗, 腐蝕, 溶解, 侵蝕, 水蝕, 海蝕等の水のはたらきについて生活經驗の中からひろいあげて話しあいをする	調査の學習態度を養う	交通通信 蒸氣機關 蒸氣タービン は三年でやる
たな	動植物は水によつてどのように變化していくか考察する	水の偉大なはたらきを理解する	食物 (理) 小學六年
ば	水は産業上どのように利用されているかパスカルの原理について實驗する	水害防止対策について理解する	物理 (3) 高等學校用
た	水の重さによる壓力について實驗觀察する	水の衛生についての理解を深める	時間の關係に深入りしない自由なる研究とする
自由研究会	水は今後どう利用しなければならぬか話しあいを	自主的な學習計畫となるよう導く	自由研究発表會があるからよくまとめよう指導する
水	水害について見聞したことを話しあう		山羊 (音) 中學一年
土	郷土に治水工事をするよりなところがあるたらどうしたらいいか調査研究する		理科 空氣 理科 9 海
用	森林保護, 植林はどうして大切か調べ話しあいを		家庭科災害の預防
病	水の衛生をどのようにしなければならぬか話しあいを		農業 豊作と凶作
傳染	一學期の學習の反省と夏休み中の研究計畫をたてる		まとめの段階であり今迄の實驗觀察測定調査事項を整理する
大	山羊のせわを夏休み中どのようにするか相談する		休み中の觀測については話しあつておく
夏			夏休みを利用して日光, 足尾方面の旅行をし, 高山植物, 川のでき方はたらき, 發電所温泉等を調べるといい

9	二學期始業 二百十日 水次大會 彼岸 秋分 自由研究發表會 名 虫	○夏休みをど りやつてき たか (1) 5 草木 (20) ○植物はどの ように成長 しているか (3)	●夏休み中の研究について發表しあう ●植物はどのようになりして生きていくか知つて いることを話しあう ●研究計畫をたてる ●種はどのようになつて形やその中から芽を出 す力があるか入っているか ●芽の出る力があるか入っているか ●等について實驗して調べる ●発芽はどのようになつていくか ●しあいを調べる ●土、水、光、温度、空気等は発芽の条件と どのようになつていくか ●実験して調べる ●芽の伸びる方向、伸び方について實驗観察 する ●根はどのようになつていくか観察する ●細胞のふえ方についてしらべる ●根またははむきつきつゆくさのおしべを檢鏡 して研究する ●根の構造について檢鏡する(とうもろこし しよりふ) ●茎の構造をしらべる、ほうせんか、とうも ろこし、へちま等を横切りし切片を作り観 察、檢鏡して観察力に記入する ●どのようになつていくか調べる ●葉の構造を調べる、檢鏡し、表皮、氣孔、水 孔、毛はどのようになつていくか調べる ●植物は土から何をとりつけて育つか又肥えた土 と肥えてない土について研究する	●自主性のある研究計畫を作る ●合理的な目標のもとに實驗 計畫を立てて各班の自由研究 とした ●根氣よく謙虚な態度で研究 する ●物質は細胞組織からできて いることについて理解する ●葉や莖の合理的な構造を理 解する ●植物はどんな養分をどのよ うにしていくか調べて理解 する	●自由研究發表會に備えて研 究整理をする ●農業と連絡實驗に使用する 種をまく ●生物學のてびき力書房 ●生物の研究はどのようにし たらよいか(參) ●日本出版社 ●たい風の頃である氣壓 配置を研究する ●野邊の一日(映) ●春の呼聲(映) ●稻の話(映) ●秋の山野(映) ●秋(映) ●農業に連絡 ●食べられる野草(幻) ●理科 17 微生物 ●動物、顯微鏡、實習、摘 要(參)丸善 ●生物實驗法(參)三省堂 ●鏡檢生物學(參) ●鏡檢學會 ●動物を食う植物(映) ●花と昆虫(映) ●事前の計畫をよくしておく
---	--	---	--	--	--

10	更 研究會(社 科) 秋	○植物はどの ようにして 殖えていく か (2) ○品種改良は どのようにな るか	●空素、りん、カリ肥料の必要なことを水耕 培養する ●根のどのところからどのようになつて養分は體 へ入るか檢鏡する(例 大根、白菜の種) ●根から吸収された水は莖や葉のどこを通つ て昇るかしらべる ●莖の組織の檢鏡圖を細部にわたつて圖にか いて記録する ●組織の名稱とそのはたらきについてしらべ る ●葉はどんなはたらきをしていくか知つてい ることについて話しあいを調べる ●炭酸同化作用とはどんなはたらきか實驗す る(例 やつで、かぼちやの葉) ●水草(例も)の切り口から氣ほうの出るの を見る實驗をする ●葉の組織とそのはたらきについて調べる ●葉の蒸散作用についてしらべる ●葉の吸収作用についてしらべる、種子、葉、 花等の呼吸作用について實驗する ●落葉や紅葉はどのようになつて起るかしらべ る ●花の構造を観察する ●種はどのようになつて分布しその子孫をひろ めようとしていくか研究する ●細胞はどのようになつて分裂するか、酵母や かひの殖え方について檢鏡する ●有性繁殖と無性繁殖はどうかうかがうかにつ いて調べてみる ●とうもろこし、かぼちやの遺傳について研 究する	●肥料の合理性について理解 する ●檢鏡した結果を細部にわた つて記録する ●根から入つた水分はどのよ うに體の中をまわるか ●檢鏡の結果を細部にわたつ て記録する ●根から入つた水分はどのよ うに體の中をまわるか ●顯微鏡の使い方を知得する ●葉のはたらきを理解する ●合理的な考えのもとに實驗 計畫をたてるようにする ●自然の調和ある現象を観察 する態度を養う ●植物の繁殖の方法について 理解する ●メンデルの法則を理解する	●根のついたものをつかない ものとの差に注意 ●かぼちやの葉の向きなどに 關心を向ける ●秋の空の特徴をつかむ氣壓 の配置等 ●葉につゆの玉がついている ことに注意する ●落葉紅葉の頃になつて又特 に注意する ●秋の山野(映) ●種子の散布(映) ●日頃庭の草木に注意をむけ 種子の散布などを観察する ●理科 17 微生物 ●農業で研究している生物 かけ合わせと連絡して學習
----	-----------------------	---	--	---	---

運	會	されてい か (3)	メンデルの法則についてしらべる 品種はどのようにして改良されてきたか知 つていることについて話しあひする 染色體とはどんなものでどんなはたらきを 持つか 品種改良の方法を調べて話しあひをする	品種改良の方法について理 解する	する • 農業の接木やさし木が三月 にあるがその時あわせて研 究するようにする
神	營	4 食物 (30) ○ いろいろの 食物の中で 何が大切か (5)	食物の教科書のまえがきをよむ 食物と栄養について知つていことを話し あひする これからの學習計畫をたてる 乳の成分には何が含まれているかを調べる 牛乳から脂肪の分離をする 脂肪を検鏡しブチラン運動を調べる 脱脂乳からカゼインを分離する 酸性アルカリについてその反應を調べる 乳糖を作つてみる 牛乳の中に灰分のあることを調べる 牛乳の栄養價について考察する 私たちの知つているあぶら類を全部あつめ てみる あぶら類の共通の性質について調べる あぶらを檢鏡する あぶらは何にとけるかいろいろなものにつ いて實驗してみる どんな元素からできているか調べる せつけん作りをするどんなあぶらでどのよ うにしたらいいのができるか研究する	導きの段階として食物と榮 養について興味と關心を向 ける • 乳の成分を理解する • 體にどのよりのな栄養をおく るかについて検討する	• 家庭農業へ連絡 • 食品化學 (參) • 食物と栄養 (參) 櫻井芳人著 • 乳兒の發育について注意を むける • 山羊の乳について同じよう に研究するといひ • 古代日本人の食生活 (參) 大八州出版社 • 成長と栄養 (參) • 家庭科と連絡 • 生活環境の中から集める • 農事多忙の頃であり特に榮 養に注意しなければならな い • 山羊が發情期に入る、農業 と連絡し掛け合わせる
農	事多忙	○ 脂肪とはど んなものか (2)		脂肪の種類と性質を理解す る	
農	休	み			

11	明	○ 炭水化物と はどんなも のか (3)	炭水化物(澱粉)あつめをするそれについ ていろいろ知つていることについて話しあ ひをする 糖類にはどんなものがあるか研究して表に 作る いろいろあつまつた澱粉を檢鏡し圖にかい てその特徴をつかむ もやしを作つてあめ作りをする 炭水化物にはどんなものがあるか調べる それらはどうして炭水化物だといふことが わかるか研究する たんぱく質あつめをするいろいろ知つてい るものを裏面にかいたりもつてきたりして 話しあひをする 豆腐作りをする 焼ふを作る たんぱく質はどんな元素からできているか 調べる たんぱく質は何によつて分解するか調べる たんぱく質の種類をあげてみる アミノ酸醬油とはどんなものか研究する 仕事と熱とどんな關係があるか調べる 1 カロリーとはどの位の熱か又どうして測 るか 食物の成分はどれだけだけの熱を出すか調べる たんぱく質脂肪炭水化物は1gについてどれ だけの熱量を出すか調べる 家の食事について何カロリー一位一日にとつ ているか調べて話しあひをする 一日にどのくらゐの熱量がいるか見聞した ことについて話しあひする	炭水化物を檢鏡しその特徴 を理解する 炭水化物にはどんなものが あるか調べて理解する たんぱく質をあつめる たんぱく質はどんなものに 一ぱんぶくまれているか調 べよ 熱量とはどんなものか理解 する 食物の中でどんなものが榮 養價があるか理解する 食物のカロリー-計算の方法 を理解する	もやし作りは前から準備し て温度に氣をつけてする • 餘作りを研究的方法でやる • いろいろな原料を使つて作 る時にもやしを入れる温度 に注意する • 化學 (3) 高等學校用 • 豆腐作りの要點を豆腐屋で ききよくにするのもいい • 霜の頃であるよよく霜のでき 方などを調べる • 霜のできるまで等の自由研 究をするのもいい 理科 14 機械 理科 3 火 食品栄養價要覽 (參) 第一出版社 食品の貯藏の時期常に注意 して觀察する 私たちの生活から遊離した 食物の學習とならないう
冬	節	○ たんぱく質 とはどんな ものか (2)		炭水化物を檢鏡しその特徴 を理解する 炭水化物にはどんなものが あるか調べて理解する たんぱく質をあつめる たんぱく質はどんなものに 一ぱんぶくまれているか調 べよ 熱量とはどんなものか理解 する 食物の中でどんなものが榮 養價があるか理解する 食物のカロリー-計算の方法 を理解する	もやし作りは前から準備し て温度に氣をつけてする • 餘作りを研究的方法でやる • いろいろな原料を使つて作 る時にもやしを入れる温度 に注意する • 化學 (3) 高等學校用 • 豆腐作りの要點を豆腐屋で ききよくにするのもいい • 霜の頃であるよよく霜のでき 方などを調べる • 霜のできるまで等の自由研 究をするのもいい 理科 14 機械 理科 3 火 食品栄養價要覽 (參) 第一出版社 食品の貯藏の時期常に注意 して觀察する 私たちの生活から遊離した 食物の學習とならないう
紅	霜	○ 食物はどれ だけの熱を 出すか (1)		炭水化物を檢鏡しその特徴 を理解する 炭水化物にはどんなものが あるか調べて理解する たんぱく質をあつめる たんぱく質はどんなものに 一ぱんぶくまれているか調 べよ 熱量とはどんなものか理解 する 食物の中でどんなものが榮 養價があるか理解する 食物のカロリー-計算の方法 を理解する	もやし作りは前から準備し て温度に氣をつけてする • 餘作りを研究的方法でやる • いろいろな原料を使つて作 る時にもやしを入れる温度 に注意する • 化學 (3) 高等學校用 • 豆腐作りの要點を豆腐屋で ききよくにするのもいい • 霜の頃であるよよく霜のでき 方などを調べる • 霜のできるまで等の自由研 究をするのもいい 理科 14 機械 理科 3 火 食品栄養價要覽 (參) 第一出版社 食品の貯藏の時期常に注意 して觀察する 私たちの生活から遊離した 食物の學習とならないう
葉		○ どれだけ食 べたらいい か (2)		炭水化物を檢鏡しその特徴 を理解する 炭水化物にはどんなものが あるか調べて理解する たんぱく質をあつめる たんぱく質はどんなものに 一ぱんぶくまれているか調 べよ 熱量とはどんなものか理解 する 食物の中でどんなものが榮 養價があるか理解する 食物のカロリー-計算の方法 を理解する	もやし作りは前から準備し て温度に氣をつけてする • 餘作りを研究的方法でやる • いろいろな原料を使つて作 る時にもやしを入れる温度 に注意する • 化學 (3) 高等學校用 • 豆腐作りの要點を豆腐屋で ききよくにするのもいい • 霜の頃であるよよく霜のでき 方などを調べる • 霜のできるまで等の自由研 究をするのもいい 理科 14 機械 理科 3 火 食品栄養價要覽 (參) 第一出版社 食品の貯藏の時期常に注意 して觀察する 私たちの生活から遊離した 食物の學習とならないう

落葉	<ul style="list-style-type: none"> 一日にどのくらいの食物を食べたらいいか配給量などを考えあわせて計算してみる 栄養失調はどのようになりときに起るか研究してみる たんぱく質脂肪炭水化物はどんな役に立つか調べる 三栄養素はそれぞれどのように変るか調べる それらの栄養素が不足した場合はどういうことになるか調べる たんぱく質を一日にどれだけたべたらいいか食物からどのようにとつたらいいか毎月の食事をくらべて考察する 灰分はどんな役に立つかどれだけ必要か調べる 灰分の不足は體にどんな障害が起るか調べる 一日の食事の中どのくらいカルシウムがあるか計算してみる 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養失調はどのような場合に起るか理解する たんぱく質脂肪炭水化物の役目を理解する たんぱく質の重要性について理解する 無機質のはたらきを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 現在のひつ迫した食糧事情をよく考慮する に注意する たんぱく質食品の取り方について日頃特に注意をむける 紅葉落葉について調べる
氷がはる	<ul style="list-style-type: none"> ビタミンについて見聞したことについて話しあいをする 脚氣はどうしたらなおつたか 鈴木博士の仕事の尊さを理解する 私たちの食事の中にビタミンはどれだけ入っているか いろいろなビタミンのはたらきとそれらのビタミンはどのような食物に含まれているか調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ビタミンはどのようにしてわかつてきたかについて學者の仕事の尊さを理解する ビタミンのはたらきを理解する いろいろなビタミンのはたらきとそれらを多く含むものについてしらべ表をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなビタミンを集めたりするのでもいい

○食物の成分はからだの中でどんな役に立つか(5)

○ビタミンはどんな役に立つか(3)

12 防 火	<ul style="list-style-type: none"> 食物の貯蔵加工はどのようにするか(3) 食生活の改善をどうしたらいいか(4) 火(22) 火は人間生活にどのよう利用されてきたか(1) 熱はどんな働きをするか(4) 	<ul style="list-style-type: none"> 食物の貯蔵加工をどのようにしているか調べて話しあいをする 食物の貯蔵加工をどういうわけでするか考察する 食物の貯蔵の方法をあげその特徴ををしらべる 食糧の加工にどんな方法があるか又その特徴を調べる 粉食の利害得失について研究する 調理と栄養について研究する 飲食物と衛生について考察する 食生活の改善をどうしたらいいか話しあいをそのして論文を書く 火の學習をどのように進めたらいいか話しあう 大昔から火はどのように考えられれど利用されてきたか本を讀んだり老人にきいて調べ話しあいをする 火をおこす方法はどのように進んできたか調べる 温度は物の性質とどんな関係があるか調べ 物體は熱によつてどう膨らみよりするか物質の三態について實驗研究し表にまとめ 水はどのように温度の變化に對して膨らみよりするか研究する 熱量とはどんなことか調べる 比熱、熱容量とはどんなことかいろいろの物質についてその比熱を調べ表にする 實驗熱とはどんなものか氷の融解について實驗する 	<ul style="list-style-type: none"> 食物の貯蔵の方法について理解する 合理的な食物はどのようにしてえられるか 食生活の改善についての具體案をたてて實踐する 科学的考案のもとに合理的な食生活がなされているか檢討する 火の人間生活上の意義を理解する 熱ぼうちよう(膨脹)について理解する 機械や器具を使う能力を養う カロリーについて理解する 比熱について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 理科 17 微生物 理科 2 水 冬の天気(理) 小學五年 農業と家庭と連絡 防火について話しあい注意をする 寒風のふくころろ天気圖をかいてみて気壓の配置等を調べてみる 理 14 機械 こんろと湯わかし(理) 小學四年 家庭と連絡 理科 4 食物 今迄の氣象觀測の整理と反省をする 山羊のせわに氣をつける 休みの自由研究題目をきめる
多 至	<ul style="list-style-type: none"> 自由研究發表會 	<ul style="list-style-type: none"> 多 至 	<ul style="list-style-type: none"> 多 至 	<ul style="list-style-type: none"> 多 至
多 休 多 み				

1 正月	薪木炭はどのように使われるか (3)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭において薪木炭がどう使用されているか調べて話しあう 家の燃源燃料にはどんなものがあるか調査する 各家庭の燃料消費量を調査する 薪や木炭はどのような手順で私たちのところにわたるか調査する 炭焼きが薪の見た目をし経験談をきく 木炭と薪の比較研究をする 木炭の燃熱量の測定実験をする 	薪、木炭の重量性と燃料の節約に留意しないことを理解する	<ul style="list-style-type: none"> 食べものに気をつけるようにする 山羊のせわに気をつける 雪と熱 (映) 雪國の生活 (映) 冬 (映) 雪の降るのをみて雪をよく調べる 農業で作った木炭について調べる 水のはり具合をよく調べる 農業家庭と連絡 雪國の兄弟 (幻) 理科 11 地下資源
小雪	燃料にはどんなものがあるか (3)	<ul style="list-style-type: none"> 燃料にはどんなものがあるか経験していることを見聞したことについて話しあう 固体、液体、気體燃料の利害得失を理解する 整理する能力を養う 石炭の利用について理解する 	薪、木炭の重量性と燃料の節約に留意しないことを理解する	<ul style="list-style-type: none"> 薪、木炭の重量性と燃料の節約に留意しないことを理解する 木炭の作り方を理解する (農業で作るのをよく研究する) 燃料の種類を理解する 固体、液体、気體燃料の利害得失を理解する 整理する能力を養う 石炭の利用について理解する
自由研究発表會	熱はどのように伝わるか (2)	<ul style="list-style-type: none"> 傳導對流ふく射はどんなものでそれぞれ熱の移り方はどのように違うか実験し研究する 熱傳道の割合を調査する 冷蔵庫や魔法びんの構造について調べる 熱の移り方はどのように違うか実験し研究する 	熱の傳わり方を理解する	<ul style="list-style-type: none"> 理科 7 蒼物 ふく射はわかりにくいから注意する 燃料と生活 (參) 燃料讀本 (映)
大雪	燃料を有効に使うにはどうしたらいいか (5)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭においてこんろかまどふろのたき方をどのようにこふうしているか話しあう こんろかまど等の種類構造を調査する どのようなこんろかまどの構造が一番合理的か研究する 	燃料の合理化にどのように努力しているか又どうしたらいいか理解する	<ul style="list-style-type: none"> 理科 7 蒼物 ふく射はわかりにくいから注意する 燃料と生活 (參) 燃料讀本 (映)

2 立春	火災豫防はどのようにしたらいいか (4)	<ul style="list-style-type: none"> 燃料の節約はどのようにしたらいいか研究調査する 御飯のたき方を實習して研究する 火事がどんな時、起つたか経験や見聞したことに就いて発表しあう この村の數年間の火事の原因件數損害の調査をする 家庭での火の始末の調査をし調査結果について話しあう 消防施設の調査 (家庭學校社會) をする 火事と天氣の關係を研究する 	研究物を整理する態度を養う	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連絡 酷暑時である衛生に注意 三月の展覽會學藝會にそなえて計畫し研究等は着手する
節	動物 (18)	<ul style="list-style-type: none"> まえがきをよみ、動物の學習をどのようにしたらいいか話しあいをし計畫をたてる 動物と植物とはどうして見分けるか研究する 下等な生物にどんなものがあるか調べる 動物の分類をしてみる 	動物と植物とのちがいを理解する	<ul style="list-style-type: none"> 理科 12 家 動物大辭典 (參) 小野田勝造著 生物のてびき 湯淺明著 理科 5 草木 家畜の歴史物語 (參) 電 關書房 ダーウイン (參) 改造社 通説 つばめの愛情 (映) 動物の冬越 (映) 動物の行動について 海元の動物について 昆虫記 (國) 中學一年 昆虫記 (參) 岩波文庫 ゴッホの世界 (映) トリリヤン (映)
酷暑時	動物と植物とどこが違うか (1)	<ul style="list-style-type: none"> 動物と植物とはどうして見分けるか研究する 下等な生物にどんなものがあるか調べる 動物の分類をしてみる 	動物と植物とのちがいを理解する	<ul style="list-style-type: none"> 理科 12 家 動物大辭典 (參) 小野田勝造著 生物のてびき 湯淺明著 理科 5 草木 家畜の歴史物語 (參) 電 關書房 ダーウイン (參) 改造社 通説 つばめの愛情 (映) 動物の冬越 (映) 動物の行動について 海元の動物について 昆虫記 (國) 中學一年 昆虫記 (參) 岩波文庫 ゴッホの世界 (映) トリリヤン (映)
紀元	動物はどのように進化してきたか (3)	<ul style="list-style-type: none"> ダーウインの「種の起源」をよんだり聞いたりして調べ話しあう ダーウイン以後進化論はどのように進歩してきたか研究して話しあう ダーウインの傳記を調べて発表しあう 	ダーウインの進化論を理解する	<ul style="list-style-type: none"> 動物と植物とのちがいを理解する 動物の生態について 生態學上よりの見方を養う
節	動物はどのような生活をしているか (2)	<ul style="list-style-type: none"> 動物の生態について調査研究する 人の生活と動物の生活との相違を調べる 	動物の生態について理解する	<ul style="list-style-type: none"> 動物の生態について 生態學上よりの見方を養う
立春	人の生活に役立つ動物	<ul style="list-style-type: none"> 役立つ動物にどんなものがあるか発表しあう 	人間の利用している動物の種類及び部位について理解する	<ul style="list-style-type: none"> 人間の利用している動物の種類及び部位について理解する

月	季節と行事	題	目	時間	学 習 活 動	単 元 と の 関 係	備 考
4	始業式 入学式 桜の式 草花(すみれ、たんぽぽ、等)が咲く ちようちよちよちがとぶ 日毎に寝かくなる 天 長 節	春が来た	4	4	○「春が来た」歌唱 C. $\frac{3}{4}$ ・三拍子のリズム練習 ・視唱によつて旋律を習う ・第二十小節等に注意する ○「フルート協奏曲=長調(モツァルト)」鑑賞(レコード) ・モツァルトについて ・協奏曲について ○器楽 ・ピアノオルガンの基礎練習 ・自分の好む楽器を一つ選んで練習 ○作曲 ・作曲用ノートを準備して系統的に作る	1の(1)歌唱及び演奏技術の向上をはかる 1の(2)表情的技术を習得させる 2の(1)リズム、旋律、和聲及び形式を総合的にとらえる力を高める 2の(3)音楽の歴史的発展についての理解を持たせる 2の(2)音楽の要素、形式、構成に対する知的理解を高める 1の(2) 1の(4)創作への興味を増大させ旋律小曲等の作曲を行わせる 1の(1) 1の(2)	
5	野山は緑になる 新憲法實施記念日 鯉のぼり 木の葉遠足 創立記念日 よく晴れた日が続く 健康週間	カツコワワル カ 雲の色	5 4	5 4	○「カツコワワル」の歌唱 F. $\frac{3}{4}$ 2合 ・視唱による ・主旋律と副旋律をはつきりと區別して認識させる ・曲の形式を研究させる ・リズムと速度を正しく歌唱する ○「アベベブルム(モツァルト)」の鑑賞(レコード) ・合唱の美について ○器楽 ・個別指導 ○作曲 共同批評 ○「雲の色」歌唱 C. $\frac{4}{4}$ 2合	2の(1) 2の(2) 3の(1)音を感覚的にとらえることを通じその意味する内容及びその持つ情緒を理解させる 1の(2) 1の(1) 1の(4) 1の(1) 2の(1)	

6	草木は全く緑となる 麦がみのる 時の記念日 入 梅 田植 麥刈り 農 繁 期 至 夏	めいめい小山 羊 眞 珠	2 3	2 3	・視唱による ・二部合唱の基本的な練習をする ○「歌劇アイダ」の鑑賞(レコード) ・歌劇について ・テナーの歌い方 ○器楽 自由練習 ○作曲 主題を與えて作る ○「めいめい小山羊」の歌唱 D. $\frac{4}{4}$ ・諧謔的な気分を充分に歌い出させる ○「眞珠」の歌唱 d. $\frac{4}{4}$ ・短調であることに注意 ・日本的な旋律を生かしてなだらかな發想をもつて歌う ○「子供の情景(シュエマン)」鑑賞(レコード) ○器楽 自由練習 ○作曲 主題を與へて	3の(1) 1の(3) 1の(1) 1の(2) 1の(4) 2の(1) 1の(1) 1の(3)詩の内容を音楽的に生かすことにつとめる	
7	夕 夏日課開始 公開研究会	眼りの精	3	3	○「眼りの精」歌唱 F. $\frac{4}{4}$ 2合 ・視唱によつて合唱する ・主旋律を生かすように副旋律を歌わせる ○「眼りの精(ブラームス)」鑑賞(レコード) 「アリア(パツパ)チェロ」鑑賞(レコード) ・パツパやブラームス ○器楽 自由練習	1の(1) 1の(2) 2の(1) 3の(1) 2の(3) 1の(1)	

水	泳	に	3	1の(4) 2の(1)	農 (氣象)
水	泳	に	3	1の(1) 1の(2) 3の(1) 2の(2) 2の(3) 1の(1) 1の(4) 2の(1)	
夏の旅行 (山へ海へ)					
自由研究発表 會, 展覽會	濱千鳥	鳥	3	1の(1) 1の(2) 1の(3) 3の(1) 3の(1) 2の(2) 1の(1) 2の(1) 1の(3) 3の(1) 1の(1) 1の(4)	
夏季日課終了	ローレライ	ライ	5		
彼岸					
十五夜					

10	稲刈り會	年も豊かに	3	1の(1) 2の(1) 2の(2) 1の(3) 3の(1) 1の(1) 1の(4) 2の(2) 1の(1) 2の(2) 1の(3) 3の(1) 2の(3) 3の(2) 人間の土臺の上に立つて各國の音楽の民族的特徴を理解させる 1の(1) 2の(1)	農
運	會	年も豊かに	3		
十三夜					
木の實ひろい	旅	愁	3		
紅葉					
空は澄んでく					
11	麥まき	子守歌	3	1の(4) 1の(1) 1の(3) 2の(1) 3の(1) 1の(1) 1の(4) 1の(1)	
明治節					
部落まつり					

公開研究会			・視唱 (短音階に注意) ・日本音階的な旋律の動きを十分歌い出させる ・發想を十分につけて歌う ○「中央アジアの高原にて(ボロディン)」鑑賞 (レコード) ・管絃樂について ・ボロディンの作風 ○器樂 音樂會の爲の練習 ○作曲 自由作曲 (詩を興へる)	2の(2) 1の(3) 3の(1) 2の(2) 2の(3) 1の(1) 1の(4)		
秋の遠足						
12防	火	あ	れ	4	○「あられ」歌唱 B. $\frac{2}{4}$ 2合 ・視唱による ・スタッカート, 節分音の歌い方練習 ・輕快に歌う ○「チゴイネルワイゼン (サラサラーテ)」鑑賞 (レコード) ・悅樂 ○器樂 音樂會の爲の練習 ○作曲 自由作曲 (詩を興へる)	1の(4) 2の(1) 1の(3) 3の(1) 1の(1) 1の(4) 1の(1) 1の(2) 1の(1) 1の(2)
冬季日課開始						
自由研究發表會						
寒くなり霜がおりる			多の星座	3	○「冬の星座」歌唱 C. $\frac{4}{4}$ ・視唱による ・rit フェルマータ atompo の歌い方 ○器樂 音樂會出演の練習 ○演奏 合唱, 器樂 ○鑑賞	1. 2. 3.
音樂會			音樂會			

1正	月	驅	け	足	3	○「驅け足」歌唱 G. $\frac{2}{4}$ ・視唱による ・リズム正しく歌う ○「今様(古語)」鑑賞 (レコード) ・日本の旋律について ○器樂 練習の目標をきめる ○作曲 自由作曲の會を開く ○「妹に」歌唱 C. $\frac{4}{4}$ ・視唱による ・速度や曲想の變化に注意する raec ○「セレナーデ」長調(モツァルト)鑑賞 (レコード) ・セレナーデについて ○器樂 個別の自由練習をする ○作曲 正月にちなんだ作曲をする	1の(1) 3の(1) 3の(2) 1の(1) 1の(1) 1の(4)
2	麥	踏	み	踏	3	○「麥踏み」歌唱 二陽, $\frac{2}{4}$ ・視唱による ・陽音階の構成について理解を興える ・中途からの曲想の變化をよく歌わせる ○日本音階と日本民謡について研究 ○「日月潭の挽歌」の鑑賞 (レコード) ・臺灣民謡について ○器樂 打樂器によるリズムの研究 ○作曲 日本の旋律の作曲 ○「ヴォルガの舟」歌唱 Es. $\frac{4}{4}$ 2合 ・音程の跳躍に注意して視唱させる	1の(1) 2の(2) 1の(3) 3の(2) 3の(2) 1の(1) 1の(4) 1の(1) 1の(2)
寒	入	り					
大	寒	妹	に				
舊	正	月					
麥	踏	み	踏	み	3		
立	春						
紀	元	節					
春のきざしがうかがわれる							
父母と先生の會			ヴォルガの舟				

公開研究会	2の(1) 3の(1) 3の(2) 1の(1) 1の(4)	・カノン風の歌い方、美しさを得させる ・強さの変化による効果的な表情の技巧を習う ○「ヴァオムガの舟引歌」鑑賞(レコード) ・パスの歌い方について ・ロシヤの歌について ○器楽 自由練習 ○作曲 批判しあう
3 ひなまつり(学藝會) 遠山の雪が段々消えてくる	1の(1) 1の(2) 2の(1) 3の(1) 3の(2) 2の(3) 1の(1) 1の(2) 1の(4) 1. 2. 3	○「ぼだい樹」歌唱 Es. $\frac{3}{4}$ 合 ・視唱による合唱 ・リズムを正しくし特に三連音をうまく歌う ・美しい合唱をする ○「ぼだい樹」鑑賞(レコード) ○「未完成交響樂(シューベルト)」鑑賞(レコード) ・シューベルトについて ・交響樂の形式構成について ○器楽 獨奏出来るよう ○作曲 記録を整理する ○演奏 合唱、創作發表 ○鑑賞
彼修		
岸式		
學藝會		
ぼだい樹		
5		
氣候よろし		
ほこり立つ		
體育的		
住居の衛生		
測定		

體育科學習指導年次計畫

立案の趣旨

- 四季を通して運動場に展開される子供の遊びから糸口を求め、運動の特質を考へて季節的に配當した。
- 季節行事、設備、運動場の調子や子供の生活即ち子供の遊びと密接に關係を保ち、去年の體力測定の結果も題材選擇の上に考慮した。
- 方法は子供の實狀に依つて考えられるのであるから、全くの概略である民主的體育の方法について工夫して行きたい。
- 目標となつている平均記録は本年五月の測定の平均であるから無理なく到達めざしていいと思う。
- どこまでも當校を主に立案した試案である。實施した上での反省を備考にでも記しておいて、體育目的達成のためのよりよき來年度立案の素材ともなれば幸甚である。 2,29 應入生

月	季節と行事	子供の生活	題材	時間	學習活動	備考
4	始業式 入學式 天長節 花見 身體検査 氣候よろし ほこり立つ		徒手體操 短距離走 ワンアウトボール ダンス	6	○基礎體力に培い保健上からも必要であることを自覺して一つ一つの動作を確實に行う ○全力を傾注して走る ○スタート、呼吸、走の姿勢等を工夫研究する ○男 100m……16秒 ○女 100m……17秒 を目あてとする ○打ちよい投球をする ○愉快にやるが喧騒にならないようにする ○機敏、協同、判斷力をねる ○表現技術の研究 ・自然運動によつて基礎的な身體をつくること	
			體育的目的 住居の衛生 測定		・生徒の生活と結んで體育の心身兩面に持つ目的を究める ・教室、家屋、部屋敷等の衛生的見地からの検討改善手入れ等を工夫研究する ○身長體重胸圍	社會科

5	創立記念日	徒手体操	○準備、整理の運動としても必要であるから習慣になるまでつとめる ○緊張と弛緩のリズムを體得する
	はなまつり	繼走	○走距離は約 150mとする ○團體の爲に努力する ○コーナートップのことを學ぶ
	遠足	ソフトボール	○投球法を充分工夫練習する ○勝敗にこだわらずルールを守って愉快に行う
	新緑	ダンス	○表現技術の研究 ・自然を生活環境から取材したものを創作的表現にみちびく ・例 よろこび、希望
	體力測定	各種運動の解説及び運動練習法(1)	○基礎體力の養成、段階的發展的練習法について
6	運動場の調子よらし	病氣の豫防	12 ○結核、近視、トラホームの豫防法の工夫と實施
		測定	○體質檢診 ○體力測定 ・100m ・幅跳 ・懸垂屈び、野球ボール投(男) ・排球ボール投(女) 2000m(男) 1000m(女)
		小運動會	・距短距離競争 ・球投 ・ダンス
	小運動會	脚懸け上り、回轉	○低鐵棒で長短兩懸垂を學ぶ ○高鐵棒でも出来るようにする ○回轉は前後兩方を行う
	時の記念日	幅跳び	9 ○より多くとぶための工夫をこらす ○4m(男) 3.4m(女)を目ざして跳ぶ
舊の五月節句	上段跳び	○初めに立三段跳びを行う ○跳ぶ調子を知る ○漸次助走路を長くする	
農業期	ソフトボール	○主として女子が行う	
刈麥刈	ベースボール	○能力等分のチームを編成しておく ○チームワークと基礎技術をたえず向上させるよう努力する	
さつま植え	ダンス	○作品の創作 表現技術の研究の結果と作品として構成する	
田植え	運動の解	○努力とホームとスランプについて	
入梅			
梅雨			
夏至			

7	雨降り多く運動には適しない	説及び練習法(2)	衛生	○疾病豫防 むしろ、傳染病、消毒 ○食物の衛生及國民栄養 ○體重及體温の測定	理科…食物の貯藏
	病氣が多い				
	梅雨あけて急に暑くなる	逆上がり回轉	○高鐵棒で一節、二節の逆上がりを習う ○腕立回轉は特に前方を習う ○逆上りと脚懸け上がりとを連続してみる		
	夏季特別時間割	ソフトボール	6 ○状勢の判断を誤らぬようにする		
	水泳	ダンス	○作品創作 ・各自創作したものを鑑賞して創作に役立てる		
8	終業式	水泳	○平泳、速泳の時にばた足あおぎ足を習う ○救助法水泳の習得	○急性傳染病の豫防	理…水の働き
		病氣の豫防	○健全娯樂とスポーツについて		社會…音楽
		餘暇の利用			
		水泳	○友達と練習する ○小學生を指導する		
		旅行測定	○體重測定		
9	二百十日	け上り	○各瞬間に於ける鐵棒と體の位置について研究する ○高鐵棒でも習う		
	始業式	障害競走	12 ○100m. 9個の低障害をおく ○障害物の跳越し方と踏切と着地步數等の研究		
	展覽會	ハンドボール	○ボールを持って歩かない ○亂暴しない ○チームの標識をはつきりする		
	夏季時間割	ダンス	○生活環境から取材した題材にて表現技術の研究(スポーツ、自然)		
	残暑あり	マンシツマンシツ	○主としてその實例について話しをきき又話しあう ○そして實行にうつす		
氣候よく	衛生	○摩擦と衣服の衛生について			
お彼岸					
十五夜					
氣候よくなる					

10	スポーツ シーズン	跳び上り 下り	○高さ約 30cm の跳箱を用う ○跳力をつよめ身體支配能力を高め 敏捷性を養う	
	秋の農繁 期	繼 走	○能力別組分けに依り専ら走力を養 う ○走距離は150mとする	
	さつま堀	高 跳 び	○斜め又は正面とびをえらぶ ○110cm (男) 100cm (女) をめざ す ○跳べる高さを反復練習する	12
	稲 刈	スピード ボール	○フライボールは手で操作しグラン ドボールは足で処理する	
	麥 蒔	バレエボ ール	○12人組位にして行う ○トツスの練習を充分にする	
	運動會	ダンス	○作品創作の研究 荒城の月, 旅愁	
	快晴續き 絶好の運 動日和で ある	運動衛生	○體育としての運動における衛生的 方法の反省	
		衛 生	○運動時の姿勢 ○體重, 呼吸の測定	
		運 動 會	○100 m 競走, 障害競走, ダンスリ レー, 球技	
11	明治節	跳び越し	○高さ約120cmの跳箱を縦にして用 う ○腕立跳び上がり下りを行う ○腕立て跳び越しをらくにできるよ うにする ○逐次ホームをととのえる	
	國民體育 大會開か れる	サッカー	○基礎としての蹴り方の工夫練習 ○パスの機会と方向の研究	12
	村 祭	バレエボ ール	○サーヴの練習をする ○連動について工夫研究する	
	遠 足	ダンス	○生活感情から取材して創作研究 ・想い出・愁い	
	紅葉あり	國際競技	○オリンピック競技會, 極東競技會 國內大會等の切抜を集める ○その大要の話をきく	
	寒さ急速 に加わる	衛 生	○寄生虫病の豫防と手當について學 び實行する	
	體力測定	遠 足		理科, 農 業

12	冬季時間 割	跳び越し	○高さ約 80cm の跳箱を横にする ○腕立膝上り下りを行う ○腕立閉脚跳越しを行う ○らくに跳越せるようになつたらホ ームを考える	
	終業式	バスケット ボール	○準備としてダッチボールを行う ○あまり多く歩かず長く一人で待つ ていないこと位にして行う ○チームの標識を明らかにする	12
	木枯し強 くほこり 立つ	馬 遊 び	○数人づつくみ, 跳び乗りをして遊 ぶ	
	校庭は霜 どけでぬ かる	ダンス	○作品の鑑賞 ・専門の舞踊の鑑賞 ・舞踊者の態度	
	多 休 み	體 育 史	○日本體育史の概要を調べる, 體重, 脈膊の測定	
	多 至	精神衛生	○性格異常, 精神病その他	
1	正 月	轉 回	○腕立前方轉回を行う ○マット上で倒立姿勢より前轉する ○助走の後高さ約 60cm の跳箱の上 兩手をついて前へ轉回する	
	始業式	バスケット ボール	○シート競争を行い基本をつくる ○パス競争を行い基本をねる ○ポートボールを準備的に行う	9
	寒に入り	なわ跳び	○その場とびに各種の變化を工夫し て見る ○長くとぶ競争をする	
	嚴寒とな る	押し合い	○個人ですもうを行う ○團體として, 圓外に押し出し引き 出しを行う	
	寒 休 み	社會體育	○學校體育以外の體育の一つとして 社會體育について研究する	社 會
		看護法	○簡単な内科 外科の看護法	社 會
2	節 分	倒 立	○交互に幫助して倒立する ○幫助の仕方を工夫する ○獨りで倒立して歩く	
	立 春	長距離走	○約2000mを走つてみる ○短距離走法とのちがいを研究する ○女子は 1000mを走る	9
	紀 元 節	雪 遊 び	○雪中の歩行, 鬼事 ○雪投げ, 雪あて ○スキー, スケートについて學ぶ	
	雪降り多 し	ダンス	○創作發表會	
	寒さまだ 強し	家庭體育	○家庭體育の重要性を學ぶ	

		職業の衛生	○職業別疾患の傾向を調べる
3	學藝會	年度末試合	○學級，班，紅白通學區等の對抗ゲームを行う ○種目は既習題材の中から適當に選ぶ ○全部の生徒の機會均等を考慮する
	初 午		9
	終了式	體育的反省	○體育的效果を反省する ・體格，體育，體質の向上の模様 ・精神的方面への影響 ・衛生的生活の向上
	寒さやつと和らぐ		
	彼岸		

圖畫工作科學習指導年次計畫

立案の要旨

- 子供の學習は季節と行事，子供自身の興味，生活の實態，各教材の目標などがうまく融合して始めて學習指導の効果があがる，さうした立場から各項目を圖工の特殊性によつて慎重に決定した。
- 季節と行事は子供の學習意欲や興味の誘導に非常に大切なものであるから圖工の立場から特に重要な関連行事をあげた。
- 季節と行事から子供の生活がどう進展し，どんな事に特別な關心をもつかどんな生活實態を展開するか子供の生活を素直にながめてその内容とした。
- 中學校に於ては各教科の獨自性，各教科の目標が非常にはつきりとするので子供の生活からの出發より教科の目標からの出發が強いので子供の生活の項目を省いた。
- 季節行事，子供の生活，圖工の目標からどんな學習素材によつて學習活動することが大切か，つまりどんな學習内容が生れるかをあらゆる點からながめて學習素材の項目にあげた，題目でなくどこまでも學習活動の内容から生れた一つの素材であると考えた。
- 學習活動は各單元のもつ目標を子供自身から達成するための自發的な活動と考えて，重要な生き生きとした實際活動を具體的に記した。
- 單元は文部省試案の單元をとり，それに独自の單元を少し考え，量的には試案に示された比率によつて決定した。
- 學習目標は特に重要な點のみをあげて一般的な圖工の目標は出来る限り省略した。
- 連絡注意は各教科と細部にわたつて再三打ち合せて系統的な縦と横の関連をはかつた。
- 考査の判定は大別された方法のみで細かい具體的な内容は省略した。
- 行事とにらみあわせて時間的な増減を學習素材とは密接な関連をはかつた。
- 一年間の細部にわたつて授業時數を綿密に計算して，それにもとづいて各學年共授業總時間數を考えた。
- 寒，暑さを考えて單元の配當を慎重に決定した。

月	季節と行事	子どもの生活	学習素材	学習	活	動	目標及び単元の関係	連絡と注意	効果判定
4	始業式 入学式 桜開 花見 天長節 選學		○繪話 (2) ○工藝話 (2) ○建築話 (2)	○洋畫、日本畫の概要について話す ○繪の鑑賞の仕方、構圖色彩等について話す ○鑑賞用掛圖で鑑賞しながら話し合う ○繪のねうちについて ○工藝一般について ○日本工藝の内容について話す ○日本のこれからと工藝について ○貿易と工藝について ○盆子焼きや日光土産竹細工について ○建築の歴史について ○建築物の種類について ○日本家屋洋風の特徴 ○法隆寺、日光東照宮の建物 ○間取り、設計、庭園など			○美術常識の單元を講義し、常態の表解を深める ○繪など、理解を深める ○美術常識を高める ○美術心を高める	○社會科 藝術と生活 ○家庭科	
5	護齒日 新憲法記念行事 速足 端午の節句 創立記念日 後援會總會 健康週間		○色彩の混合話 (2) ○手と足の描寫話 (2)	○減算混合 ○加算混合 ○混合算數 ○自分の手友達の足などの鉛筆による精密描寫 ○肉體感、質感軟らかさなどに特に注意して感しを出す ○握る手、開いた手、力の入った手など自分でモデルを考えてかく ○鉛筆をしつかりと流暢につかつかつてかけなどをよく研究して			○色彩の單元を混合に對する理解を深める ○寫生による精密描寫になれさせる ○寫生の態度を養成する ○描寫力を正確に表現にわれさせる	○理科	○色彩調査表による ○記述尺度表

6	時の記念日 入梅 保護者會總會 創立記念日 刈り繁 麥農 田農 夏 夕 七 土 用		○電氣スタン ド(6) ○基本圖案 (圖案法) (2) ○道具の手入れと修理法 (1) ○ガラス工作 (自由作) (4) ○静物(2)	○電氣スタン ドの設計、製圖を する ○材料を考える桐、竹、金物などを中心とし て ○柄の枝は軽くよよいし竹は自由で面白い ○形、大きさは自由、丈夫で軽く ○笠もつくる一圖案、模様 ○陳列まで考える ○圖案の基本として易しい、圖案例を示す ○點線を中心として——圖案化—— ○四角、三角、圓などを中心として ○自然物の便化を中心として ○圖案の發展——應用—— ○實用化 ○自由なもののかいて見る ○鉋、鋸、のみ、小刀等の工具を中心として 道具の手入れをする ○刀の大きくかけたものを修理する法 グライインダー、金砥、荒砥 ○研磨法——中砥、仕上げ砥 ○手入れ保存——油ひき ○鋸の齒のつけ方——ヤスリかけ ○空びんの切り方 いろいろの切り方を工夫する ○變物になつた様な窓ガラスのかけたのをガラ スで切りで切断する技術 ○自分の好きなものを作る 鏡類、幻燈機、双眼鏡その他自由なもの ○果物、野菜器物を組み合せた静物の寫生	○目的さまの單元 ×製作の意欲を高め ×工作技術を養う ×電氣に對する理解を深める ○圖案の單元表現力 ×ねらせる ×構成力を高める ×創造力を高める ×色彩の應用力を ねらせる ○工具、備品の取扱 ×工具に對する關心を高め ×工具を大切にす ×習慣を養う ×保存、修理の方法を理解する ○材料ありの單元 ×工夫考案力をね らせる ×利用更生の力を ねらせる ×ガラス工作技術 ×になれさせる ×創造力をねる ○寫生による描寫	○電氣 ○工電 ○家庭科 ○工業 ○理科	○記述尺度表 ○記述尺度法 記述尺度表 記述尺度表 記述尺度表 一對比較法		
7									

一學期終了	○構圖, モデルの組み方を自分で工夫する ○どんな構圖が安定で美しいか ○形, 色彩を着實に	○表紙圖案 (2)	○觀察力をねらせる ×描寫力を正確に ×靜物の構圖表現 になれさせる ○圖案の單元 ×表紙に對する理 解と關心を高め る ×構成力をねら る ×創造力を高め る ×色彩感覺をね らる	一對比較法
夏休み	○夏休みの友を中心とした表紙圖案をする ○表紙の考え方 ○繪と文字 ○美しい表紙の意味 ○意匠と技術, いろいろの表し方	○表紙圖案 (2)	○觀察力をねらせる ×描寫力を正確に ×靜物の構圖表現 になれさせる ○圖案の單元 ×表紙に對する理 解と關心を高め る ×構成力をねら る ×創造力を高め る ×色彩感覺をね らる	一對比較法
二百十日	○夏休みの製作物についての反省と作品鑑賞 ○陳列の方法と見方 ○作品製作の苦心	○夏休みの製 作物について (1)	○鑑賞の單元 ×研究心をねら る ×造作意慾をねら る ○寫生による描畫 の單元 ×觀察力をねら る ×描寫力を高め る ×自然の愛好心を ねらる	順位決定法
始業式	○初秋の風景寫生 ○水彩畫又は鉛筆畫としてはつきりとして行 う	○風景寫生 (1)	○鑑賞 ×鑑賞力を高め る ×發表力を高め る ×研究心をねら る	記述尺度法
水泳大會	○季節と色彩の變化 ○遠近と構圖—遠い色, 近い色	○夏休みの研 究發表會 (2)	○材料ありの單元 ×考察力をねら る	
會	○夏休み中の研究發表會(學級で)	○空罐の工作 (2)		
會	○工作品, 科學的研究物			
會	○ラヂオ, 電氣, 創案品など			
會	○話し合いと反省			
會	○これからのこと			
岸	○空罐をうまく利用して工作品をつくる ○變形, 展開を基にして			

十五夜	○實用品——水筒, 灰皿など ○科學的模型——電車, 自動車, トランス, モーター	○實用品——水筒, 灰皿など ○科學的模型——電車, 自動車, トランス, モーター	○利用, 更生の力 をねらる ×科學心を高め る	
稻刈り	○木工を中心として自分の使う繪具箱をつく る ○蓋と箱と一つに作つて切斷して蓋をつくる ○中の仕切りをしてから金具をつける ○ニスで塗裝して仕上げる	○繪具箱 (4)	○木, 竹工の單元 ×創造力をねら る ×木工技術力を高 めめる ×意匠の力をねら る ×考察力を高め る	記述尺度法
運動會	○體操具, 机, 腰掛ケその他の學校備品を修 理する ○修理の要領と技術に基本的なものを習う ○釘の打ち方材料の使い方 ○ハンダ付けの仕方	○學校備品の 修理と手入 れ (2)	○工具備品の取扱 の單元 ×修理の技術をね らる ×ために働く態度 を養う ×工具を大切にす る習慣を養う	
明治節	○秋の紅葉を中心とした風景寫生 ○校庭の樹木, 田畑, 山などを中心として自 由に描寫する ○構圖と色彩に特に注意する ○遠近による色彩の變化 ○清色と濁色の使いわけ	○秋の景色 (2)	○寫生の單元 ×觀察力をねら る ×描寫力を高め る ×秋の色彩を理 解する	記述尺度法
足	○季節による配色の關係について ○配色練習 ○色彩の三屬性から ○應用——ポスター (防火)	○配色研究 (2)	○色彩の單元 ×色彩感覺をねら る ×配色の力をねら る ×構成力を養う	色彩調査表
紅葉祭り	○形を組み合	○形の組み合	○形體	記述尺度法
お祭り	○基本的な形を組み合せて新しい形を造る			

1	正月 三学期開始 寒入り	月 期 始 り	○衣裳の研究 (2)	○洋服のデザイン ○服型の研究 ○衣服と配色 ○圖案提出	○色彩、圖案の單元 × 衣裝に關心をもたせぬ × 考案力、美化力を高める	○家庭科	記述尺度法
2	防火デー 音楽會 冬 二学期終了 冬 休み	會 至 了 み	○製圖 (4) ○冬の支度 (2)	○用器畫を中心とする ○立體圖法の正投影の基本 ○點線面の基本問題 ○立體の投影 ○製圖提出 ○男女の特性に應じて冬必要な物品防寒具などを作る ○男 電氣保温器、こたつ ○女 袋、手袋、足袋、など ○編物などを中心として	○製圖の單元を理解する × 製圖の正確な表現力をねねる × 立體の投影を理解する ○ 目的きまりの單元計畫性を養う × 注意力をねねる × 利用更生力を高める × 工夫考案力をねねる	○理機 ○機械	記述尺度法 記述尺度法
			せ (2) ○機 (2)	○家具、建築その他の造形物を圖案する ○人工物の形の基本形を分解する ○機械類の分解組み立をする ○構造を理解する ○機能の研究する	× 人工物の形の基本を理解する × 工夫考案力を高める × 形態の關心を高める ○ 機械の單元 × 分解組立の力をねねる × 構造を理解する × 關心を高める	問題解答	

春 大	祭 寒	春 豆 紀 雪 初	○各種の表現 ○自由作 ○電氣工作 (自由作) ○冬の寫生	○材料別による各種の繪畫表現をさせる ○墨(毛筆)水彩、パツセル、油繪、コロンパ、木炭など ○材料に適した様なものをかゝせる ○参考畫をたくさん用意する ○お勝手道具、日用品など各家庭で使用する物をつくる ○木工、金工なんでもよい ○丈夫で工夫されたもの ○設計、製圖、製作	○美術常識 × 材料別による各種の表現を理解する × 美術に關心をもたせぬ ○ 目的きまりの單元をつける × 工夫考案の力を養う × 實用品製作の意慾を高める × 設計力、技術力を養う	○家庭科	○一對比較法 ○記述尺度法
2	立 豆 紀 雪 初	春 ま 元 節 の 季 節 午	○自分で使用の目的を考えて設計する ○材料を集める ○材料をうまく活用する工夫をする ○役に立つ物を製作する ○技術的に優れたものと着想を重んずる ○電氣を應用した自由製作 ○ラヂオ、スタンプ、トランス、モーター、コンロなど ○設計、製作する ○電氣の各種の知識と技術の研究する ○雪景色、その他冬の寫生をする ○冬の寒い感じ、冷い感じが出るようにする ○色彩の研究 ○白い雪の色をよく研究する ○水彩又は墨繪	○綜合、目的きまりの單元をつける × 工夫考案の力を創する × 創造力を高める × 技術力を高める ○ 材料ありの單元を解する × 電氣を應用する意慾を養う × 工夫考案力をねねる ○ 寫生による描畫の單元 × 寫生の興味を養う × 冬の色彩の研究をする × 觀察力をねねる	○工業 ○工業 『二年の電氣に』發展する	○記述尺度法 ○記述尺度法 ○一對比較法	

○家庭用具 (あみもの など)	○家庭で普通に使うような物品の製作又はあみもの ○家庭用具の修理でもよい ○はんだづけ、柄のすげかえなどもよい	○材料ありの単元 ×工夫考案力をねらせる ×創造力を高める ×利用、更生の力をねる	○家庭科	○記述尺度法
○道具の手入れ	○鉋、はさみ、小刀等日用品を中心として研磨 ○手入れ保存法 ○砥石の使い方 ○研磨の仕方 ○片刀、両刀 ○刀物の機能について	○工具、備品の取り扱い ×道具に対する愛着 ×好道具の扱いに慣れさせる ×手入れの技術をねらわせる	○工業	○記述尺度法
3 桃父展學 節兄覽藝 旬會會會會 岸了了式	彼三學期終了 終了式			

職業科農業學習指導年次計畫

立案の趣旨

- 第1學年では職業科農業というよりも、むしろ一般教育としての農耕作業の意味を強く考え作物の栽培を中心に子供の興味を喚起するよう配慮したつもりである。
- 必修總時限140時の配當については郷土、學校の特殊性からとりわけ野菜の栽培に50時限以上を次にさつまいもとじゃがいも豆類と雜穀、稻作などを重視した。
更に學校の設備の實情から實驗實習出来るものには比較的多くの時限を配當した。
- 農業の特殊性にかんがみて6月10日の農繁期にも特別に時限配當を減らさなかつた。
- 題目については興味感や必要感を喚起するため問題式作業式のものに適當にくみ入れた。
- 學習活動は必ずしも學習順序を意味しない、適當に順序を変更すること、もとより當然である。
- 他教科とは全般的に關連が深いのであるが特に社會科、理科と全面的に密接な關係をもっている。しかし全部書くわけにはいかないので特別なものだけ書きこんでおいた。
- 取扱いとしては各論的な仕事の中に一般論的な知識技能をおりこむようにしてあるが實習の出来ないようなものではしごとからきりはなして學んだ方が都合がよい場合にはそのようにやるようくふうできるようにしたいものである

月	季節と行事	題 目	學 習 活 動	單 元	他教科との關連
4	○育成の月 ○始業式入學式 ○春	今までの農業とこれからの農業 (1)	・郷土農業の歴史しらべ ・生産と生活について話しあう ・家畜、作物、農具の實狀とその變遷研究話しあひ ・これからの農業について話しあひ	1. 私たちは何を學ぶか	國語 (中學生になつて)
	○つばめくる	農業は他の産業や職業とどんな關係があ	・村に入る食糧出る食糧についてその季節量について話しあう	1. 私たちは何を學ぶか	

○櫻の花咲く	るか (1)	<ul style="list-style-type: none"> 農業と工業、商業との関係しらべと話しあい 気象観測法の話しあい 當番の継続的観測 統計の作り方しらべ 村の気象と農業との関係を研究する 気候についての傳説しらべ 	2. 作物の栽培にとりかゝる前にどんなことを知らなければならぬか	理科 (郷土の気象)
	作物の栽培と気候とはどんな関係があるか (1)			
	作物の栽培と土とはどんな関係があるか (4)	<ul style="list-style-type: none"> 田畑の土の温度湿度しらべ、空気の量、土の働らきしらべ 地下水位をしらべ作物との関係を話しあう 土の性質とくわの形、用途の話しあい くわの正しい使い方實習 作物と肥料三要素について話しあう 郷土で使う肥料の性質成分しらべ 自給肥料と配給肥料はついでの話しあい 	2. 作物の栽培にとりかゝる前にどんなことを知らなければならぬか	理科 (水のはたらき) 理科 (土)
	作物を栽培するのに最も大切なことはなにか (1)	<ul style="list-style-type: none"> 篤農家の熱心な話を聞く 作物、家畜の手入れ世話や観察力、判断力の大切なことについて話しあう 	2. 作物の栽培にとりかゝる前にどんなことを知らなければならぬか	理科 (草木)
	今年の計畫はどのように立てるか (1)	<ul style="list-style-type: none"> 一年の農業の見透しについて話しあい各自計畫をたてる 	2. 作物の栽培にとりかゝる前にどんなことを知らなければならぬか	
○苗代をつくる	よい種もみえらび (2)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土で作られている稲の品種について調べ話しあう 縣ですゝめている品種をしらべる 	4. 丈夫な苗 (稲作その二)	理科 (草木)
○天長節	苗代のたねまき (2)	<ul style="list-style-type: none"> まく品種を決定し消毒し浸し方、浸し時間の研究 苗代田えらび 苗代田づくり、こやしやり よい苗づくりの話しあい まく量と面積について話しあい まく時期の研究とたねまき 	4. 丈夫な苗 (稲作その二)	理科 (草木)

5 ○活動の月	苗代の手入れ (2)	<ul style="list-style-type: none"> 芽ぼしと虫とり 芽ぼしの方法、わけについて話しあう 苗代のくさととり 害虫の種類や害のようすをしらべる 防除法しらべと實習 	4. 丈夫な苗 (稲作その二)	
○新憲法實施記念日	おかぼまき (2)	<ul style="list-style-type: none"> 品種まき時期たね浸しなど村のようすをしらべる 畑をつくり、こやしをやりたねをまく 水稻とおかぼの比較研究 郷土の栽培のようすを話しあう 	4. 丈夫な苗 (稲作その二)	
○こいのぼり				
○青葉となる	夏の野菜の植えつけ (6)	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の必要性について話しあい 郷土の夏の野菜しらべ 他から入る野菜他に出す野菜について話しあう 郷土での植付け時期しらべ なす、きうり、トマトかぼちやの畑作りそれぞれこやしについて話しあい かぶ間とうね幅と品種との関係を研究する 仕立方のちがいを研究する かぼちやのくらづくり仕立方品種などを研究し雑種作りについて話しあう 苗うえ 根づきの吟味と話しあい 	5. 夏の野菜 (野菜の栽培その一)	家庭科 (季節と生活) 理科 (草木)
○遠足				
○創立記念日				
○健康週間	ごぼう、にんじんのたねまき (1)	<ul style="list-style-type: none"> 畑の準備こやしやり たねえらび、たねまき ごぼうにんじんについての話しあい 	5. 夏の野菜 (野菜の栽培その一)	同上
○傳染病豫防	とうもろこし、もろこしのたねまき (2)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土における作付と用途しらべ 品種試験をやる こやし、病虫害について話しあい 交配、雑種作り研究 	6. 豆と雑穀	理科 (草木)
	だいずまき (4)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の作付面積、品種用途についてしらべ話しあう だいず作りの重要性についてしらべ話しあう 品種えらび 空地、畑周囲えのたね 郷土の間作、混作しらべと實習 	6. 豆と雑穀	理科 (草木)

		<ul style="list-style-type: none"> ・だいずの根粒菌の観察と研究 ・だいずと窒素質肥料について話あ ・畑を耕す意味の再吟味と話あ ・豆科植物と緑肥について話あ 	
6	○奮闘の月	桃の袋かけと 蟲防ぎ (2)	13. 果 樹
	○小運動會	<ul style="list-style-type: none"> ・桃の手入れについて話あ ・病虫害防除の研究 ・袋かけの方法意味について話あ ・梅、柿の落果防止の方法しらべと話あ ・家庭實習 ・薬劑の調製實習 	
	○田 うえ	田うえ(5) (おかほの手入れ)	7. 米の増産 (稲作その三)
	○時の記念日	<ul style="list-style-type: none"> ・畑のうち起し ・すき床や作り土の深さしらべ ・すき床、作り土の意味 ・働らきの研究話あ ・乾土効果の實驗と継続的觀察 ・こやし施しと代かき實習と話あ ・用水設備しらべ ・田うえの計畫 ・植え方、本數、正常植えの長所、能率などしらべ ・田うえの方法能率について吟味する ・田のいねの継続的觀察と水まわりの當番つとめ 	
	○入 梅		
	○夏 至	野菜の追い肥 と手入れ (2)	5. 夏の野菜 (野菜の栽培その一)
	○麥刈り	トマトの仕立 方 (1)	同 上
	○野菜の害蟲 が現れはじ める		
		野菜の虫退治 (2)	同 上

		<ul style="list-style-type: none"> ・薬劑、接觸劑のかけ方實習 ・ふんむきの取扱 ・うりばいの幼虫の防ぎ方研究工夫する 	
7	○手入れの月	野菜の病氣豫 防 (2)	理科(郷土 の氣象)
	○七 夕		
	○公開研究會	土用あずきの 種まき (1)	5. 夏の野菜 (野菜の栽培その一)
	○雑草のほび こりはげし い	畑のくさと りと追い肥 (2)	6. 豆と雜穀
	○作物の成長 がいちじる しい	田の手入れ (2)	6. 豆と雜穀
	○土 用		7. 米の増産 (稲作その三)
		穗肥(1)	同 上

	<p>○終業式</p> <p>来年まく種はどんなにして取るか (1)</p> <p>菜やだいこんにはどんな種類があるか (1)</p> <p>だいこんの種まき (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・穂肥やり (8月休中) ・よい種を得る工夫を研究考察する ・郷土の一代雑種の作り方をしらべる ・交配の目的と交配の方法について研究する、話しあ ・なす、かぼちや、とうもろこしについて実験する ・教科書をよむ ・郷土で作られている葉だいこんの品種、用途、播種期しらべ ・だいこんの品種と作る時期との関係をしらべ話しあ ・みの早生だいこんのたねえらび ・夏休中のたねまきについて話しあ ・畑づくり、こやしやり ・うねたて、たねまき 	<p>5. 夏の野菜 (野菜の栽培その一)</p> <p>8. 菜とだいこん (野菜の栽培その三)</p> <p>同上</p>	理科(草木)
9	<p>○作付けの月管理の月</p> <p>ねぎのたねまき (3)</p> <p>○二百十日</p> <p>菜、だいこんの間引き (2)</p> <p>○颱風の候で風水害が多い</p> <p>○夏休み研究発表会</p> <p>なす、かぼちや、とうもろこしのたねとり (1)</p> <p>○水泳大会</p> <p>研究発表 (2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まき床作り ・ねぎの作付面積と苗床面積とたねの量についてしらべ話しあ ・郷土のねぎ作の研究をする ・ねぎの苗床えのこやしやり ・品種について吟味し話しあ ・ひら床、かたか床か研究する ・たねまき ・ねぎの重要性と土地利用について簡単に話しあ ・休中間引いた後をひきつづき間引きする ・菜の葉の形、色と結球の大小早晚との関係を観察する ・何回目で一本にするか研究し話しあ ・どんなものがたねとしてよいか吟味してとりいれ乾燥する ・たねの保存法について話しあよく乾燥し保存する ・夏休み中の研究発表会を開く 	<p>9. 秋まきの野菜 (野菜の栽培その三)</p> <p>8. 菜とだいこん (野菜の栽培その二)</p> <p>5. 夏の野菜 (野菜の栽培その一)</p> <p>1. 私たちは何を学ぶか</p>	

○彼岸	<p>菜とだいこんの害虫や病気はどんなにして防ぐか (3)</p> <p>追肥 (1)</p> <p>ほうれん草のたねまき (2)</p> <p>畑のくさととり (2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 質疑応答話しあ ・批評 ・どんな虫がつくかどんな病気が出るか継続的に観察する ・郷土のようすをしらべる ・土質、品種、肥料、氣候、たねまき時期の病蟲害との関係を研究する ・夏の野菜の虫と秋の野菜の虫の運動の仕方、葉の食べ方の比較しらべ ・防除法の話しあ ・薬劑の調製研究 ・防除實習をする ・菜、だいこんの追肥の種類、量、方法について話しあ實習をする ・郷土の土とほうれん草の栽培についてしらべ話しあ ・酸性の土とその由来、改良法について研究し話しあ ・他の作物と酸性の土との関係をしらべる、話しあ ・石灰施用と灰施用との比較實驗 ・長日性、短日性の作物の品種について實驗し継続的に観察する (3月頃から) ・秋まき種と春まき種とのちがいをしらべる ・もろこし畑、菜、だいこん畑のくさととり ・かぼちや、なす、きうり畑の整理 ・春と夏と秋の草の持ちようをしらべる 	<p>8. 菜とだいこん (野菜の栽培その二)</p> <p>同上</p> <p>9. 秋まきの野菜 (野菜の栽培その三)</p> <p>8. 菜とだいこん (野菜の栽培その二)</p>
○十五夜	<p>○收穫の月</p> <p>私たちの田畑はどんな麦を作つたらよいか (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・麥の品種のえらび方 ・裏作と麥の品種について郷土のようすをしらべ話しあ ・後作と前作と品種との関係をしらべる ・土質、特に酸性の土、黒ボク土と品種との関係をしらべる ・郷土で作られている麥の品種縣ですすめている品種をしらべ話しあ 	<p>11. 麥作</p>

○虫とり	麦の病氣はどんなにして防ぐか (1)	いまく品種を決定する 郷土に出る麦の病氣の種類とその病状、性質、原因をしらべ 病氣に強い品種について話しあう 郷土の豫防法の研究と話しあう たねの消毒法と消毒薬劑についてしらべ實習する話しあう ふんむきの取扱い練習	同前
○運動會	麦の秋料はどんなにしたらよいか (2)	麦の肥料作り 麦の肥料の大切なわけをしらべる 冬越し作物の肥料を研究する 肥料の配合について話しあい配合する 自給肥料と配給肥料との配合研究	11. 麦作
○みのりの秋で穀物收穫の時期	麦まき (3)	麦畑の準備 たねまき時期と氣候、品種との關係をしらべ話しあう 裏作する田の有無を吟味する たかうね、ひらうねの適否の話しあう 郷土のまき方をしらべる かぶまき、すじまきの土質、氣候との關係を考察する 郷土のまき幅率をしらべて話しあう 三要素の肥料試験をやる 後作との關係を考へてまく	同前
○稻刈り	稻刈り (2)	穂の数、もみの數をしらべ平年作と比べる いねかり 坪刈りと收穫豫想 なまもみとほしあげたもみの重量比べ 郷土の稻の刈り方をしらべ能率をあげる工夫をする 刈る時期と收量品質しらべ	10. 取り入れ (稻作その四)
○十三夜	稻こき (3)	教科書をよむ 稻扱き機械の掃除 構造と原理の研究 郷土の稻扱き機械の歴史をしらべ種類、性能などを研究する	同前

○紅葉	もろこし、だいず、あずきのとり入れ (3)	能率をあげる工夫を話しあう もみすりの道具とその變遷についてしらべ話しあう もみと玄米との割合しらべ もろこし、だいず、あずきのとり入れ それぞれの脱穀の方法を話しあう 乾燥、脱穀、實習 品種と收量しらべ 用途の話しあう	6. 豆と雜穀
○調製の月	麦踏み (2)	麦の手入の方法、時期しらべ 追い肥、中耕、土寄せ、土入れ、麦ふみ、草とりなどの方法、目的、時期しらべ 郷土の麦ふみの方法、時期、回数しらべ 土質、氣候と麦ふみとの關係について話しあう	11. 麦作
○一段と涼しさ増し空気が乾燥してくる	追肥 (2)	麦の追肥のやり方、やる肥料の性質と量についての話しあう うすい下肥をほどこす	11. 麦作
○明治節	菜とだいこんの取入れ (4)	作がらの吟味反省 ぬきとり 收量と品質についての話しあう 貯藏するだいこんのぬきとりはあとまわしにする 白菜は漬物にする準備をする だだいこんはたくあん漬にする ほし方の工夫をする だいこんの葉の利用くふう	8. 菜とだいこん (野菜の栽培その三)
○部落のおまつり	さつまいもの生の貯藏 (5)	郷土の貯藏法しらべ 貯藏の必要性についての話しあう 貯えられた所の温度、湿度、品種といもの呼吸生活力との關係を継続的に觀察研究する 貯え方は班別に研究する かび細菌のはびこる原因をしらべてみる 收穫時期と天候との關係をしらべる 定温を保つのにどんな	12. 野菜の貯藏 (野菜の栽培その四)
○霜			理科 (たべもの) 家庭科 (貯藏した食品)

	稲作反省 (3)	工夫をしたらよいか研究する ・学校の稲の栽培面積と収量との関係しらべ ・村の収量と平年作との比較 ・日本全国の収穫高しらべ ・学校の稲作の反省 ・今年天候と品種栽培法との関係を考えてみる ・郷土での豊作、凶作はどんな年に出来るかその理由をしらべてみる ・今後の研究点について考察する	10. とり入れ (稲作その四)	数学(主食の統計)
12	○反省整理の月 ○防火 ○音楽會 ○冬至 ○終業式 ○クリスマス	生のまゝ貯えるにはどうしたらよいか (3) 加工して貯えるにはどうしたらよいか (7) 麦の手入れ (1) 道具の手入れ (2)	12. 野菜の貯蔵 (野菜の栽培その四) 同前 11. 麦作 2. 作物の栽培にとりかゝる前にどんなことを知らなければならぬか	理科(たべもの) 家庭科(貯蔵した食品) 理科(たべもの) 家庭科(貯蔵した食品) 理科(きかい)

1	○計畫の月 ○元旦 ○寒入り ○始業式 ○おたりや ○大寒 ○多休み研究發表會	道具の手入れ (2) わが國の稲作 (5) 麦の手入れ (3) 研究發表 (2)	・前月に引きついき簡単な修理をする ・來年度の道具の準備をする ・教科書を讀む ・参考書をしらべる、話しあう ・世界諸民族の食糧をしらべてみる ・米作地域の特質を研究する ・わが國の稲作の特徴をしらべ話しあう ・氣候と稲作との関係しらべ ・栽培面積しらべ ・品種改良と栽培技術と収量についてしらべ話しあう ・外國の稲作と日本の稲作のちがいを ・わが國の稲作の傳わり方をしらべてみる ・おかぼと水稻について話しあう ・麥踏み、追い肥やり ・麥の生育觀察 ・土いれの用具方法について研究、工夫する ・麥作の重要性についてしらべ話しあう ・冬休み中にまとめられた第2學期中の研究の發表會を開く ・發表、質疑應答 ・批評	同前 3. わが國の稲作 (稲作その一) 11. 麥作 1. 私達は何を學ぶか	理科(きかい) 理科(食べもの)
2	○準備の月 ○北風強く乾燥はげしい ○立番まめまき ○初午	どんな果樹を作つたらよいか (2) どんな樹形に仕立てどこに實を結ぶようにしたらよいか (3)	13. 果樹 同前	・果物の重要さについて教科書や参考書でしらべる ・果樹の栽培の歴史をしらべる(郷土) ・果樹栽培と氣候土質との関係をしらべ話しあう ・今後どのような果樹を作つたらよいか研究する ・桃やなし、くり、かきについて樹形の仕立てを實習する ・桃の剪定整枝さし杯状に仕立てる ・果數と葉數との関係をしらべる ・花芽と葉芽の見分け方の觀察研究	理科(きかい)

○展覧會	果樹の手入れ (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ unnecessary 枝の間引き ・ 果樹の耕し方と肥料の施し方しらべ ・ こやしやり ・ 病蟲害の研究、観察と防除法しらべ ・ 手入れの仕方と手入の時期と収量との関係をしらべる 	同前	
	苗床はなぜ必要か (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土の苗床の作り方しらべ ・ 郷土の苗床で作られる苗にはどんなものがあるかしらべ話しあう ・ 露地まきと苗床まきの長短について話しあう 	14. 苗床	
	温床はどんなにして作るか (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苗床の必要性、作り方材料など郷土の實情をしらべ材料を用意する ・ 保温の工夫を研究する ・ 電熱温床について研究する ・ 設計を圖にかいてみる ・ 氣候、氣温と材料についてしらべる ・ まき床、移植床さつま床について作付面積と比較して苗床の面積をきめる ・ ふみ込み材料の準備 ・ 床土の用意 ・ ふみ込み ・ 床土の厚さ、ふみ込みの厚さと材料と床温との関係をしらべる ・ 床温の變化を毎日記録する 	同前	
○父兄會	さつまいもとじゃがいも (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書をよみさつまいもじゃがいも栽培の歴史をしらべ話しあう ・ 他の穀物と面積當りの收穫物の發熱量を比べる ・ 含まれている養分の種類、分量、性質や貯藏、輸送、配給などに要する人件費や設備などについてしらべ話しあう ・ いもの加工用途のしらべ ・ じゃしも、さつまいも、さといもの栽培上の性質のちがいを話しあう ・ 村の栽培面積と品種についてしらべ話しあう 	15. さつまいもとじゃがいも	
○公開研究會	一年の反省 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計畫と實際とについて話しあい反省し來年の計畫について話しあう 	1. 私たちは何を學ぶか	

3	○着手の月	きうり、なすかぼちや、トマトのたねまき (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土で作っている品種しらべと話しあい ・ 畑の面積とまく量についてしらべる ・ 床温を継続的にしらべる 	14. 苗床	
	○ひなまつり		<ul style="list-style-type: none"> ・ 床温が何度位の時にたねをまいたらよいか話しあいたねまきをする 		
	○梅の花咲く	さつまいもの種いもふせ (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土で作られている品種しらべと縣ですゝめられている品種しらべ ・ いもふせ ・ 床温の高すぎる時、低すぎる時の調節について話しあい實習する ・ いものきり方、伏せ方を話しあい實習する 	15. さつまいもとじゃがいも	
	○學藝會	麥踏み (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麥ふみ ・ 追い肥 ・ 土いれ、生育觀察 ・ ほうれん草の實驗 	11. 麥作	
		じゃがいも作り (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土で作られている品種について話しあい ・ 氣候、土質、病蟲害との關係の話しあい ・ まき時期と収量との關係を研究する ・ たねいものきり方の話しあいと實習 ・ たねの消毒法の研究 ・ 試作實驗 (肥料とたねいも) ・ 肥料、うね幅、まき幅の話しあい ・ 地だねと高い地からきたものと比べてまく (ベイルス病菌をもつものとの比べ) 	15. さつまいもとじゃがいも	
	○終了式				
	○彼岸	さし木とつき木 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 果樹のふやし方について話しあう ・ さし木、株わけ、取木、苗つき木などについて種類とそのやり方研究 ・ つぎ木と臺木の良否の吟味と話しあい ・ 原理と技術についてよく身につける ・ つぎ木さし木の實習 (家庭學習に連絡) 	13. 果樹	理科(草木)

職業科工業學習指導年次計畫

立案の要旨

- 中學校に於ては各教科の獨自性、教科目標が非常にはつきりとしているので単元の目標から學習素材が強く浮び出されるので、子供の生活を省略して學習内容を単元の目標に重點をおいた。
- 指導が各教科の専門に移されるので季節と行事も特に重要な點をあげて學習活動との関連をはかつたがむりに連絡をつけようとしなかつた。
- 夏季、冬季の特別目標をしない考えから一年間の授業を計算した。
- 工業はまだ指導要領が出ていないのでわかっている範囲内で研究して簡単にその内容を記した。
- 時間的な配當も独自の考えで生徒の實情に應じて決定した。
- 単元も大きく二つか三つになつていたので學習素材は出来る限り土地の獨自性をあげた
- 単元の順序も文部省案と必ずしも一致せず生徒の興味と實力に應じて順序を考えた。
- 単元が非常に工作と近い密接な関連があるので工作の指導法と特に関連づけた。
- 指導要領を見ていないので不安な點は省略した。
- 工業は製作中心であるので一素材にたつぷりと時間をとつた。
- 季節に應じて適合したやりよい単元を配當した。
- 技術と知識とに指導内容がわかるのであるが餘り内容を明示しないで簡略化した。
- 工業の内容は今までとほとんどその内容を異にしている所以他教科の関連を慎重にした。
- 一年間を三十五週として時數を決定し實際に出来る各月の時數を行事によつて計算して配當した。
- 工場見學、實習は出来る限り休日を利用しようと考えて餘り時間に配當しなかつた。
- 製圖設計技術は各単元に何時でも行うように考えて特別な時間を餘り多くとらなかつた。
- 各単元は文部省試案にもとづいて考えた、がその重點は獨自に考えて決定した。

月	季節と行事	子どもの生活	學習素材	學	習	活	動	目標及び單元との關係	連絡と注意	效果判定	
4	式式 業學 開見 櫻花		○工業とは何にか(どんな事をするか)男(8)	○天然に産する物に物理的又は化學的變化をあたへて成品を作る技術と營利の仕事	○工業の分類…製産工業、建造工業、電氣工業などに大別	○工業と國家との關係を習う	○農村工業について研究する	○貿易と工業の振興について話し合う(經濟復興と工業)	○二年の工業へ発展	問題解答	
5	護齒日 新憲法記念行事 端午の節句 遠足 創立記念日 後援會總會 健康週間		○製圖の描き方(12)	○製圖の實際を描いたり、讀圖したり、して習う	○第一角法、第三角法のあらわし方について	○線の引き方、鉛筆の使い方	○線の種類と用法	○製圖の順序	○製圖の單元 ○製圖の基本的な力を高める ○技術力を高める ○各圖法の表し方について習う ○寸法記入について特に理解を深める ○日本標準規格について理解する	○製圖の單元 ○製圖の基本的な力を高める ○技術力を高める ○各圖法の表し方について習う ○寸法記入について特に理解を深める ○日本標準規格について理解する	記述尺度法
			○ちりとりりの製作(8)	○ちりとりりの製作を木工として行う	○設計、製圖、製作する	○ちりとりりとはどんな形が必要か改善の方法はないか		○木工製作の興味をねらわせる ○木工の基本的技術をねらわせる	○工『木工』	記述尺度法 問題解答	

6	時の記念日 入 麥 農 田 農 夏	梅 期 植 休 至	本立の製作 (8)	○材料はどんなのが必要か丈夫な材料で手に入るもの ○自分で使う、ちりとりを考えて設計する ○材料をきちんと仕上げて組み立てる ○製品を反省して各方面から良否を検討する ○本立の製作を木工として行う ○設計、製圖、製作 ○本立での機能と形をよく研究する ○今までの本立でより合理的で美しい形と組み合せはないか ○本立、本箱どちらでもよい ○引出しをつけたり扉をつけたりする ○丈夫で経済的な組み方みぞをほつて組む ○塗装(ニス)して仕上げる ○各種のものよをほり又は切り抜く	○材料についての研究態度をねらせる	○工「木工」	記述尺度法 問題解答
7	七 土 終	夕 用 式	○スケッチ箱の製作 (12)	○自分で使うスケッチ箱を製作する ○設計、製圖、製作 ○スケッチ箱の用途から形を機能的に考える ○溝をほつて組み手をつくつて組み立てる ○底と蓋を打ちつけて切断する ○中の仕切りを筆、パレット其の他の用品の大きさに應じてつける ○蓋の開閉を考えて金具をつける	○木工の単元の興味をねらせる ○木工製作の基本的技術をねらせる ○意匠の考え方をねらせる ○木工の単元の技術と知識をねらせる ○蓋付の箱製作の仕方に関する意匠の考え方をねらせる ○工作圖の書き方をねらせる	○工「スケッチ箱」と同一に	○記述尺度法 問題解答

夏 休 日	二 十 日	二 學 期 開 始 式	○皮などで手に提げられるように造つたりひもで肩から背負えるようにつくる ○ニスを仕上げる ○各方面から良否を検討して製品を反省する	○研究の單元を高める ○研究心を高める ○工業に関する関心を高める ○発表力をねらせる	○研究発表會と同一に ○全科目	○研究発表の内容 検討
水 泳 大 會	研 究 發 表 會	○夏休みの發表表 (2)	○夏休みの工業に関する研究物や研究を發表し合う ○作品や研究物を展示したり話し合つたりし、互に研究し合う ○批評會を行う	○木工の單元を高める ○木工の基本的技術をねらせる ○製作の興味を高める ○意匠の考え方をねらせる ○組立を習う	○工 作	○記述尺度法 問題解答
彼 十 五 夜		○額縁の製作 (8)	○額縁の設計、製圖を行う ○自分の設計にもとづいて製作する ○水彩の繪を入れる機なものか、油繪のよなものか、その他寫眞用など用途に應じて自分の作る額の大きさをきめる ○角の組み方は四五度斜面で組む ○釘を斜に打つて後から板で四すみをとめて丈夫にする ○線のもよよりも浮彫りかほり込みか石管や紙などで固めてつくるか材料や用途に應じて考える ○べにかから、金粉、エナメル、塗料で仕上げるかをきりする	○木工の單元を高める ○木工の製作技術をねらせる ○角柱の製作技術をそのほり方をねらせる	○工 作	○記述尺度法 問題解答

10	稲刈り
11	明治足葉 速紅

- 設計、製圖、製作
- どんな機能をもつて、いるか、身軀と目的によつて何にか、特に改善するところはないか、考へる
- 丈夫で安定して、使いやすい、腰掛け、よ、形と大きさ、を研究する
- 構造について……どんな組み方が最もよいか、材料はどんなものか
- 構のほり方はどうするか
- 組み立てはどんな順序か
- 製品を反省して、良否を検討する
- 竹製による洋服かけの製作
- 眞竹、篠竹どちらでもよい
- 眞竹の場合は、割つて使用する
- 洋服や着物の大きさを考へて設計する
- どんな形で、どんな構造が一番便利か
- わら灰や蒸気で(又は湯)曲げる
- よく磨いて、からひもをつける
- 染料で着色して仕上げる
- 竹の性質、害防、曲げ方、染色などを、特に研究する
- 竹を細かく割つて、編み筆巻きをつくる
- 竹は、どんな風に割つたら細かく割れ、だらう(研究)
- 割つたのを、紙ヤスリで磨いて一本づつ、ついで、ねいに、細い棒をつくる
- 丈夫なひもで編む

○洋服かけの製作 (4)

○筆巻き (8)

どの技術をねら
せる
×木材に對する研
究心をねらせる
×意匠の考え方を
ねらせる

○工、作

○記述尺度法
問題解答

○工の單元
×竹材に對する研
究心をねらせる
×竹材に對する知
識をねらせる
×竹工の基本的技
術をねらせる
×意匠の考え方を
ねらせる

○工、作

○記述尺度法
問題解答

お祭り	防火デー	音楽會	至
			多
			二學期終業式
			冬休
			み

- どんな編み方があるか
- 巻いて抱むのにはどんな条件が必要か
- 編む時に、四角な板で編むに、必要な機、破をつくる
- 編んだら、染料で着色する
- 竹を細かく割つて、自分のすきな、かごを編む
- 竹の割方を研究する(基本) 幅や彈力を統一する
- 皮の部と肉の部とを適宜混用する
- 六ツ目か、この編方は、どうすればよいか、方法と技術を研究する
- 丸編(放射形)の編方は、どうすればよいか、細く長く、割ぐこと
- 四ツ目編の編方は、どうすればよいか、市松形に竹を組み合わせる、内外に添竹する
- その他、いろいろと混用して、やつて見る
- 竹の性質を利用して、各種の編方を工夫、研究して、新しいものをつくる
- 工具の手入れ、保存をして、今後に備へる
- 工具の中で、特に、鉋、鋸、なたのみ、などは、大切なもので、われ易いから、念を入れて、入れる
- どんな風に、工具は、ふつう、保たれればよいか
- 研磨法と保存法
- 道具は、どう取扱うことが必要か

○かご (16)

○工具の手入れ (2)

竹材染色の力を
高める

○工、作

○記述尺度法
問題解答

○工の單元
×竹材に對する研
究心を高める
×竹材の割方の基
本的技術をねら
せる
×かこの編み方に
ついて、基本技術
をねらせる
×創作力をねる

○工、作
『工具の手入
れ』と同一に

○問題解答

○木工の單元
×工具に對する取
り扱ひの態度を
ねらせる
×工具の手入れ法
を研究する
×工具に對する關
心をねらせる

1	正月 三学期始 寒入り 春祭 大寒	月 期 入 渡 祭 寒	立 豆 節 初	春 き 節 午	○テーパーの製作 (20)	○テーパーを共同して作る ○設計、製圖、製作 ○木工製圖の仕方について ○テーパーの機能と形の研究をする ○事務用テーパー、學習用テーパー、等用途によつて形や機能をよく研究する ○大きさ、高さなどよく使用目的と人體の大きさに合せて ○上面が反らないようにするにはどんな工夫が必要か ○組み方脚のつけ方、引き出しのつけ方などよく研究する ○組み手は全部溝をはつて接合する ○釘は全部うめ釘にする ○ラック＝スで仕上げる ○製品を反省して良否を検討する ○染色一般について實習しながら研究する ○染色の種類について 浸染、引染、摺込染、描染、注込染、墨流染などについて ○染料について——天然、人造染料 ○絞染について特に實習して研究する イ、鹿の子絞り、竹輪絞り、疋田絞り、捲上絞り、平縫絞り、板縫絞り、共絞り、掬染絞り、部分染絞り、色替り絞りなど絞染について自由に實習する ○どんな方法がよいか比較して見る	○木工の單元 ×木材に對する知識を高める ×木材に對する研究心を高める ×共同製作の力を高める ×木工製品のほり方、引出しのつけ方などをねらわせる ×意匠の考え方をねらせる ×塗裝の仕方を研究する	○工 作 『椅子』	○記述尺度法 ○問題解答
2	正月 三学期始 寒入り 春祭 大寒	月 期 入 渡 祭 寒	立 豆 節 初	春 き 節 午	○染色 (6)	○染色の單元 ×染色に對する興味を高める ×染色のしぼり染め技術をねらせる ×染料に對する知識を高める ×意匠の考え方をねらせる	○工 業 『三年』に發展する ○工 作 ○理 科 『織物の研究』	○問題解答	

3	桃の節會 學藝覽會 展覽會 父兄會 彼岸式 修了	句 會 會 會 岸 式	桃の節會 學藝覽會 展覽會 父兄會 彼岸式 修了	自由なもの (6)	○自由なもの (6) ○今まで習つた木、竹工を中心として自由にするきなものをつくる ○有用なもの ○材料をよく研究して ○どんな作品がよいか研究する	○木竹工の單元 ×製作の意匠を高める ×創作力をねらせる ×意匠の考え方をねらせる	○工 作 ○理 科 ○自由研究	○記述尺度法
3	桃の節會 學藝覽會 展覽會 父兄會 彼岸式 修了	句 會 會 會 岸 式	桃の節會 學藝覽會 展覽會 父兄會 彼岸式 修了	工業講話 (4)	○工業について實習出来ないようなものについて大切なことを話す ○材料學——工業用材料としてどんなものがよいか ○木材はどんな價值があるか ○金屬材料と比較してどうか ○加工の方法にどんなのがあるか ○木工品に於ける意匠の考え方 製作の注意 組み立ての注意 加工上の注意	○講話の單元 ×研究心を高める ×工業材料に對する理解を高める ×工業に對する關心をもたせる	○工 作 ○理 科	○問題解答

職業科家庭學習指導年次計畫

立案の主旨

- 中學校における家庭科は職業科の中から生徒の希望によつて選擇したものであり、大部分の女子が選擇したものと考へて立案した。どこまでも家事裁縫の合科でなく、新しく家庭建設する能力を養うために生れたのである、各學年の流れを考へてみると
 - 1年は健康にして、手まわしのよい家庭の整理、計畫的の家庭生活を中心としている。
 - 2年は季節と家庭生活が中心となる。
 - 3年は生活の改善が中心となる。
- 地方に應じて生徒の生活環境が異つてゐるから作業單元學習活動はみずから異つて來るものである。
- 教科書の用ひ方は従來の教科とちがひ問題を發見する手引きとし、問題解決の手引として用いるのである、又教科書は學習張ともなり問題集ともなつてゐるので、常に持つていてよい參考書となすべきである、計畫の中に關連事項の教一とあるのは教科書との關連を示したものである。
- 效果判定の方法は技術的進歩と態度の進歩の狀況をみるのであるから繼續的な觀察の方法が必要である、季節的月毎などにしてみていくこともよいと思ふ、家庭科學習のうち效果判定は最も重要な問題ではないかと思ふ。
- 中學校男子に課す家庭科は今年だけであると思ふが、家庭生活を理解させる程度であるから女子と同じ要求をする必要はない、この場合男女共になすのもよいが男女別口によつてもさしつかへない。
- 時間數は1週4時間として、年次計畫を立案した。
 - 計畫は計畫であるから學習しながら反省し實質のともなつたものにだんだん作り上げる必要があると思ふ。

月	生活環境	作業單元(時間)	學習活動	目標と單元(女)との關係	效果判定の方法	關連事項
4	<ul style="list-style-type: none"> ○中學校に進級した喜びにみちみちしている時である ○生活環境も改まり新しい第一歩がよみだされ ○自治會の活動も自主的となつてくる ○氣候がよくなると共に家庭の仕事も増して來る 	<ul style="list-style-type: none"> 明るい家庭生活 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「たのしい家」といふ文について話し合ふ <ul style="list-style-type: none"> ・よい家庭とはどんな家庭か ・家庭のたのしみは何か ・家庭的に苦心された二宮先生の話をこれからの私の家での態度をどうしたらよいか ○家庭に於ける一ヶ月の行事を調べてみる <ul style="list-style-type: none"> ・季節と行事 ・行事の話 ・行事と献立の關係について ○日本の家庭生活について反省する <ul style="list-style-type: none"> ・家族制度の話 ・農家の家庭の他の家庭とのちがひ ・よい家庭生活をするには 	<ul style="list-style-type: none"> 単一 ○家庭生活にて自分の役割りを理解 ○幸福な家庭生活を理解する ○個人家庭の努力は國に貢献することの理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭に對する協力の面を今後繼續的に日記に記し書きせてみる 	<ul style="list-style-type: none"> 體育 (住居と衛生) 圖工 (文化國家と藝術) 國語 (中學生になつて) 社會科 (三學年) (我々の家庭生活はどんなふうなるか) 教第一課
5	<ul style="list-style-type: none"> ○農家では苗代をつくり田植の準備にいそがしい ○季節的によくなるにつれて盛んになるツクが運動會が遠足、運動會が行われる 	<ul style="list-style-type: none"> 病氣の豫防 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族の健康法を話し合う <ul style="list-style-type: none"> ・健康體とはどんな體か どうしたら健康でいられるか ・家で特別の健康法をしていていたらその話し合い ○普通の病氣について <ul style="list-style-type: none"> ・どんな病氣があるかしらべる 消化器系のもの 呼吸器系のもの その他 	<ul style="list-style-type: none"> 單四 ○自他の健康状態によく気がつくようにする ○日常的な衛生知識を實行する 	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちの間に病し氣を得るところをみる ○病で病し氣を得るところをみる 	<ul style="list-style-type: none"> 體育 (夏) (傳染病、急救、急性傳染病) 理科 (水のはたらき、飲料水) 教十を參考

6
 ○入梅が近づき、いやな気候がつよく、病気の豫防が大切である
 ○衣がえの時である
 ○梅雨期に入る
 ○保健衛生上の注意の肝要な時節となる
 ○田植えが盛んとなる
 ○入梅は明けて相當の暑さをおぼえる
 ○衣類整理、特に冬のもの整理に家庭はいいそがしい
 ○春のとりに入れで農家ではいいそがしい
 ○土用に入る
 ○野菜類が相當出まわる

夏の着物の着入れ (12)
 衣類の手入れ (10)

○傳染病と寄生蟲病について
 ・傳染病の種類
 ・寄生蟲の種類と驅除法
 ○消毒法の研究
○.....
 ○夏の着物の特徴について話し合う
 ・布
 ・色と模様
 ・形
 ○夏の服装について
 ・長着、和服について
 ・洋服類について話し合う
 ○ワシビースの製作
 ・形の研究、服飾について
 ・製作
 ・型と布のたち方
 ・ミシンの用い方
 ・飾のつけ方
 ・仕上げ
 ・きつけ方
 ○衣類の手入れ
 ・手入れの方法
 ・研究
 ○足袋、くつ下の手入れ
 ・工夫してつくる
 ・手入れの練習
 ○虫干しについて

○消毒法を知つて實行にうつす
 単二 C
 ○夏の衣類についての理解
 ○活潑な生活活動に適する衣の構成を理解する
 ○自分からだにに似合うものを理解する
 ○裁縫技術の進歩
 単四 B
 ○衣類の手入れ保存についての理解
 ○目立たないめんどうな仕事をやる習慣をつくる
 ○自分の健康にどうのよりに氣を付けているかをみる
 ○よごれている所の消毒の實習状態をみる
 ○夏の衣類についての理解の程度をみる
 ○仕上り品についての記述尺度法による考査
 ○毎日の服装を継続的にみることでよつて考査

國語 (涼み臺)
 圖工 (配色.....10月) (服飾圖案...12月)
 理科 (着物)
 工業 三を参考
 理科 (着物)
 ④四を参考

9
 ○一年を通して一番野菜の豊富な月である、みみのりの秋である
 ○暑さがたんだんよ少くなる
 ○夏休後不規則な生活にながれやす
 ○彼岸がある
 ○稻刈りが始まる
 ○秋の衣替えの時
 ○天高く馬肥ゆるの候である、スズメの盛んなときである

栄養と調理 (28)

○時期と方法
 ・衣類の害虫について
○.....
 ○日常の保健に食物の重要な意味を研究し話し合う
 ・健康と食物
 ・栄養素についての研究
 ○消化と吸収の條件
 ・栄養素の分解と養分について
 ・消化する順序と消化液について
 ○食品のえらび方
 ・野菜のえらび方
 ・果實について
 ・魚類について
 ・肉類について
 ○調理の研究
 ・汁もの、につけ
 ・むしもの、御飯のたき方
 ○調理の反省と栄養分析
 ・調理手順はどうであつたか
 ・調理法はうまく行つたかどうか
 ・栄養分析をしてみる
 ・分析の結果どんなであつたか反省してみる
○.....
 ○健康と防疫の問題から幼い成長をたすける方法の研究
 ○幼い児の特徴を話し合う

○虫干しの要領を理解する
 単三 A
 ○栄養に関する知識を一層確實にする
 ○調理手順を科学的にする
 単三 B
 ○簡単な基礎的調理手法を研究する
 ○材料と使用する栄養價の理解
 単五
 ○幼児の早期指導の大切なわけの

理科 (からだ)
 ④六を参考
 理科 食べものの貯藏
 體育 (衣服の衛生)
 農業 (葉、大根)
 ④七を参考
 教二を参考

○寒さを覚え始めて火がこいしくなる

○冬の支度にとりかよる

○火の用心がさげられる頃である

○年末でいろいろな災害のおこりやすい時である

○家の中は相當いそがしい時である

- ・身体的にみて
- ・精神的にみて
- ・あやし方
- ・お話し仕方
- ・玩具について

○幼い児のあそびの調査

・乳児について

・幼児について

○幼い児の食べ物について

・お入つにどんな種類があるか

・献立を作つて習習する

・献立の反省をする

○幼い児の衣類についての話し合い

・足袋、帽子の作り方

・衣類の研究

○子守りについての注意事項

.....○.....

○災害の種類について話し合う

・火事・地震・地くづれ

・盗難・雷・其の他

○火事についての話し合い

・季節的な統計

・火事の原因の調査

・火事の豫防

・経験ある人の話をきく

○盗難の豫防

・最近新聞に出ていようすを話し合う

幼い児の世話 (16)

災害の豫防 (12)

理解

○幼児を正しく愛する態度

○幼児のお入つを作る技術を習得する

○幼児の衣類の世話を出来るようになる

○姉として弟妹を養育する態度を養育

単二 B

○平素の注意が非常にならぬことを理解する

○地方に於ける災害豫防について理解させる

○幼児の特徴についてその扱い方を組合せ法にて考查する

○幼児、下級生をみる態度を組織的にみる

○作品について記述尺度法による考查

○災害豫防についての理解を記述法によつて考查する

社会科 (二年)

九九を参考

圖工 (冬の支度)

理科 (家庭燃料防火)

農業 (農業工作)

社会科 (二年)

○正月でむがうきりきしでおちつきかない

○小遣いをいただいてあそんでい

○一家團樂の日がある

○一年の計畫をたてるにもつともよいときである

○寒さのもつときもある

○食糧のたりない時で乾燥野菜をたるとときである

○立春、節分がある

・年末の犯罪について

○其の他の災害と豫防について話し合う

.....○.....

○お正月の小遣について話し合う

・いくらいだいたか

・どのようにして遣つたか

・遣つたようすを圖に書いてみる

○家庭生活の失調を防ぐための私たちの心がまえ

・節約の要領

・貯金の方法と種類

・銀行と郵便局

・小遣い帳のつけ方

○これからの私たちの家庭生活の協力するところについて話し合う

.....○.....

○不自由の食糧事情をどうして防ぐか

・現在の配給量を調べる

・現在の配給量と標準の栄養との関係

・不足分は何かどうして補つていくか

・月毎の配給を圖表に現してみる

○秋農業で貯蓄した野菜箱を出して研究してみる

・腐敗していないかどうか

・腐敗していったらどんなところか

・原因を類えてみる

貯蓄した食品 (16)

農 (炭やき)

社会科

九九十二を参考

○家庭に於いて又日常の金銭の用い方をみる

○貯金の増すことに興味をもたせる

○記帳の形式の理解

単四 A

○食物の敗壞を防ぐ方法の理解

○食物の少ない時の料理法等理解の程度をみる

圖工 (家庭用具の作成)

理科 (食物の中で大切なものは)

農業 (野菜のたくわえ方) 10月

○何故芋類の作付は大切か

九九八を参考

<ul style="list-style-type: none"> 調理法を研究して元と同じに食べられるかみる 栄養素が破かいされていないか反省 野菜物の少い時と健康との関係 	<p>○急病の手當法を學ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> けがの場合 骨折, 打撲傷, 裂傷等 止血法, ほうたい法 <p>○家庭薬品の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な薬品 薬品の見分け方 薬品の保存 薬品の取扱い方 	<p>○器械の取扱い方について記述尺度法による考查</p> <p>○常備薬品についての知識を組合せしめて考查</p>	<p>體育 (けがの豫防)</p> <p>●十一を參考</p> <p>體育 (國士衛生) (家庭體育)</p>
<p>○器械の取扱い方を習得する</p>	<p>○日常的な衛生知識を作る</p>	<p>○調理法を研究して元と同じに食べられるかみる</p> <p>○野菜物の少い時と健康との関係</p>	<p>○器械の取扱い方について記述尺度法による考查</p> <p>○常備薬品についての知識を組合せしめて考查</p>
<p>○器械の取扱い方を習得する</p>	<p>○日常的な衛生知識を作る</p>	<p>○器械の取扱い方を習得する</p>	<p>○日常的な衛生知識を作る</p>
<p>○器械の取扱い方を習得する</p>	<p>○日常的な衛生知識を作る</p>	<p>○器械の取扱い方を習得する</p>	<p>○日常的な衛生知識を作る</p>

中學二年

國語科學習指導年次計畫

立案の趣旨

- 國語科學習指導要領は、九月末に刊行されることになつてゐるが、一部に傳えられたような文學様式にならつた單元による學習區分は指定されないはずである。同指導要領で示されるものは一般編をおしひるめて、現代語の意義とその正しいつかみ方を主眼としたものと思われる。つまり、現代語の理解力と現代語による表現力を養成するのが目標であることには變りがない。
- 教科書の目次に示された題目の一つ一つが單元だと考えることもできるし、類似のもの、比較できるもの、互に關連のあるものなどをまとめて單元とするのもよく、これらは學習するものの側の考えにまかされて見てもよからう。
- 學習時間や學習要項は一つの試案であるから、教師の考えによつて自由に按配できるもので決して拘束されるものではない。
- 漢文編の學習が一番問題が多いと思うが、反點訓讀を全面的に排撃したわけではなく、徐々に適當に慣れて行くことがよいのではないかと考えられる。

月	季節と行事	生徒の生活	題目	時	學習要項	備考
中等國語二(1) 第一學期分						
通常の年にはこの教科書は作文とともに毎週3時間 他に漢文毎週1時間 文法毎週1時間ずつ學習の豫定						
春	みそ		早	春 2	○技巧の多い現代詩(自由詩) ○自由に連想を働かせ、意味をさぐり情景を思い浮べる ○自然物への話しかけ 間接的な云い表わし象徴的な表現の面白さを理解する	
	やさしいことば	生徒の學友會 文藝部のしごと	やさしいことばで	3	○讀みの後 内容の理解とその發展に努める ○はなしことばの効用 相互理解國際語のことなど	

			<ul style="list-style-type: none"> ○言文一致、ラジオの言葉など ○現代語の目標、理想 ○このような態度で作文を書く 		
	短歌と俳句		<ul style="list-style-type: none"> ○和歌俳句は國民の文化遺産の一つで感情を表わすよい形式(韻文)であり昔から廣く行われたものだからこれを學ぶことは國語の理解力と表現力を養うのに役立つ 	連絡社會科	
遠足	散歩、旅行	歌どころ	3	<ul style="list-style-type: none"> ○「寫生」「氣をかえる」「調子」の研究 ○作文短歌の試作 	
	秋、夏の風物の想起	俳句への道	3	<ul style="list-style-type: none"> ○「季節」「叙法」「調べ」の研究 ○作文 俳句の試作 	文部省審査 教育映畫 「秋」「夏」16 ミリ參考
		文章について	3	<ul style="list-style-type: none"> ○谷崎潤一郎の文章論 ○作文では更用的と藝術的の一致すること(現代語の考察) ○散文論は色々な生きた問題を含んでいるがここでは糸口を求める程度でよからう ○散文で作文を書く 	
	明治の事物の話を書く	わがはいはねこである	4	<ul style="list-style-type: none"> ○漱石の名著「肩頭よりかなり長文を取つたもの ○擬人法の小説だが隨筆的獨白の色彩がつよい ○教養のある人の考へや眼のつけどころの高い點を見て今尚多くの人々から愛讀されていることを知る ○この文の面白さはどこにあるかをしらべる 	
	源平時代の風俗畫や繪巻物を見たい	一門の花	4	<ul style="list-style-type: none"> ○平家物語の由來やどんな文學かをしらべる ○歴史的ななづかい、當用漢字の使用に注意する ○この二つの話はいつどこでどういう場合の話か、人物間の關係を知る ○語句 語法にとらわれず大意がつかめて語り物の文の調子やあわれが感ぜられればよい 	
かたつむり つばひが きり 初夏 鱒日光 ます		舞へまへかたつむり	2	○昔の童謡風の自由詩から現代の口語による自由詩までの變遷の見本	
	理研映畫「姫鏡」を見た いが、不可能ならば	カバチエツボ	5	<ul style="list-style-type: none"> ○映畫のシナリオ、新しい教材これを基本にして映畫をつくるものだから實用的用途のつよいもの ○よく眼をはたらかせよく 	

			この機会に映畫の鑑賞を試みる	
			<ul style="list-style-type: none"> ○耳をはたらかせよく頭でまとめながら讀む ○前後二十五年に及ぶ物語だから登場人物が次第に年寄りになる變化を目に浮かべる ○登場人物の顔 表情 身振りや背景の變化がつまり眼にうつる映像が鮮かに連続して見えることが必要 ○物語りが進行するにつれて背景は變るが殊に困難な境遇になると吹雪がおこり、成功すると盆踊りのように賑やかな場面になるこの構成の時徴をつかむ ○映畫における對照的な表現たとえば賑やかな踊りと反對に静かな濱べの思い入れを見せて効果を高めていることを見る ○瀧の音を背景にした會話の所では耳をはたらかす ○天然色映畫ならば新緑の山々青く澄んだ湖上、かがり火、顔の紅潮などの色の見えることも知る 	
			中等國語二(2) 未刊 第二學期分	
			中等國語二(3) 未刊 第三學期分	
			中等國語二(4) 漢文 月末配本	
			本年は例外でこの教科書は 10 月より毎週 2 時間ずつ學習の豫定	
春		北船北馬		連絡社會科
		詩 五首		
		李白と杜甫		
		小話 四題		
		神話と傳説		
		詩 五首		
		桃花源の記		
		たゆまざる努力		
		秋風 五丈原		
		孔子と子路		
		孔子とそのことば		

		<ul style="list-style-type: none"> ○以上は國語の範圍又國語の延長として學習する ○歴史的に見て既に國民の教養となつてゐる支那古典、漢文、思想、文化を取りあげる ○先ず國文でかかげ地名人名などの解説をなし最後に原文を示す句讀點反點は記してあるが送りがなは付してない ○常用漢字はそのまま採用してある ○内容より親しんで學習してはいい漢文獨特の反點訓讀はいそがない
中等文法國語		<ul style="list-style-type: none"> ○新讀本との連絡なく獨立して編集された少し古い型の教科書であるから取扱いに苦心と注意を要する ○生徒の言語意識を明らかにし學習の興味をわかせるために、中等國語三(1)の「身振り語と言語」をしらべるのも一方法であらう ○新かなづかいと連絡して動詞形容詞の活用に注意する <p>たとえば動詞の活用では未然形が二行にあらわれる、いわゆる、五段活用ではなく四段活用にしてあるところに注意する ある動詞はワ行とア行の二行にまたがつて活用する 又形容詞の連用形の語尾が音便でかわるだけでなく語幹にも變化を起すなどの點が従來の文法書と異なつてゐる</p>
國語の活用	第一學期	
形容詞の活用 助動詞の接續と活用	第二學期	
助詞の種類と用法	第三學期	

社會科學習指導年次計畫

計畫の特色

(1) 基本的な特質

- 中學校の計畫は、小學校の場合とよほど趣きを異とする。先づ生徒は、自然的な季節行事の影響も受けるがそれよりも時々刻々と生起する社會的な問題などの關心が増大して来る。したがつて生徒の生きた興味や欲求の中心は、豫測することが非常に困難となる。その上さうした生徒と教師との話合いが、學習の單元や學習活動が決められて行くとすると、指導計畫は非常な幅を持つたものでないと實際に利用されないことになる。
- なお、第二に考えられることは、中學校社會科の教材の面からであるが小學校のそれにくらべて、學習内容は、相當にいわゆる知的な、すすんだものとなつてゐる。したがつてあまり細かに断ち切られて行くことは好ましくないこととなる。
- そこで指導計畫は、生徒と教材のこのような實情の上に立つて當然大幅の機動性に富んだものが生まれて来ることになる。

(2) この計畫の要項について

- (A) 単元の配當は、上のような趣旨から一應は七學年九學年の三箇年間にわたることも考えられるが實際問題として一年間を一期間として、その中に七學年分、八學年分、九學年分というようにしてあてはめることとしたしたがつて一年間の中に、どの單元が、どこで行われても差支えないわけである。
- (B) 表の単元の欄には、學習指導要領の單元名のほかに、参考單元名と豫定時間とをあげた、教材の配列では、主題を學習豫定の順序に従つてあげ學習活動の例では豫定された代表的なものを出来るだけ數少なく記すこととした。備考では、關係單元や關係教科と一應考えられる季節的、生活的な單元實施の時期などを参考までにあげてみたが、ここには、なお、將來調査された、學校や家庭、郷土の學習參考となるような施設や備品、圖書などが記入されることがのぞましいと思われる。
- (C) 更にこれが試案であるということやこれからの教育のあり方としての立場から反省欄がもうけられた。たえず案が更新されるようにされてほしいものである。

單元(時間)	教材の排列	学習活動の例	備考
單元一(20) 世界の農收生産はどのように行われているか ○世界の食糧や衣料の生産はどのように行われているか	(一) 結社の自然環境と農業及び牧畜生活 (二) 世界の地勢環境と農牧生活 (三) 世界の気候環境の状態 (四) 世界の開拓史と食糧の大供給地の移り変わり (五) 世界の諸大陸の農牧業 (六) 極地方は現在どの程度まで人類の活動を許しているか	(二) (四) (一三)(一四) (一八)(一九)(二一)(二二) (二六)(三二)(三五)(四二) (四五)(五〇)(五一)(五三) (五七)(五八)(六〇)(六一)	○連絡七學年單元一、四、五、 數學、農業、理科 ○一應考へられる實施の時期 4.5月頃
單元二(28) 天然資源を最も有利に利用するにはどうすればよいか ○世界の天然資源はどのよう利用されているか	(一) 郷土の天然資源とその利用 (二) 世界の鑛産資源 (三) 水力資源の利用 (四) 世界の林産資源 (五) 土壌資源の大切なわけ (六) 水産資源の開発 (七) 自然美の利用 (八) 天然資源保有についての協力	(四) (八) (一三)(一四) (一六)(一九)(二三)(二四) (二五)(三四)(四〇)(四二) (四九)(五二)(五五)(六一) (六五)(六八)(七一)(八五) (九〇)(九三)	○七學年單元四、五、 理科、農業 ○5.6.7.月頃おこなう
單元三(28) 近代工業はどのように発展し、社会の状況や活動力にどんな影響を興えて来たか	(一) 近代工業の発展につれてわれわれの日常生活はどんなに豊かになっているか (二) 工業発展はどんな状況のもとに行われているか (三) 世界の大工業地帯の工業 (四) 世界の工業の発展史 (五) 産業革命の社会組織に與える影響 (六) 近代工業の発展による悪い影響とこれを除く方法	(一) (三) (九) (一〇) (一二)(一六)(一九)(二六) (二八)(三〇)(三二)(三六) (四二)(四三)(四八)(五〇) (六二)(六六)(六七)(七四) (七六)	○七學年單元五、 工業、理科(九學年) ○10.11月頃おこなう
單元四(24) 交通機関の發達はわれわれをどのように結びつけて来たか ○現在交通機関はどのように發達しているか、又それによつて人類は	(一) 郷土の交通機関の様式 (二) わが國の昔の旅の苦勞 (三) 世界の交通の發達史 (四) 各國の交通通信の状況 (五) 交通機関の發達は世界の人々をどのように結びつけているか (六) 交通、通信機関の發達はわれわれの社会生活をどのように變化させるか	(八) (一三)(一四)(一八) (一九)(二一)(二九)(三一) (三二)(三八)(三九)(四四) (四五)(四九)(五二)(五四) (五五)(六〇)(六九)(七二) (七九)(八三)(八六)	○七學年單元一、五、 國語、理科(九學年) ○12.1月頃おこなう

單元五(16) 自然の災害をできるだけ軽減するにはどうすればよいか	(一) 郷土の天災とわが國の天災 (二) 地震はわれわれをどんなに悩まして来たか (三) 火山噴火の災害 (四) 台風による損害 (五) 水害や雪害の種類 (六) そのほかの恐るべき天災 (七) 平常及び災害時に際しての心かけ	(一) (1) (二) (5) (17) (三) (1) (2) (四) (1) (2) (3) (8) (15) (16) (五) (3) (六) (3) (5) (12) (16) (七) (6) (八) (1) (3) (九) (3) (5) (8) (一〇) (1) (6) (9)	○家庭、七學年災害の豫防) 理科、農業、工業 ○9月頃おこなう
單元六(24) 社会や政府は生命財産の保護についてどういうことをしているだろうか	(一) 個人や社会集團の成員はわれわれの健康と生命の保護に對していかなる活動を行っているか (二) 不慮の災害や危険からわれわれの生命、財産を救うためにいかなる公共の努力がなされているか (三) われわれの生命、財産をおびやかす犯罪行為に對して政府や社会はどのような手段を講じているか (四) 人的資源の保護に政府はどのような手段を講じているか	(三) (五) (九) (一〇) (一二)(一五)(二三)(三〇) (三一)(三二)(三四)(三七) (三八)(三九)(四五)(四九) (五一)(五二)(五五)(五六) (五八)(六二)(六六)(七二) (七八)(八〇)(八七)(九二)	○八學年單元五、 體、家庭、理科 ○2.3.月頃おこなう

3	芽生	彼	修了式	○一次方程式をグラフで解く ○連立方程式をグラフで解く ○一次不等式をグラフで解く ○直線の勾配と係数との関係について考察する ○種々の問題を解く ○総合計算練習 ○力だめし	○一次方程式のグラフに依る解法能力 ○連立方程式の解法 ○一次不等式の解法	○方程式の不等式による解法がき ○種々の問題をグラフで解けるか
2						
1						
						○直線の勾配と係数との関係理解

理科學習年次計畫

指導計畫をどのようにたてたか

- 問題形式の小単元は、必要と關心との焦點を拾いあげ、學習の第一段階を主体的に展開しようとした。
- 単元の配列は、季節に關連づけていつたが、小單元においては季節に適つていないものもあるが、他教科の學習と密接に連絡して進めるようにした。
- 學習活動については、學習指導要領による一學年間六単元の學習活動内容は豊富で、今の生徒たちには困難と思われる點もある。そこでこれを組みかえることも考えられるが、参考書が少なく教科書が唯一のものである現状として與えられた教科書を最高度に活用するようにしてできるだけ教科書の順序や内容とタイアップするようにした。なお教材の多いための時間の不足は生徒の實力に應じて取捨選擇して負擔過重にならないようにしたい。
- 時間の配當は、上に述べたような事情と主旨に基づいてわりだした。
- 指導の目標重點は、效果の判定その活用の材料ともなるようにした。
- 備考は指導上の注意、連絡事項、参考圖書、映畫等の一部をあげた。

—(参)は参考書 (映)は視學教育案内映畫 (國)は國語 以下これにならう—

(八月二十日現在の資料による)

月	季節と行事	單元(時間)	學習活動	指導の目標重點	備考
4	始業式 入學式(一年生)	○理科學習をどのようにしたらいいか(1)	・一年の學習の反省と二年の學習計畫をどのように立てたらいいか話しあひをする	・自主的學習に導く	・かえる(蛙)の關係で單元8と單元7と交換してやることも考えられる
	學級役員選舉	7 着物(25) ○植物の纖維をどのように利用しているか	・着物はどのように發達してきたか話しあう ・せんの種類や性質について調べて話しあひをする ・細胞はどのようにつくられているか調べる	・織物の纖維の種類と植物細胞について理解する ・實驗觀察實習の態度を養う	・着物小學六年 ・化學(3)高等學校用
	お祭	○人造絹糸はどうして作るか(3)	・植物纖維のどんなところを利用して話しあう ・どんな製法があるか	・人造絹糸の製法の概要を理解する ・紙の製法を理解する	・工業に連絡 ・農業に連絡 ・家庭に連絡 ・圖工と連絡
	遠足	○紙は何からどのように作るか(1)	・紙の作り方はどのように進んできたか話しあう ・日本紙と西洋紙の比較をする		

播種期		・テックスを作っている工場を見学し作り方を聞いたりして調べる ・生糸はどのようにして作られるか ・生糸の性質について調べてみる ・羊毛はどのように利用されているか話しあう ・ホームスピンの作り方について話をきく ・羊毛の性質について調べてみる ・なめし皮、毛皮の作り方について調べて理解する ・繊維性繊維にどんなものがあるか話しあう ・いろいろな繊維の特徴についてしらべてまとめる ・繊維工業と日本の産業について話しあう	・生糸のできるまでの糸統圖を作る ・繊維の性質と見分け方を理解する ・感覚によつて直覺的に判断できるまでいければ理想的である ・繊維工業の重要性を理解する	・蠶の話(映) ・農業養蠶に連絡 ・なめし皮毛皮の作り方については冬研究する
保護者會總會	○動物からとれる繊維はどのように利用しているか			
父兄會				
天長節				
身體検査				
5 八十八夜	○繊維はどのように織るか(4)	・紡績工場の見学をして糸のできるまでについて話をきき又自分でしらべてみる ・いろいろな糸についてしらべてみる ・織物工場を見学し織物のできるまでについて見学し又話をきいてみる ・どんな織り方があるか調べて話しあう ・織物と機械について調べる	・計畫をたてそれに従つて観察記録し整理する態度を養う(レポートについて) ・織物のできるまでの糸統圖をつくる	足利方面へいく豫定 ・理科機械 ・機械の構造や力の傳達に興味と關心を向ける ・工場
たごの節句				
創立記念日				
大掃除				
立夏	○着物の模様はどのように染めるか(8)	・染色工場を見学している聞いたり又家庭でやつていることなどについて話しあう ・染色にはどんなことが必要か話しあう ・天然染料人造染料について調査研究する ・染め方についていろいろ話しあう又實習する	・染色の種類の大要と染色方法の科學的根據を理解する ・染料の發達について理解する	・化學(3) 高等學校用 ・家庭と連絡 ・染色(工業) 中學一年
ひょう(雹)				
小満				
單衣	○着物を長持ちさせるにはどのようにしたらいいか(4)	・石けんの洗滌作用について實驗する ・正しい洗たくの仕方又どんな水がいいか實驗し觀察する ・しみぬきについて経験を話しあう又實驗する ・着物の手入れ保存などについて経験を發表して話しあうをする	・洗たく方法の科學的根據について調べる ・しみぬき 蟲干し等着物の手入れ保存上の合理的方法を會得する ・實驗實習の操作順序等に注意する	・體育と連絡 ・蟲干し(理) 小學六年 ・實驗實習等の始末をよくする ・家庭と連絡
春ご(かいこ)・掃立	○着物と私たち(2)	・私たちの着物としてはどんなものがあるか話しあう	・どんな着物をどのよう	

苗代		よく着たらいいか経験を發表しあつて研究する ・「繊維工業と日本」という題で話しあう論文をかく ・海について経験を發表し話しあうをする ・どのように研究するか計畫する ・海と陸の成因、深さ廣さ分布等世界地圖や書籍によつて調べ話しあう	に着たらいいか理解する ・學習の整理をし日常生活の合理化に導く ・研究心の導きをする ・海洋の大要を理解する	・現今の衣料難とあわせ考える ・社會に連絡 ・七月下旬の海の見学を考慮して學習し海との研究問題をつかむようにする
かえる	9 海(20)			
小運動會	○海と私たち(1) ○海岸とはどんなものか(3)			
6 芒種		・海の底のありさまについて書物や地圖によつてしらべる ・海水の透明度色等をしらべて話しあう	・参考書をできるだけ與える ・波の起り方について理解する	・山と水(理) 小學六年 ・海と船(理) 小學六年
衣服の蟲干	・波はどうしておこなるか(1)	・池等の波によつて觀察調査し話しあう ・海のいろいろな波について話しあうをする	・波の起り方について理解する	
食器の貯藏				
入梅	・潮の満ち干はどのようにして起るか(4)	・満ち干満ち干はどのようにして起るか ・月の位置と潮せき時刻の關係等についてしらべ話しあうをする ・満ち干をどのように利用しているか調べ話しあうをする ・潮流とはどんなか調べる	・潮の満ち干の理由を理解する	・海と魚(参) 岩波叢書 ・海(参) 岩波新書 ・魚(参) 岩波叢書
麥刈				
多忙				
田植				
夏至				
農休み	・海流はどうして起るか(2)	・世界地圖によつて海流を調べる ・海水の温度について調べる	・海流と氣候について研究する	
7 雷		・海流と氣候について調べ話しあうをする ・海はどんなはたらきをするか(2) ・海水の中にはどんなものがあるか ・海水の鹽分はどのようにしてできたか調べて話しあう ・製鹽はどんな方法でどのようにするか調べる ・食鹽の用途について調べ糸統圖を作る ・食鹽水の電氣分解をする ・海水の中に溶けているものについて調べ話しあう	・海水や水の力を理解する ・製鹽法を理解する ・自然の調和美しさ恵みを知る ・食鹽の用途を理解する	・海へ行つてきた経験を發表しあひながら學習をすすめるようにしたい ・海の化學 春陽堂 ・鹽(映)
か(蚊)				
たなばた				
自由研究發表會				
夏休み	・海の動物はどんな生き方をしているか研究する	・魚はどんな所に多くすみどんな生き方をしているか研究する	・魚の生態について理解する	・海と魚(参) 岩波叢書 ・魚(参) 岩波叢書

水 泳	るか (2)	<ul style="list-style-type: none"> • どのような動物がいるか • 潮目についてしらべる • 魚はどんな方法でとれるか調べて話しあう 	<ul style="list-style-type: none"> • 海の生物 (映) • 潮目 (國) 中學一年 • 海苔 (映)
土 用	海の植物はどんな生き方をしているか (1)	<ul style="list-style-type: none"> • 海そうはどのように利用されているか調べよ • いろいろの利用法を表にしてみる 	<ul style="list-style-type: none"> • 海の植物の生態について知る
傳染病	プランクトンとはどんなものか (1)	<ul style="list-style-type: none"> • 河池等にいるプランクトンを採集してみる • どんなものか顕鏡してみる 	<ul style="list-style-type: none"> • プランクトンについて理解をする • 理科 9 微生物
大 暑	海の研究旅行をどうしたらいいか (1)	<ul style="list-style-type: none"> • いろいろ今迄のことを復習して場所日時準備分擔等をきめる • 海そうや貝の標本を採集して整理する • 海へ行かないものはどんな自由研究をするかその計畫をたてる 	<ul style="list-style-type: none"> • 計畫性ある學習とする • 社會と連絡
9 二學期始業 二百十日	海の研究をどのようにしてきたか (2)	<ul style="list-style-type: none"> • 海の研究(旅行)の發表會をする • どのようなことがわかったかいろいろ話しあいをする • 海の利用について話しあいをする • 夏休みの自由研究の發表をする 	<ul style="list-style-type: none"> • 海のレポートの内容をみる • 作品を尊重するようにする
水泳大會	8 からだ (31)	<ul style="list-style-type: none"> • からだのことについて知っていること疑問のことを調べお互に發表しあい今後の研究の方向を定める • なぜからだのでき方やはたらきを調べるようになったか今迄の経験を調べる 	<ul style="list-style-type: none"> • からだの學習を四五月頃するのもいい • 私たちのからだ(理)小學六年 • 實驗は準備にしたがつて手順よくする • 實驗はすべてかえるを使用しているが實驗に用いられる動物の意義について注意する • 自然の精緻 (映) • 體育と連絡
自由研究發表會	心臓はなぜ鼓動するか (5)	<ul style="list-style-type: none"> • 心臓はどうかっているかかえるを解ぼうして鼓動のようす鼓動數、血管數構造等について觀察する • 人の心臓圖と比較する • 血液はどこを流れるか調べる • ベンのはたらきや血の循環の道すじをかえるについて觀察し人間のものと比較検討する • 血壓とはどんなものか研究する 	<ul style="list-style-type: none"> • 心臓のできかたをしらべ人間のものによく比較してみる • 動脈静脈それぞれどんなものか理解する
彼 岸		<ul style="list-style-type: none"> • 心臓の構造を調べ人間のものと比べてみる • 肺胞までいつた空気のはたらきについて調べる • 呼吸はどんなはたらきをするか研究する 	<ul style="list-style-type: none"> • 常に人間と比較検討して學習しなければならぬ
秋 分			
名 月			
蟲 の 音	どんなに呼吸しているか (6)		

大 掃 除		<ul style="list-style-type: none"> • 血液はどんな役目をするか研究する • 血液はどのようにでき方をしているか血を檢鏡する • 鳥やうさぎの血液の沈降を實驗する 	<ul style="list-style-type: none"> • 血液の役目やはたらきを理解する
自由研究發表會	たべものはどのように消化されるか (5)	<ul style="list-style-type: none"> • たべものはどんなところを通りどのように變つていくか調べる • かえるの消化管について調べる 	<ul style="list-style-type: none"> • 消化管について調べ又その消化系統圖表をかき • 消化の話 (映) • 實驗のあと始末や研究結果の整理に注意をする
10 更 衣 研 究 會 (社會科)		<ul style="list-style-type: none"> • 人の消化系統圖をかき、かえるのと比較する • どのように消化するか消化液について調べ表をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> • 家庭と連絡
秋 祭	消化されたものはどうなるか	<ul style="list-style-type: none"> • 消化されたものはどこに行きどのやうに吸収されるか研究する • 血液と養分の受け洗いの仕組みについて研究する • りんば管のはたらきについて調べる 	<ul style="list-style-type: none"> • 消化されたものはどのように吸収されるか理解する • 理科單元10 11の學習として日光精銅所足尾那須山方面に見學旅行したい
運 動 會	どのようにして活動するか (3)	<ul style="list-style-type: none"> • 活動の力はどこからでるか調べて話しあいをする • 不用になつたものはどのようにして捨てるかそのはたらきをしらべる • からだはどのように動くか骨と筋肉との機能構造を調べる 	<ul style="list-style-type: none"> • 骨と筋肉とはたらきについて理解する • かえるの多眠に入る時期に近づくと十月下旬頃學習するようにするのもよい
神 嘗 祭		<ul style="list-style-type: none"> • 神経と感覺器とはどうか (5) 	
稻 刈 り		<ul style="list-style-type: none"> • かえるの坐骨神経をとり神経のはたらきについて觀察し研究する • 人體の神経系を調べ表にあらわしてみる • 感じはどこで司るか感覺器について研究し發表しあう • 感覺器の構造をしらべよ • 中樞神経はどのようにしてはたらくか刺げきの傳わり方を研究して話しあいをする • 大脳小脳のはたらきを調べる • 知覺神經運動神經についてしらべる • 反射運動について調べ理解する 	<ul style="list-style-type: none"> • 刺戟と收縮について理解する • 感覺器の構造機能を理解する • 中樞神経と刺げきの傳達について理解する • 人間の 中樞神経とどこが違ふか比較すること
農 事 多 忙			
農 休 み	からだはどのように調和している	<ul style="list-style-type: none"> • 體の統一と協調とがどうされているか調べて話しあいをする 	<ul style="list-style-type: none"> • 反射運動を理解する • 自然の調和について理解する • 今後の生活に生かしていきたいもの

	か (2)	<ul style="list-style-type: none"> ホルモンの作用を調べる 健康なからだといふ題で話しあひする 	<ul style="list-style-type: none"> 健康なからだについて検討する
11 明治節	10 土 (19)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の山や川等について知つていることを話しあひする お互の疑問や研究方向等について話しあひ計畫をたてる 見學旅行計畫をたてそれにもとづいて那須山等見學旅行をして火山、温泉水の働きについて観察研究しレポートを作る 近邊の山へ遠足して山川の位置について観察し地形圖と照合してみる 岩石鑛物の採集をして標本をつくる 村の岩石分布圖や地質圖をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 見學旅行の計畫案をもつ 見學採集の態度を養う 作りながら學び最後までやり抜く 土壌の分析法を理解する 風化の成因を理解する 雨水の循環を理解する 河川の變遷について研究する
多 至		郷土の山や川はどんなだろうか (5)	<ul style="list-style-type: none"> 山と水(理)小學六年 古賀志山鞍掛山、八幡山、大谷採石場等行きたい 農業と連絡 常日頃の注意が大切である 順序を守つて實驗するようにする 農業と連絡する 地層の話(映) 川の話(映) 社會と連絡中學一年 日本の湖(映)
霜			
紅 葉			
落 葉			
新 嘗 祭		<ul style="list-style-type: none"> 土は何からどのようにできるか (2) 	<ul style="list-style-type: none"> 近在の土壌の分析をしその種類及び郷土の地質をしらべる 風化の成因について研究調査する 雨水はどのように循環しているか調べて話しあひをする 流水はどのような作用をするか観察し話しあひをする 雨水の蒸發について話しあひをする 雨水、河の作用および風の作用についてしらべ話しあひをする
體力測定		<ul style="list-style-type: none"> 水はどのように循環しているか (1) 	
氷がはる		<ul style="list-style-type: none"> 山や川はどのようにできたか (3) 	
12 防 火		<ul style="list-style-type: none"> 川がつくるいろいろな地形について研究する 山のできるまでについて調べ附近の山について考察し話しあひをする 山がどのように侵蝕されているか調べる 地球の表面や内部はどのようなついているか (3) 火山(噴火)温泉について調べ話しあひをする 火成岩の成因についてしらべる 地震の原因作用についてしらべて話しあひする わが國の地震について研究する 地面の隆起沈降について調べる 	<ul style="list-style-type: none"> 川のはたらきを理解する 山の変遷について理解する 火山の成因構造について理解する 地震の災害防止と對策を考える 社會と連絡中學二年 社會家庭と連絡 かせ(風邪)をひきやすいところであるから注意するなどのような豫防があるか話しあひする

		<ul style="list-style-type: none"> 災害防止について話しあひをする 	<ul style="list-style-type: none"> 鑛物の採集は常に留意して実施していくようにする 農業の土地利用と連絡社會に連絡化學(3)高等學校用 ねばり強く研究態度を養つて仕事は最後までやりぬくようにする 冬休みの標本採集をする 冬休みにでまきんがん山見學する
自由研究發表會		<ul style="list-style-type: none"> 岩石はどのようにしてつくられたか (2) 土質と作物とどんな關係があるか (4) 	<ul style="list-style-type: none"> 地球の地殻構造を調べる 火成岩、水成岩、變成岩はどのようにしてできたか調べて話しあひをする 採集した標本についてそれぞれどんな特徴があるか調べる 火成岩、水成岩の成因を調べる 土と微生物について調べ話しあひをする 腐植土とはどんなものか又その成分についてしらべる 土と微生物について調べ作物の生育との關係について考察する 土壌改良はどのようにすればいいか 土の分析實驗をし考察する 岩石、地質分布圖を作りあげる 地下資源について知つていることを話しあひする 研究心の導きとして實驗を思い出さす計畫をたてる
冬 至			
冬 休 み			
11 地下資源 (16)			
1 正 月		<ul style="list-style-type: none"> 鑛物はどのようにしてできたか (4) 	<ul style="list-style-type: none"> 地下資源をどのようにしたらいいか話しあひ計畫をたてる 地球の歴史について研究して話しあひをする 鑛床とその成因を圖などによつて研究し話しあひをする 鑛物標本について觀察しそれぞれの性質について話しあひする 鑛物の結晶形硬さへき開(劈開)條こん(條痕)密度色、透明度、光澤などについて調べて鑛物を識別してみる 地下の有用鑛物を見つけ出す方法について研究する 選鑛や、や金(冶金)の進歩について研究し話しあひをする 金屬鑛物非金屬鑛物について研究調査する 鑛物の識別法を理解する 日頃研究する態度を養う 選鑛について理解する 有用鑛物の種類と用途を理解する
小 寒			
雪		<ul style="list-style-type: none"> 鑛物をどのように利用しているか (7) 	<ul style="list-style-type: none"> 鑛山見學の記録や採集した鑛物をつめて學習するようにする できればあらためて鑛山見學をする 化學(2)高等學校用 日頃自分の持つている標本を手にとつて學習できるようにしたい 金物(理)小學六年 メッキ小學六年 化學(3)高等學校用

自由研究 発表會	大 寒	<ul style="list-style-type: none"> 石炭にはどんな種類があるか調べる 石炭からとれるものについてその系統圖を作ってみる 石油はどのようにしてできたか調べる 油井はどのようにして発見されたのか調べる 石油はどのようにして汲みあげているか調査研究する 	<ul style="list-style-type: none"> 石炭の系統圖を理解する 石油(映) 化學(3) 高等學校用
2 立 春 節 分	節 分	<ul style="list-style-type: none"> 石油からとれるものについてその系統圖を作ってみる 石油はどのように用いられているか調査研究する いろいろな燃料について比較しまた燃費について研究し話しあいをする 地下資源が日常生活、産業交通などの設備や運営の資材や燃料など利用されている意義について考察し話しあいをする 日本の地下資源について調べその分布圖をかく 新しい資源開発をどのようにしたらいいか考えてみる 	<ul style="list-style-type: none"> 石油からとれるもの系統圖をかく 地下資源の重要性を認識する特に今後の日本の開発のために合理的な利用と物を節約する態度を養う
酷暑時	酷暑時	<ul style="list-style-type: none"> 資源をどのように開発したらいいか (2) 12 家 (18) 住宅問題をどのように考えるか (2) 建物にはどんな種類があるか (1) 建物の材料はどんなものが使われてきたか (2) 丈夫な建物とはどんな建物か (5) 	<ul style="list-style-type: none"> 理科 18 生活 家庭科と連絡 農業と連絡 建築(工業) 中學三年 住居の衛生(體) 中學二年 社會と連絡 古代の建築(幻) 農業 農業工作) セメント(映) 兎の毛皮やなめし皮をとるころで注意して観察するようにして
紀元節	紀元節	<ul style="list-style-type: none"> 参考書によつていろいろの建物をひろいあげて發表しあう いろいろの建物の特徴を調べ話しあいをする 郷土の建物を調査しその特徴を圖にかき發表する 建築材料の産地について調べる 材料はどうか進歩してきたか歴史をしらべる 材料によつて強さ使い道をどうしたらいいか實驗觀察する どんな形の柱と梁がいいか實驗觀察する 柱はどんなのがいいか 梁の断面の形支持法によつてそのたわみはどうかしらべる 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅問題の焦點をつかむ 種々な建築の特徴を理解する 建築材料の種類用途の一覽表をつくる 郷土の建築材料の産地を理解する 丈夫な建物とはどんな構造をもっているか理解する

公開研究 會	公開研究 會	<ul style="list-style-type: none"> 切口によつて棒の強さはどうか調べる 柱や梁はどのように組み合わせたらいいか實驗する 建物はどうな形かいいか屋根のふき方や形について調査研究する 梁や柱の補強はどうしたらいいか調べ話しあいをする 木造、石造、鐵筋コンクリート造はどうか調査研究し發表しあう 住みよい家とはどんな家か (10) 住みよい家について討議し理想案を分擔して模型にする 家と氣候について調べこの土地に適する形について調べてみる 部屋の向きや間取りはどうかしたらいいか自分の家について圖にかいて調べて話しあいをする 	<ul style="list-style-type: none"> 建築材料による建物の特徴を明らかにする 模型製作する能力を養う 住みよい家の条件にどんなものがあるか研究檢討する 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ建物も郷土の建物もあるか調べる 私生活にどう影響するか調べる 模型よく責任もつて作る 後とよまげよう
3 桃の節句 父兄會 展覽會 學藝會 春雨 草花の播種	3 桃の節句 父兄會 展覽會 學藝會 春雨 草花の播種	<ul style="list-style-type: none"> 換氣や保温はどのようにしたらいいか自分の家についてくふうしてみる 明かるい部屋を作るにはどうかしたらいいか日光照明器具等についても調査し改善して行く 家の耐火、防火、構造についてくふうする 家庭生活の能率化合理化の面よりどのような設備をしたらいいか研究し發表しあう できあがったものについて話しあいをする 一年間の學習のまとめと反省をし四月に立てた研究計畫と實際にできた研究の結果を比べ研究のできなかつた理由を反省する 	<ul style="list-style-type: none"> 耐火、防火構造について検討し理解する 整理と反省をする 	<ul style="list-style-type: none"> 色彩と生活(圖工)中學二年 理科 3 火と連絡する 次の二年生に引き継ぐものはよくわかるようにしておく
彼岸 春分 卒業式 終業式	彼岸 春分 卒業式 終業式	<ul style="list-style-type: none"> 理科學習をどのようにしてきたか (1) 		

音楽科学習指導年次計画

立案の趣旨

- 音楽教育目標を達成するために児童生徒の発達、環境、学習目標を考え合わせて立案することとした。
- 学習目標の要項は文部省で単元として発表されているのでこれにならった。
- 題目のとり方は単元の項目をとると系統的学習は出来るが児童、生徒の心情に合わない活動が多くなるので主として歌唱教材の題目をとった。そして学習の場では目標達成のための種々な活動が行われるようにした。
- 学習活動の内容は歌唱、鑑賞、器楽、作曲を中心としその特記すべき要項だけあげた。
- 単元との関係とは学習活動の目標が単元のどれになつているかということをかいた。
- 他教科との連絡は備考欄にあげた。
- 学習結果の考査は音楽学習の特質から毎時行われているので特別あげなかつた。
- この計画の他に音楽科単元各項目の学習系統案ともいふべきものがある。例えばリズム、メロディ、ハーモニー等の学習系統案、鑑賞の学習系統案、器楽学習系統案、創作学習系統案、音楽の形式、構成、音楽史等の系統案等この系統案がいつも年次計画の基本となつている。

月	季節と行事	題目	日	時間	学 習 活 動	単 元 の 関 係	備 考
4	始業式 入学式 桜のたんぽぽ すみれの花 ちよちよがとぶ 毎に暖かくなる 天長節	岸の櫻	4		<ul style="list-style-type: none"> ○「岸の櫻」歌唱 F. $\frac{3}{4}$ <ul style="list-style-type: none"> ・視唱による ・跳躍音程を十分練習する ・rit atempo の歌い方 ○「バイオリン協奏曲ホ短調(メンデルスゾーン)」鑑賞(レコード) <ul style="list-style-type: none"> ・メンデルスゾーンについて ・協奏曲について ○器楽 ピアノ、オルガンを中心として各自が楽器一つづつ習う ○作曲・和聲学の初歩を賞習する(和音の進行) 	1の(1)歌唱及び演奏技術の向上、特に合唱合奏の技術を向上させる 1の(2)表情的技術を向上させる 3の(1)音を感賞的にとらえることとそれを通しての意味する内容及びその持つ情緒を理解させる 2の(3)音楽の歴史的發展についての理解をもたせる 2の(2)音楽の要素、形式、構成に對する知的理解を高める 1の(1)	
5	新憲法記念日 鯉のぼり 木の芽遠足 創立記念日 健康週間 晴天が続く	サンタルチヤ 五月の丘	5		<ul style="list-style-type: none"> ○「サンタルチヤ」歌唱 G. $\frac{3}{8}$ 3合 <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを正しく視唱する ・視唱で合唱する ・美しい發音で合唱する ○「サンタルチヤ(チゴリ民謡)」鑑賞(レコード) <ul style="list-style-type: none"> ・合唱の美しさ ○器楽 各自の練習 ○作曲 和音の進行について研究する ○「五月の丘」歌唱 G. $\frac{4}{4}$ 2合 <ul style="list-style-type: none"> ・視唱で二部合唱をする ・和聲に注意しながら歌う ○「ソナタタタ嬰ハ短調月光(ベートーベーン)」鑑賞(レコード) 	1の(5)創作の興味を増大させ次第にまとまりを持つた曲をつくらせる 1の(1)リズム旋律、和聲及形式を総合的にとらえる力を高める 3の(2)人間の士豪の上に立つて各国の音楽の民族的特徴を理解させる 2の(1)	

6	麦がみのる 時の記念日 入田 梅 田 植 麥 刈 農 集 夏 期 夏 至	この道	2 4	ソナタ形式について ・ベートーベーンとピアノ ○器楽 ピアノ中心の練習 ○作曲 器楽の作曲を試みる ○「この道」歌唱 E. $\frac{3}{4}$ ・調唱による ・發想に十分注意して歌う ・發音をきれいに美しく歌う ・部分的な拍子の變化に注意する ○ま王(シューベルト)鑑賞(レコード) ・シューベルトの歌い方 ・歌えるまでよく聴く ○歌詞に曲をつける練習 ○器楽 楽曲の獨奏や歌曲の伴奏を習う ○「露」歌唱 C. $\frac{4}{4}$ 3合 ・ハ長調終止形練習をする ・三部を視唱で合わせる ・他聲部をよくききながら歌う ・轉調の部分をよく認識して歌う ○「オラトリオ(救世主) パストラルシンホニー(ヘンデル) 鑑賞(レコード) ・ヘンデルとオラトリオ ○器楽 自由練習 ○作曲 和聲の進行	2の(3) 1の(1) 1の(5) 1の(1) 1の(3)詩の内容を音楽的に生かすことにつとめる 1の(2) 3の(1) 2の(3) 1の(5) 1の(4)音楽の内容及び形式に対する理解にもとづく演奏を行わしめる 1の(1) 2の(2) 1の(4) 3の(1) 2の(2)(3) 1の(1) 1の(5) 1の(1) 1の(4)
7	七夕 夏季日課開始 公開研究会	ほととぎす	4	○「ほととぎす」歌唱 F. $\frac{3}{4}$ ・視唱による ・轉調の部分をよく歌い合わせる ・發想を十分につけて歌う	1の(1) 1の(4)

水	泳	夏の旅行	9	二百十日 自由研究發表會 展 覽 會 夏季日課終了 彼 十 五 夜	いそ月	6	○「いそ月」歌唱 B. $\frac{2}{4}$ 3合 ・單音の部分にあるカデッツ風の旋律をよく歌う ・單音の部分と三部合唱の部分とよく調和して歌う ・發想を十分に合唱する ○「舌裏八景(古謡)長歌」鑑賞 ・日本音楽について ・發聲と發音、西洋歌曲との比較 ○夏やすみ中採譜した民謡(童謡)の整理、發表 ○器楽 練習目標をきめる ○作曲 夏やすみ中作曲したものの整理、發表	3の(1) 2の(1) 2の(1) 2の(2) 1の(5) 1の(1) 1の(2)(3) 3の(1)(2) 2の(2)(3) 1の(5) 1の(1) 1の(5) 1の(1) 1の(2) 3の(1) 2の(2)(3) 1の(1) 2の(1)
運 動 會	運 動 會	運 動 會	1	運 動 會 麥 刈 十 三 夜	運 動 會	5	○「運動會」歌唱 B. $\frac{2}{4}$ 3合 ・リズムに注意して視唱する ・輕快な力強い歌い方を練習する ○「カブリアリツチヨイタリアン(チヤイコフスキー) 鑑賞(レコード) ・管絃樂のきき方 ・チヤイコフスキーの樂風 ○器楽 自由練習する ○作曲 リズムの研究をする	1の(1) 1の(2) 3の(1) 2の(2)(3) 1の(1) 2の(1)

木の實ひろい 紅葉 空は澄んでく る	しかられて	4	○「しかられて」歌唱 變ロ陽 $\frac{4}{4}$ ・日本の歌曲の歌い方 ・十分に發想をつけて歌う ○「江原道のアリラン」鑑賞(レコード) ・朝鮮民謡と東洋音楽 ○器樂 各樂器をもちよつて合奏をする ○作曲 歌詞に作曲する	1の(1) 1の(2) 1の(3) 3の(2) 2の(3) 1の(1) 1の(5)
11 ま 治 落 菊 明 部 菊 公開研究会	里 祭	4	○「里祭」歌唱 B. $\frac{3}{4}$ 2合 ・舞踏風なリズムの動きに注意して輕快に歌う ・第二聲部の半音的下行を正確に歌う ○「ワルツ」藝術家の生涯(ストラウス)」鑑賞(レコード) ・悅樂 ○器樂 ワルツ曲を弾いてみる ○作曲 ワルツの曲をつくつてみる	1の(1) 1の(3) 3の(1) 1の(1) 2の(1) 1の(5) 1の(1) 1の(4)
秋の遠足	菊	3	○「菊」歌唱 D. $\frac{3}{4}$ 2合 ・リズムが速いのでリズムが正確になる ・發想を十分につけて歌う ○「菊」鑑賞(レコード) ・ソプラノ獨唱 ○器樂 ピアノ、オルガンを中心練習する ○作曲 拍子とリズムを與へて作曲する	3の(1) 2の(1) 1の(1) 1の(5)
12 防 火 冬季日課開始	Old black Joe	4	○「Old black Joe」歌唱 C. $\frac{4}{4}$ 2合 ・はじめの英語唱歌であるからよく歌い方を指導する ・發音を正確にする ・一音符に數音をつつける歌い方になれさせる	1の(1) 1の(2)

自由研究發表會 寒くなり霜が おろる	自由研究發表會	3の(2) 2の(3)	○「動物の調肉祭(サンサンズ)」鑑賞(レコード) ・サンサンズについて ○器樂 音樂會の爲の練習 ○作曲 形式について研究する	1の(1) 2の(2) 1の(1) 1の(3) 3の(1)
音 樂 會 ク リ ス マ ス	音 樂 會	3の(1) 3の(2) 2の(3)	○「いつと行くか」歌唱 ES. $\frac{2}{4}$ ・視唱による ・發音に注意して正しく歌う ○「クリスマス」の歌(ゴツキナー) 鑑賞(レコード) ・靜思 ○「絃樂四重奏曲 第一番へ長調(ベートーベーン)」鑑賞(レコード) ・室内樂について ・ベートーベーンの和聲美 ○器樂 音樂會のための練習 ○作曲 形式について研究する ○演奏 合唱 獨奏 ○鑑賞	3の(1) 2の(2) 2の(3) 1の(1) 1の(4) 2の(2) 1.2.3.4
1 正 寒 大 寒 入 り 寒	子 守 歌	3	○「子守歌」歌唱 D. $\frac{6}{8}$ 2合 (モーツァルト) ・子守歌らしく歌う ・リズムを伴奏と一體によく合わせて歌う ○「子守歌(モーツァルト)」鑑賞 ・ソプラノの歌い方 ○「交響曲第四十一番「長調」ジュビター」の鑑賞(レコード) ・管絃樂についてのきき方 ○器樂 多休が中習つたものゝ發表しあう	1の(1) 1の(4) 3の(1) 3の(1) 2の(1) 2の(2) 1の(1)

覆 正 月	老 松	4	○作曲 正月にちなんだ作曲をする ○「老松」歌唱 C. $\frac{4}{4}$ 3合 ・第二、第三聲部が樂器的な伴奏をしてい る合唱の面白さ ・合唱の表現力の豊かさ ・主旋律と第二、第三聲部との調和に注意 して歌う ・伴奏部を交互に歌はせる ・リズム特に伴奏部を正確に ○「禿山の一夜(ムリルグスキー)」鑑賞 (レコ ード) ・ムリルグスキーについて ○器樂 ピアノを中心として合奏する ○作曲 伴奏のつけ方を習う	1の(5) 1の(1) 1の(2) 2の(1) 3の(1) 2の(3) 1の(1) 2の(1)
2 立 紀 先生と父母の 會	故郷の 慶家	3	○「故郷の慶家」歌唱 C. $\frac{4}{4}$ ・よく知られている旋律であるが正しく歌 うようにする ・間奏の面白さ ・發想を十分にして歌う ○「故郷の慶家」鑑賞(レコード) ○器樂 個別練習をする ○作曲 伴奏のついた曲を研究する	1の(1) 2の(2) 3の(1) 1の(1) 2の(1)
公開研究會	かじやさん	4	○「かじやさん」歌唱 ES. $\frac{4}{4}$ 2合 ・レコードと連絡して教える ・リズムを正しく歌う ・間奏の面白さ ○「歌劇トロボトーレのかじやさん」鑑賞 (レ コード) ・合唱の模範として ○器樂 リズム樂器の練習をする ○作曲 樂曲の解剖をする	1の(1) 1の(4) 3の(1) 2の(1) 2の(2)

3 ひなまつり (學藝會)	ベ チ カ	2	○「ベチカ」歌唱 C. $\frac{4}{4}$ ・發想を十分につける ・獨唱的の練習をする	1の(1) 1の(2) 1の(3)
遠山の雪が段々 消えてくる	た か ね	4	○「たかね」歌唱 G. $\frac{4}{4}$ 混 4 合 ・視唱による合唱 ・混聲による合唱のしかた ・和聲的なびびきに注意して歌う、合唱の ほんとうの美しさ ○「賞をかち得て來たるを見き(ヘンデル)」鑑 賞(レコード) ・混聲合唱の美 ○「歌劇ローエングリン」祝婚の合唱」鑑賞 (レ コード) ・合唱の美 ○器樂 各自の練習したものを發表する ○作曲 歌曲器樂曲を分けて批判し合う ○演奏 器樂 合奏 ○鑑賞	1の(1) 2の(1) 1の(4) 3の(1) 2の(1) 3の(1) 2の(1) 1の(1) 1の(5) 1.2.3.4
彼 修 了 式 會	岸 學 藝 會			

體育科學習指導年次計畫

立案の要旨

- 四季を通して運動場に展開される子供の遊びから糸口を求め、運動の特質を考えて季節的に配當した。
- 季節行事、設備、運動場の調子等や、子供の生活即ち子供の遊びと密接に係保ち、去年の體力測定の結果も題材選擇の上に考慮した。
- 方法は子供の實狀に依つて考えられるのであるから全くの概略である民主的體育の方法について工夫して行きたい。
- 目標となつている平均記録は本年五月の測定の平均であるから、無理なく到達をめざしていいと思う。
- どこまでも當校を主に立案した試案である、實施した上での反省を備考にでも記しておいて、體育目的達成のための、よりよき來年度立案の素材ともなれば幸甚である。 22.9 鹽入生

月	季節と行事	子供の生活	題材	時間	學習活動	備考
4	始業式 入學式 天長節 花見 身體検査 氣候よろし ほこり立つ		徒手體操 短距離走 ソフトボール ダンス 體育の目的 住居の衛生 測定	6	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な體力を養い、動作を輕快敏捷にし、スタイルを優美にするために必要なることを自覺する ○各運動を正確に行う ○競走の時の作戦を練る ○時々タイムをとつてみる ○100mを16秒(男)17秒(女)あたりを目ざして ○墨間の距離約20m、人數10名を一チームとして行つてみる ○表現技術の研究 ・自然運動によつて基礎的な身體をつくる ○身體的、精神的、健全を目的としていることを學ぶ ○住居が衛生的になつているかどうかの検討 ○より衛生的にする工夫 ○身長 體重 胸圍 	

5	創立記念日 はなまつり 遠足 新緑 體力測定 運動場の調子よろし		徒手體操 走 ソフトボール ベースボール ダンス 各種運動の解説と練習法 病氣の豫防測定 遠足	12	<ul style="list-style-type: none"> ○準備整理の運動としても大切であること、一して習慣的に行えるようにする ○緊張と弛緩のリズムの體得する ○走距離約150mとする ○追い越す時のきまりを學ぶ ○團體の爲に力走する ○ゲームに依つて得られる體育的効果について研究する ○能力等分のチームを作り個人の機會を均等にする ○打法、走法、投法の基礎を適格にする ○表現技術の研究 ・自然な生活環境から取材したものを創作的表現にみちびく 例(よるこび、希望) ○主として徒手體操、器械體操について ○結核、近視、トラホームの豫防法を工夫研究する ○體質検査 ○體力測定 100m 幅跳 懸垂屈び 男 2000m 野球ボール投 女 1000m 排球ボール投 	
6	小運動會 時の記念日 舊の五月節句 農桑期 さつま植 え 麥刈 田植 え 入梅 雨降り多く運動には適しない		脚懸け上がり 幅跳び 三段跳び ソフトボール ベースボール	9	<ul style="list-style-type: none"> ○高鐵棒で行う ○反動を巧みに利用する ○左右兩脚できるようにする ○兩脚懸けもやつて見る ○男は410cm 女は360cmをめざす ○跳ぶ調子が出たらそれぞれの全力を傾けてやる ○練習法を工夫する ○各パートを変更してみても最も適した場所を擔當する ○他級、他校との對抗試合をやつてみる 	

夏至 傳染病多し	ダンス 衛生 運動會	○作品の創作 ・表現、技術の研究の結果を作品として構成する ○病気の豫防 むしろ、傳染病、消毒 ○食物の衛生及國民栄養 ○體重及び體温の測定 ○短距離走 球技 ダンス	
7 梅雨あけて急に暑くなる 夏季特別時間割 水泳 終業式	逆上がり 6 ソフトボール ダンス 水泳 病気の豫防 餘暇の利用	○高鐵棒で行う ○一節、二節と區別してホームを考える ○懸け上がりと連続して行う ○チームワークについて工夫する ○作品創作 ・各自創作したものを鑑賞して創作に役立てる ○横泳、背泳、潜行飛込 ○救助法水泳心得 ○急性傳染病の豫防と手當 ○健全娯樂とスポーツについて	農業 社會 六)家庭
8 夏休み 七夕 お盆	水泳 旅行 測定	○友達と水泳する ○未熟者の指導にあたる 體重測定	
9 二百十日 始業式 展覽會 残暑あり 夏季時間割 彼岸 十五夜 氣候よくなる	け上がり 障害走 12 ハンドボール ダンス	○低鐵棒で長短兩懸垂でできるようにする ○高鐵棒でも習う ○110mに、10個の障害物をおく ○踏切、着地、跳び方の工夫 ○障害物の數や種類は適宜に選擇する ○チームの標識を明らかにする ○正確なる判断と果敢なる闘志を養う ○生活環境から取材した題材にて表現技術の研究 ・(スポーツ 自然)	

	スポーツマン シツプ 衛生	○實例について話しあう ○摩擦及び衣服の衛生について	理科…濱物 家庭…私の 生活
スポーツ シーズン 運動會 快晴續き 絶好の運動日和である 秋の農繁期 10 さつま捆 稻刈 麥蒔	跳び上がり下がり 繼走 高跳び スピードボール 12 バレーボール ダンス 運動衛生 衛生 運動會	○高さ約 30cm の跳箱を用いる ○空中の姿勢を工夫する ○各種の組分けを行う ○作戦をねらせる ○男は120cm 女は100cm をめざして。 ○フライボールは手でグラウンドボールは足で處理する ○人数を 9名にして行う ○作戦をねる ○作品創作の研究 ○叱られて ○障害防止 過勞、休養 攝生について ○運動時の姿勢 ○體重呼吸の測定 ○100m 障害競走 ダンス 球技 リレー	
明治節 國民體育大會が開かれる 村祭 遠足 紅葉 體力測定 寒さ急速に加わる	跳び越し サッカー バレーボール ダンス 12 國際競技 衛生 遠足	○跳箱の高さは約120cm位にする ○腕を跳び上り下りを行う ○腕立跳び越しを行う ○ホームをきれいにする ○基礎練習と作戦を主とするゲームを行う ○ゲームを通しての基礎練習と連絡を工夫する ○生活感情から取扱して創作の研究 ・想い出 愁い ○オリンピック競技會その他の國際競技會の概要と外交との關係等を考察する ○寄生蟲病の豫防と手當について ○體力測定	英語二ノ六

<p>木枯しが強くほこり多し</p> <p>霜どけは校庭一面になる</p> <p>12 冬季時間割</p> <p>終業式</p> <p>冬休み</p> <p>冬至</p>		<p>跳び越し</p> <p>バスケットボール</p> <p>馬遊び</p> <p>ダンス</p> <p>体育史</p> <p>看護法</p>	<p>○高さ約80cmの跳箱を横にして行う</p> <p>○腕立て横跳び越しを行う</p> <p>○腕立て閉脚跳越しを行う</p> <p>○逐次ホームをととのえる</p> <p>○ボールを準備として行う</p> <p>○人数をへらして五人一組でやってみる</p> <p>○反則と罰則をきめる</p> <p>○数人組で跳乗りして遊ぶ</p> <p>○作品の鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門舞踊の鑑賞 ・舞踊者の態度 <p>○世界体育史のの略を学ぶ</p> <p>○簡単な内科、外科の看護法</p>
<p>正月</p> <p>始業式</p> <p>寒に入り厳寒となる</p> <p>1 寒休み</p>		<p>轉回</p> <p>バスケットボール</p> <p>なわ跳</p> <p>押し合い</p> <p>社会体育</p> <p>救急處置</p>	<p>○腕立て背支持前方轉回を行う</p> <p>○倒立姿勢より轉回を行う</p> <p>○助走の後高さ約60cmの跳箱上で轉回する</p> <p>○シート、バス等を競争的に練習する</p> <p>○作戦をねる</p> <p>○歌曲に合わせて跳ぶ</p> <p>○走りながら跳ぶ</p> <p>○長くとびつづける</p> <p>○すもうを行う</p> <p>○團體で圓外に押し出し引き出しをする</p> <p>○社会体育の施設の現状とその重要性について学ぶ</p> <p>○貧血、日射病、てんかん</p> <p>○切傷、止血、骨折</p>
<p>2 節分</p> <p>立春</p> <p>紀元節</p> <p>音楽會</p> <p>雪降り多し</p> <p>寒さまだ強し</p>		<p>倒立</p> <p>長距離走</p> <p>雪遊び</p> <p>ダンス</p>	<p>○交互に補助して倒立をする</p> <p>○競争</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間、姿勢、歩く距離 <p>○2000mを何分で走れるかを試みる</p> <p>○女子は1000mを走る</p> <p>○雪中の歩行、鬼事</p> <p>○雪投げ、雪あて</p> <p>○スキー、スケート</p> <p>○創作の發表會</p>

		<p>家庭体育</p> <p>職業の衛生</p>	<p>・1ヶ年間やつた表現技術の創作の發表</p> <p>○家庭体育のありかたについて</p> <p>○職業別疾患の傾向と對策について</p>
<p>3 學藝會</p> <p>初午</p> <p>修了式</p> <p>寒さやわらぐ</p> <p>彼岸</p>		<p>年度末試合</p> <p>9</p> <p>體育的反省</p>	<p>○學級、班、紅白、通學區等の對抗ゲームを行う</p> <p>○種目は既習題材の中から選ぶ</p> <p>○全部の生徒に機械を均等にする</p> <p>○體育的効果の反省をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・體格、體質、位力の向上 ・精神的方面への影響 ・衛生的習慣の形成

圖畫工作科學習指導年次計畫

立案の趣旨

- 子供の學習は季節と行事、子供自身の興味、生活の實態、各教科の目標などがうまく融合して始めて學習指導の効果があがる、さうした立場から各項目を圖工の特殊性によつて慎重に決定した。
- 季節と行事は子供の學習意欲や興味の誘導に非常に大切なものであるから圖工の立場から特に重用な關連行事をあげた。
- 季節と行事から子供の生活がどう進展し、どんな事に特別な關心をもつかどんな生活實態を展開するか子供の生活を素直にながめてその内容とした。
- 中學校に於ては各教科の獨自性、各教科の目標が非常にはつきりとするので子供の生活からの出發より教科の目標からの出發が強いので子供の生活の項目を省いた。
- 季節行事、子供の生活、圖工の目標からどんな學習素材によつて學習活動することが大切か、つまりどんな學習内容が生れるかをあらゆる點からながめて學習素材の項目にあげた、題目でなくどこまでも學習活動の内容から生れた一つの素材であると考えた。
- 學習活動は各單元のもつ目標を子供自身が達成するための自發的な活動と考えて、重要な生き生きとした實際活動を具體的に記した。
- 單元は文部省試案の單元をとり、それに独自の單元を少し考え、量的には試案に示された比率によつて決定した。
- 學習目標は特に重要な點のみをあげて一般的な圖工の目標は出来る限り省略した。
- 連絡注意は各教科と細部にわたつて再三打ち合せて系統的な縦と横の關連をはかつた。
- 考査の判定は大別された方法のみで細かい具體的な内容は省略した。
- 行事とにらみあわせて時間的な増減と學習素材とは密接な關連をはかつた。
- 一年間の細部にわたつて授業時数を綿密に計算して、それにもとづいて各學年共授業總時間数を考えた。
- 寒、暑さを考えて単元の配當を慎重に決定した。

月	季節と行事	子どもの生活	學習素材	學	習	活	動	目標及び單元との關係	連絡と注意	效果判定
4	式式見節學 業學長 始入花天選		○美術とと美術鑑賞(6)	○日本美術史の大要と日本畫西洋畫の變遷について ○明治大正昭和の日本美術 ○東照宮等古來の建築物に於ける繪畫 ○有名な繪畫にかかきある美術鑑賞 ○西洋の繪畫	○アグリッパ、ヴァイナス、アポロの半面像を鉛筆で寫生する ○白い石膏の感じ質感、量感をしつかり出すようにする ○顔の立體感一面で見えていく ○陰影をしつかりと把握する	○寫生による描畫の單元 ○寫生の基本を高める ○寫生力をねらせ観察力をねらせる ○面的に描えていく力をねらる	○美術常識の單元を高く ○美術史について ○美術の常識を高める ○美術について ○美術の歴史を高める		○順位決定法 ○色彩調査表	
5	日 護齒新憲法實施記念行事 遊 端午の節會 創立記念日 後援會總會 健康週間		○石膏デッサン(鉛筆)(2) ○色立體について(2)	○アグリッパ、ヴァイナス、アポロの半面像を鉛筆で寫生する ○白い石膏の感じ質感、量感をしつかり出すようにする ○顔の立體感一面で見えていく ○陰影をしつかりと把握する	○寫生による描畫の單元 ○寫生の基本を高める ○寫生力をねらせ観察力をねらせる ○面的に描えていく力をねらる	○寫生による描畫の單元 ○寫生の基本を高める ○寫生力をねらせ観察力をねらせる ○面的に描えていく力をねらる	○色彩の單元 ○色彩感覚をねらせる ○色彩を科學的に理解する ○色彩立體について理解する		○目的きまりの單元 ○電氣についての理解を深める ○電氣工作に興味をもたせる ○工夫、考察力を	○記述尺度法
6	時の記念日 入梅り 麥刈		○電氣の自由工作(6)	○電氣を利用し應用した工作 ○ラデオ、コンロ、モーター、トランス ○電氣の知識的研究と技術を共に習う ○實際に使用出来るようにつくる	○電氣を利用し應用した工作 ○ラデオ、コンロ、モーター、トランス ○電氣の知識的研究と技術を共に習う ○實際に使用出来るようにつくる	○電氣を利用し應用した工作 ○ラデオ、コンロ、モーター、トランス ○電氣の知識的研究と技術を共に習う ○實際に使用出来るようにつくる	○電氣についての理解を深める ○電氣工作に興味をもたせる ○工夫、考察力を	○理科 ○工業「電氣」		

農田	期植	休至	夕用	式み
農夏				業休
七土				終夏

立體圖案 (時言類) (4)	○時計, 皿, どんぶり等の日常器具機械を中心として圖案する ○新鮮な美しい形と機能の研究 ○表現法は各自由なるも斜投影か透視法にする ○色彩をていねいにほどこす ○寸法は自由 (記入しても記入しなくともよい)	○工業	×科學力をねる ○圖案の單元 ×構成力をねらせ ×眼と手をねらせ ×創造力をねらせる	○一對比法
簡易描寫機 (6)	○名刺版にすつたり, はがき板にすつたりする位の簡易板をつくらせる ○臺, わくを別々につくつて金具でとりつける ○とりつけ方は自由に工夫する ○ローラーは小さいのを買う ○實際に印刷して使用する ○工夫して新しいものをつくる	○工業	○木工の單元 ×簡易の器具類の制作をねる ×木工製作技術を高める ×正確な製作態度を養う ×實用品製作の興味をねらせる	○記述尺度法
静物 (2)	○静物を自由に組み合せて寫生する ○野菜, 果物, 器物, びん, か類などを中心として自由に考えてモデルをつくる ○全體の感じ面の把握, 質感を研究しなから描寫する ○水彩畫として仕上げる	○工業	○寫生による描畫の單元 ×觀察力をねらせ ×寫生の態度をねらせる ×構圖力を養う	一對比法
表紙圖案 (2)	○夏休みの友や, 學習帳を中心として表紙圖案を考える ○便化の方法文字圖案の方法をしつかりと行う ○中の文にあつたように表紙を圖案する ○クレヨン, クレパス, 水彩などで仕上げる	○工業	○圖案の單元 ×創造力をねらせ ×構成力をねらせ ×色彩配合になれさせる ×表紙に對する理解を深める	記述尺度法

9	二學期開始式會	日開始式會	夜	會	會	會	會	會
10	稻刈	運	動	會				
11	明遠紅	節	足	葉				

夏休みの作品發表會 (2)	○夏休み中の繪畫の作品, 工作品研究 ○作品を中心として作品の發表會を行う ○上の苦, 心一番大切なところ等を中心として ○反省とデスカツション	○社會科 ○理工	○鑑賞の單元 ×鑑賞力を養う ×計畫力を養う ×發表力をねる	○社會科 ○理工
開展椅子の製作 (6)	○開展椅子の設計, 製圖, 製作を行う ○開展の仕組み, 材料, 組み立ての要領などをよく研究する ○木, 竹を中心として組み立てに, ねぢを用いる ○材料を少く丈夫に作る工夫をする ○足が四本にても自由に持ちあがるように来るように	○工業	○木工の單元 ×考案力をねる ×木工技術をねらせる ×設計力をねる ×材料についての研究を高める	記述尺度法
材料利用の自由作 (4)	○各自空罐や木材, 竹材, 金物等にある材料を見つけて自由なものを作る ○材料を生かすように工夫して有用なものを作る ○工具の使用法, 材料の價値などをよく研究しながら	○工業	○材料ありの單元 ×工夫, 考案力をねる ×材料利用の態度を養う ×利用更生の力をねる	記述尺度法
秋の景色 (2)	○秋の紅葉した景色を寫生する ○牧廬, 山林, 田畑などでよく構圖を研究して行う ○遠近法と透視による色彩の變化形の變化について ○紅葉した美しさの表現法	○工業	○寫生による描寫の單元 ×觀察力をねる ×風景寫生になれさせる ×描寫力を高める	一對比法
配色と生活 (2)	○生活上に特に使われている配色例 ○かべの色とカーテン, 服裝と調度品 ○建物の樹木 ○街の色と田舎の色 ○色の最も注意されて使用されているところ	○家庭科	○色彩の單元 ×色彩應用力をねらせる ×構成力を高める ×生活美化の態度をねる	記述尺度法

お祭り	空嚮利用の工作 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 雜語その他の空嚮を利用して自由なものを作る ○ 變形、展開、切断によつてそのまゝの形を生かしたり、全然違つたりして作る ○ モーター、トランクス、電車、汽車、自動車などもつくりつけて見る ○ 金工として折り曲げ、切断ハンダ付けなどを特に研究する ○ 設計し製圖して行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 材料ありの單元 ○ 材料活用をね ○ 工夫考案力をね ○ める ○ 金の技術を高 ○ 意匠の力をねら ○ せる 	工業	記述尺度法
お祭り	器物の機能研究 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常使用されている器物や器具類の多くはその使用目的の上から將來改良する ○ 火ばちはどんな目的で作られたのか ○ 火ばちはどんな形のものがあるか ○ 火ばちはどんな材料で作つてあるか ○ 椅子、戸たな、きゆうすその他の工 ○ 具、自動車、船など ○ 自分で研究して報告し合いデモスカツションする 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 形體の單元 ○ 形と機能の關係 ○ 形を理解する ○ 形の合理化の工夫する ○ 科学的合理的な力をつける ○ 美的感覺をねる 	家庭科	記述尺度法
12月 防火デー	用器 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立體圖法の中で正投影圖法を行う ○ 立體の投影を行つて製圖する ○ 投影圖法の理論的なものと製圖 (正多面體、角錐、圓柱) ○ 相貫體展開などを特によく研究しながら ○ 點線、面の基本をよく研究しながら ○ 自分又は自分の家で多になつて必要なもの有用なものを作る ○ 自分でよく考えて使用目的、使用する時の便、不便などから設計する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製圖の單元 ○ 製圖力を高めめる ○ 正確な描圖力をつける ○ 圖法の興味をねる ○ 圖法の理解をする 	家庭科	記述尺度法
冬 多	冬に有用なもの (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分又は自分の家で多になつて必要なもの有用なものを作る ○ 自分でよく考えて使用目的、使用する時の便、不便などから設計する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的きまりの單元 ○ 工夫考案力をねる ○ 設計用をつける ○ 實力製品製作の興味をねる 	家庭科	記述尺度法

正月 寒入り	製圖 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 機械製圖の簡単なものを行う ○ 同軸線、キーツ、キーツ、軸接手調べなど ○ ボルト、スネによる ○ 初步をする ○ 又は簡単な實物によつて實測製圖を行う ○ 又は工具類の實測製圖など ○ 形、圖案の單元と連絡を保ちながら ○ 彫刻盆の設計製作を行う ○ 自分の任意な大きさを設計する ○ 彫刻刀の使い方、はり方などをよく注意して練習する ○ 模様をほつてから塗装したり塗製してから彫刻したり、いろいろ研究する ○ 自分の製作によつて作品を愛し他人の作品を尊重し使用能力や消費能力を研究する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製圖の單元 ○ 機械、製圖の初步の技術力を高める ○ める ○ 機械製圖の興味をねる ○ 規格を理解する 	工業	記述尺度法
1月 三學期始業祭	彫刻盆 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 彫刻刀の使い方、はり方などをよく注意して練習する ○ 模様をほつてから塗装したり塗製してから彫刻したり、いろいろ研究する ○ 自分の製作によつて作品を愛し他人の作品を尊重し使用能力や消費能力を研究する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木工の單元 ○ 彫刻力をねる ○ 構成能力をねる ○ 工夫考案力をねる ○ 意匠力をねる 	工業	記述尺度法
2月 立春 豆紀初	ラヂオ部品の圖案 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ラヂオの部品を圖案する ○ 自分の描き易い図法で描く ○ 使用目的からどんな形がよいか ○ 美しい形か、美しい模様 ○ 斬新しい材料がよいか研究する ○ 色んな材料がよいか仕上げる ○ 作りたいたいものは自分で製作して見る ○ 材料から目的を考えたり目的から材料を考えたりして自分で自由に役に 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 圖案の單元 ○ 考案力をねる ○ 意匠力をねる ○ 科学的機械美を理解する ○ 合理的美的美に關心をもつ 	工業 理科	對比較法
冬 多	有用なもの (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分又は自分の家で多になつて必要なもの有用なものを作る ○ 自分でよく考えて使用目的、使用する時の便、不便などから設計する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的きまりの單元 ○ 工夫考案力をねる ○ 設計用をつける ○ 實力製品製作の興味をねる 	工業	記述尺度法

3	桃の節句 學藝會 展覽會 父兄會	(男) (4) 女 (手藝)	立つよりなものをつくる ペン皿、さし、おろしかね、がん具、類、小刀、本立、 類、手裏げ袋、ハンズバツク、テニス、 セーター、ぞうりの表などをよく研 究する ○日本らししゆり、フランスししゆり、 その他いろいろの縫い方を研究する ○科學的な模型の製作を自由にする ○モーター、トランス、舟、汽車、汽 船、自動車などを中心として研究す る ○動く模型として蒸気電氣の應用され たもの ○材料は部分品を買つたり、自分で製 作したりして完全なものを使う ○理論の勉強と技術とを共にしつかり と行う ○製作したたら走らせたりする 研究發表もする ○立體を表現するのにどんな方法が工 夫されているか ○直方體のようなものを見るとき…軸 測投影圖法のようなもの、源氏物語 繪卷 ○物の正面を原形どおりにかき、奥行 を示すのに斜の平行線をかき…春日 權現験記繪卷 ○透視用法 ○その他の方法の描法をいろいろと研 究する	○工業 ○理科	記述尺度法
		○模型製作 (2)	○同 (2)	○工業 ○理科	記述尺度法
		○説明圖に於 ける各種の 表現 (2)			

彼	岸	○工具の手入 れと修理 (1)	○鉋丁類、はさみ類、小刀類、のこぎ りのみなどの工具を中心として研 究する ○兩刃片刃のとき方各種 ○砥石の種類と使いわけ ○グラインダーを使用する ○工具の柄のつけ方を研究する ○保存の仕方を考える	○工業	記述尺度法
修	了式		○工具、備品の手 入れ、取扱いの單 元 ○工具を大切にす る態度をねらせ る ○手入れ、修理の 技術を高める ○合理的な手入れ 法を理解する ○關心を高める		

職業科農業學習指導年次計畫

立案の趣旨

- 第2學年では「土地勞力資本はどんなにしたら合理的に使えるか」に指導の重點をおき、土地利用勞力の調整肥料の活用の面から指導をすすめるように計畫した。
- 郷土の實情から農業工作養畜經營と栽培技術土地利用の諸單元には多くの時間をかけ又養蚕山林の單元にはそれぞれ5%ほどの時間しか配當をしなかつた。
- 社會科とは全般的に關係が深いので特別な場合だけ書いておいた。
- 必修總時限140時を原則として計畫した。
- 農業の特殊性をかんがえ6月および10月の農繁期にも特別配當時限をへらさなかつた。
- 題目については興味感や必要感を喚起するために問題式作業式のものを選択にとり入れた。
- 學習活動は必ずしも學習順序を意味しない、適當に変更することもとより當然である。
- 郷土の特色からみて教科書にはないが、さといも、ごま、とうがらし、うど、みつばなどを適當にとり入れた。

月	季節と行事	題目(配當時間)	學習活動	單元	他の教科との關係
4	○始業式 入學式 ○春 ○つばめくる ○櫻の花が咲く	どんな作物を作つたらよいか (2) 郷土ではどんな作物を作つているか (3)	<ul style="list-style-type: none"> わが國で作られている作物しらべ 適地適作についてしらべ話しあう 土地と氣候との關係をしらべる(みかん、りんご、さつまいも、じゃがいも、さといもなどについて考察してみる) 消費地と輸送貯蔵について話しあいしらべる 日本の食糧の不足の状況と收量しらべ 輸入農産物と輸出農産物についてしらべ話しあう 	1. 土地を高度に利用するにはどうしたらよいか (土地利用その一)	理科(土)
				同前	社會單元1.2.3 家庭科

	作物はどんな順序で作付したらよいか (2)	<ul style="list-style-type: none"> 作付の近年になつてから増加したもの、減つたものについてしらべ原因を考察してみる 郷土の作物の歴史しらべ 栽培面積のほほ一定している作物と年々變る作物しらべ 	同前		
	草花のたねまき (1)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の作物しらべと話しあい 連作、輪作の研究 郷土の土地利用の状況をしらべる 間作、混作のしらべと研究 土地利用を高める工夫 	3. 庭と花 (土地利用その三)	理科(草木) 家庭(季節と生活)	
○苗代をつくる	分擔の畑の經營 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 作物栽培種類品種の決定 栽培計畫表の作製と話しあい、吟味、批評 肥料、勞力の計畫と研究 販賣の方法、價格の話しあい 	1. 土地を高度に利用するにはどうしたらよいか (土地利用その他)		
○天長節	飼育當番 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 山羊、兎、にわたりの世話の當番をきめ世話をする 當番の注意事項の話しあい 	7. 養畜		
	さといも作り (1)	<ul style="list-style-type: none"> さといも さつまいもの栽培上のちがいを研究 たねいもの見分け方の話しあいと實習 前後作しらべと一反歩必要種いも量しらべ こやしいれたねまき 	6. 經營と栽培技術とはどんな關係があるか		
5	○新憲法實施記念日	宅地はどんなふう利用したらよいか (1)	<ul style="list-style-type: none"> 各自の宅地の利用のようすをしらべ話しあう どんなものがうえられているかしらべてみる 庭の役割を話しあう 	庭と花 (土地利用その三)	
	○こいのぼり	とうがらしうえとごまのたねまき (2)	<ul style="list-style-type: none"> 嗜好料作物としてのとうがらしの作り方品種土質について話しあい苗をうえる 郷土のごまの栽培面積と收量用途しらべと話しあい ごまのたねまき 麥刈りとうもろこしのたねまき、栽培法、用途の話し 	2. 工藝作物 (土地利用その二) 7. 養畜	
	○青葉となる				
	○遠足				

○創立記念日	どんな場所にどんな庭が必要か (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・洋式の庭と日本の古い庭の持ちようをしらべ話しあう ・いろいろな草花や花木の性質、用途、作り方のあらしをしる ・草花の苗うえ ・手入れと話しあい 	3. 庭と木 (土地利用その三)	家庭科 (季節と生活)
	郷土にはどんな庭があるか (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・春の庭の見学、話しあい ・簡単な垣根、生垣の作り方を研究する ・木の配置、木の形、枝ぶりの研究 ・教科書や参考書をよむ ・庭を持つ人の話をきく 	同前	同前
○健康週間	肥料の計画はどんなにしたらよいか (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の肥料の消費量と外国の消費量と比べてどうしてわが国の消費量が多いかしらべ話しあう ・肥料の上手な使い方の研究と話しあい ・肥料の生産について話しあう ・肥料缺乏と土質作物の品種との関係しらべ ・肥料試験中のようすを観察する ・今年の肥料の計画をする 	5. 肥料を無駄なく使うにはどうしたらよいか	
○伝染病豫病	金肥の供給はどうなっているか (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の家や学校への肥料の配給量しらべ ・肥料の生産高しらべ ・化学肥料の性質をしらべ話しあう、施し方の研究 ・参考書をよむ 	同前	
	ねぎの栽培と土地利用 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ねぎ苗の観察と反省 ・ねぎ栽培の研究、うね幅、株間しらべ ・栽培期間、後作、前作の研究と話しあい ・ねぎ作りと土地利用研究 ・こやしやり、うえつけ ・白い所を多くし太くするくふうをする ・収量をあげる手入の研究 ・ねぎのうえかえ ・ねぎの間作の研究 	6. 経営と栽培技術とはどんな関係があるか	
6 ○小運動會	さつまいもの苗うえ (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・よい苗の吟味 ・節數、太さ、葉の數、わきめの有無、重さしらべと収量の研究 ・苗のうえ方、時期と収量を研究し話しあう ・気温と品種との持ちようしらべ ・苗きり實習、苗うえ ・こやしについての話しあい 	6. 経営と栽培技術とはどんな関係があるか	
○田うえ				

○時の記念日	麦刈り (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・一反歩の本數調べと話しあい ・くさとり、つるあげ ・郷土の麦刈り時期しらべ ・大麥と小麥の刈り時のちがいしらべ ・麦刈りの方法について話しあい實習 ・麦刈り、麦こきの能率をあげる工夫しらべ ・反當り収量しらべ ・貯藏法の話しあいと蟲害の防除法研究 ・藥劑を使つて防ぐ方法のしらべと話しあい實習 	同前	
○入梅				
○麦刈り	農作の繁閑 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の手入の忙しさ具合を折れ線グラフに表してみる ・忙しい仕事が重なつた時の工夫を研究する ・季節と作物と仕事との関係しらべ ・勞力不足場合の能率化の話しあい ・一年間の勞力の繁閑しらべ畑、水田と比べる 	4. 農業の繁閑を調節するにはどうしたらよいか	
○夏至				
	農業はどんなふうにして緩和するか (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・作付面積と家畜の有無との関係しらべと話しあい ・作付面積と動力農具との関係しらべと話しあい ・近年になつて改良された仕事の研究 ・仕事の熟練のくふう ・草とりの時期と回數の研究 ・能力の高い農具をとり入れるくふうの話しあい ・共同作業の利益について研究し話しあう ・農業の調節の話しあい 	同前	
7 ○七夕	たい肥や糞肥はどんなにして作るか (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然肥料と配給肥料との特徴をしらべ話しあう ・有機質肥料と微生物との関係しらべ ・自給肥料の作り方研究 ・郷土での堆肥の作り方しらべと話しあい (材料、時期) ・速成堆肥作り ・家畜の飼育と自給肥料の研究 ・緑肥作りとその効果研究 	5. 肥料を無駄なく使うにはどうしたらよいか	理科(土) 理科(微生物)
○公開研究會	肥料の成分 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料の成分と効果との関係しらべ ・窒素、磷酸、加里の形態しらべ ・硝酸態窒素を含む肥料の使い方研究 	5. 肥料を無駄なく使うにはどうしたらよいか	理科(土)

○土用	肥料の使い方 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 有機質肥料の効果しらべ 肥料試験中の麦の育ち具合をみる 郷土の肥料の施し方しらべと話しあい 酸性、アルカリ性の土と酸性、アルカリ性の肥料についてしらべてみる 酸性の土の改良を話しあう 正しい肥料のまぜ方の科学的研究 	同前	理科(土)
○終業式	穀物を貯蔵するにはどうしたらよいか (1)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の穀物の貯蔵方法をしらべてみる、話しあう 麦や米の貯蔵法の研究 虫害の時期しらべと話しあい 燻蒸法の研究 	6. 経営と栽培技術とはどんな関係がある	家庭科(貯蔵した食品)
	畑の手入れ (1)	<ul style="list-style-type: none"> 青刈とうもろこし、さといも、ごま、とうがらしの手入れ、追肥、くさとり、かたぎり 	2. 工藝作物(土地利用その二)	
9	○始業式	わが國の養蚕はどんなにして發達したか (2)	8. 養蚕	理科(きもの) 社會科
	○二百十日			
	○夏休み研究發表會	桑の栽培はどんな点を改良したらよいか (2)	8. 養蚕	理科(きもの)
	○水泳大會			
		蠶の飼育の要點はどうか (3)	同前	理科(きもの)
○彼岸		<ul style="list-style-type: none"> 昔の衣服しらべ話しあい わが國の養蚕發達の歴史について話あう、教科書や参考書を讀む 生糸の輸出状況しらべと養蠶業の將來について話あう 郷土における養蚕業の實状を話しあう 氣候や土地と養蚕との關係をしらべる、話しあう 郷土の桑の栽培しらべ 桑の品種と收量との關係をしらべ話しあう 桑の植えつけ苗の仕立方一反歩の本數などをしらべる 桑の皮の利用法の研究 桑の栽培の研究 桑園の間作研究 蚕の系統、品種、選擇の條件しらべと話しあい 蚕室の研究 勞力についてしらべ話しあう 飼育の回數、消毒、掃立飼育の様式、上簇の仕方しらべと話しあい 生糸の用途と副産物の利用 蚕病の研究 收購の方法研究 蚕の選別法のしらべと話しあい 製糸業の話しあい 	同前	理科(きもの)

	庭の改造 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 秋の庭の觀察と手入れ話しあい 家の庭にうえられている植物の吟味 秋の草花の苗うえ 家の庭の設計、研究 庭の改造案作りと反省比判話しあい 庭の改造 	3. 庭と木(土地利用その三)	家庭科(季節と家庭生活)
○十五夜	庭木の植えつけと手入れ (3)	<ul style="list-style-type: none"> 庭木の手入と植え方實習 草花や花木の性質用途作り方の研究 かき根、生がきの作り方しらべ 石組や水のとり入れ觀察 木の配置、木の形、枝ぶりの研究 	用前	同前
10	○蟲とり	わが國と養畜 (4)	7. 養畜	理科(動物)
		<ul style="list-style-type: none"> 養畜の歴史しらべ 郷土の家畜しらべと話しあい(品種、頭數、利用) 農業經營と家畜飼育の關係を研究する 牛、馬の一日の勞働力一年に活動する日數をしらべ話しあう 無畜農家と有畜農家との相違をしらべ話しあう 馬と牛との特色の相違をしらべ話しあう 家畜の種類しらべ 郷土の家畜の種類と土地氣候、飼料との關係しらべ 郷土から出している畜産物入れている畜産物について話しあう わが國の畜産物をしらべ話しあう 家畜の飼育上の特性しらべと話しあい 家畜を飼育する上に問題となることについてしらべる 家畜の將來について話しあう 家畜の飼料しらべ 家畜の輸入飼料と自給飼料しらべ 郷土で使われている飼料しらべと話しあい 濃厚飼料を與える時期について話しあう 自給飼料作り 青刈とうもろこし作り 干草、埋草作り 飼料の養分しらべ 	7. 養畜	理科(動物)
		家畜にはどんな種類があるか (2)		
	○みのりの刈	どんな飼料があるか (8)	同前	理科(動物)

○稲刈り	畜力農具には どんなもの があるか (3)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書をよむ 畜力農具の歴史をしらべ る 郷土で使われている畜力 農具をしらべ話しあう 畜力作業の能率をしらべ 話しあう すきの研究 家畜の一年に於ける使用 日数と耕地面積との関係 を研究する 	同 前	理科(動物)
○十三夜				
○運動會	養 魚 (1)	<ul style="list-style-type: none"> わが國の養魚の種類しら べ 郷土と養魚についてしら べる 水田と養魚についてしら べ話しあう 	同 前	理科(動物)
○紅 葉	とうがらし ごまのとりい れ (3)	<ul style="list-style-type: none"> 熟れ方の見分けについて 話しあう、とりいれ 乾燥、貯藏法の研究 用途、販賣先の話しあい 加工法の研究 	2. 工藝作物 (土地利用 その二)	
11 ○明治節	工業作物とは 何か (1)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土で作られている工藝 作物をしらべてみる、話 しあう わが國で作られている工 藝作物しらべ 工藝作物の種類用途につ いての話しあい 工藝作物見本園作り 	2. 工藝作物	
○おまつ り	繊維をとる作 物にはどんな ものがあるか (2)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に栽培されている大 麻、桑の品種、用途、栽 培法についてしらべ話し あう わが國に作られている繊 維をとる作物についてし らべ話しあう 大麻の栽培の歴史につ いて研究する、話しあう 輸出、輸入されるせんい をとる作物について話し あう 	2. 工藝作物	理科(きもの)
○霜		<ul style="list-style-type: none"> 郷土につくちれてる嗜好 料薬用になる作物をしら べ話しあう 茶、しょうが、とうがら し、たばこ、からしなの 栽培についてしらべ話し あう 嗜好料作物の将来につ いて話しあう 除蟲菊、チキタリス、は つかりんどう、とうごま の栽培について研究し話 しあう わが國の薬用作物の将来 について話しあう 	2. 工藝作物	理科(きもの)

	油や蠟をとる ものにはどん なものがある か (2)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の土地氣候からみて 將來性のあるものにつ いて研究する 郷土のごまのつくり、作 付面積、收量などをしら べる話しあう ごま、なたね、から油を とる(家庭学習) 郷土の作付の將來につ いて話しあう わが國の油や蠟をとる作 物についてしらべ話しあ う 	2. 工藝作物	
	糊や糊粉や砂 糖をとる作物 にはどんなも のがあるか (1)	<ul style="list-style-type: none"> ゆり、じやがいも、わら び、くず、てんさい、さ とうきびの栽培と用途の 大要について話しあう 郷土での將來性あるもの を語りあう 	2. 工藝作物	
	工藝作物の今 後の見透し (2)	<ul style="list-style-type: none"> その他の工藝作物につ いてしらべ話しあう 郷土の實情からみた工藝 作物について研究する 輸出品としてのわが國の 工藝作物について研究し 論文をかき 將來の見透しの話しあい 	2. 工藝作物	
	農閑はどんな ふう利用す るか (2)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土での農閑の利用のよ うをしらべ話しあう 自給肥料(たい肥)作り開 墾、竹細工、わらざいく について話しあう 利用の新しい工夫につ いて話しあう 	4. 農業の繁閑 を調節する にはどうし たらよいか	
	さといもの取 入れ (2)	<ul style="list-style-type: none"> 品種と收量との比較吟味 いも穴作り、昨年の反省 貯藏法の研究 	6. 經營と栽培 技術とはど んな関係が あるか	理科(家) 家庭科(わが 國の住居)
	コンクリート 工 (2)	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートの型板作り コンクリートの練り方 コンクリートの持ち込み 塗り方の研究と實習と話 しあう コンクリート作業の調節 についての話しあい 	10. 農業工作	
12 ○防 火	森林の手入れ はどんなにし たらよいか (3)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の山林手入れの方法 回数しらべ話しあう 下刈り、枝打ち、つなぎり、 間伐をするわけと方法に ついて話しあい實習する どんな林地に雑草や雑木 が多いか観察する 	9. 森 林	
	森林はどんな に利用されて いるか (2)	<ul style="list-style-type: none"> 手入れをしてとれた原木 の利用について話しあう 山林と農業經營について 	9. 森 林	

○音楽會		その関係をしらべる ・山林の効用研究 ・教科書をよむ参考書をよむ ・林産物についてしらべ話しあう(用途、種類) ・林樹の種類しらべ ・郷土の森林面積調べ ・共有林、官有林等の割合しらべ		
	炭焼き(1)	・炭材はどんなものがあるかしらべてみる ・郷土の炭やきの方法について研究し話しあう ・原材の量と出来る炭の量とを比べてみる	・森 林	理科(火)
○冬 至	どんなにして造林したらよいか(2)	・林樹はどの位になつたらきまるかしらべてみる ・用途の研究 ・いろいろな造林法を教科書や参考書でしらべ聞き話しあう ・苗の仕立て方をしらべる観察する ・山林の更新法しらべ ・山林の災害しらべとその防除の方法を研究する	9. 森 林	理科(植物)
○終業式	たけ切り(1)	・たけきりの時期について話しあいたけきりをする	10. 農業工作	
	わらざいく(3)	・郷土わら工品とその用途しらべ ・なわな(太いなわ細いなわ) ・むしる、こも作り ・わらし、ぞうり作り ・きかいでなわな ・なわな機の手入法の研究 ・仕掛けしらべ ・回轉軸、回轉方向研究 ・摩察車と齒車の働らきの比較研究 ・捲きとり機の研究 ・荷作りの研究 ・結び方の實習	10. 農業工作	
○クリスマス				
1	○元旦 ○寒入り ○始業式 ○冬休み研究発表會	うさぎ小屋作りと鉢だな作り(6) とり小屋作り(4)	・間伐材を使つて作る ・うさぎ小やの観察と話しあい吟味 ・設計製圖 ・材料の準備と話しあい ・うさぎ小や作り ・鉢だなの設計と製作 ・とり小屋の観察と話しあい	10. 農業工作 同 前

	○おたりや ○大 寒	おちば集め(2)	・とり小屋の設計製圖 ○製作(家庭) ・ぶた小屋、やぎ小屋の修堆 ・堆肥の材料について話しあう ・おちばあつめ ・おちばの肥料分について話しあう	4. 肥料を無駄なく使うにはどうしたらよいか
2	○立春 まめまき ○初 午 ○展覽會 ○父兄會 ○公開研究會	たけ細工(6) フレーム作り(6) みつば軟白とうど作り(3)	・たけぼうき作り ・たけの性質しらべ ・たけわり方、まげ方、さき方の實習と話しあい ・熊手、かご作り ・フレームの用途について話しあう ・フレームの材料についてわら、木材、煉瓦、コンクリート、大谷石などの特長をしらべ話しあう ・フレームの設計と批評 ・フレーム作り ・構造と性能について話しあう ・みつばの軟白研究 ・軟白溝の設置 ・踏込み ・詰込み ・管理 ・発芽までの温度しらべ ・発芽後の温度しらべ ・うどの性狀の話しあい ・うどの利用、品種、栽培法の話しあい ・軟化圃場作り ・軟化盛土の目的方法についての話しあい	10. 農業工作 10. 農業工作 6. 經營と栽培技術とはどんな関係があるか
3	○ひなまつり ○梅の花咲く ○學藝會 ○終了式	みつば軟白とうど作り(2) うさぎのはくひ(2) 二年生の反省(2)	・みつば軟白溝の管理 ・発芽後の温度しらべと調節の方法の話しあい ・收穫と荷作りの方法實習 ・うどの圃場の管理收穫荷作り ・軟白法の原理研究と話しあい ・うさぎの殺し方話しあい ・うさぎ殺し ・はくひ ・なめし方の原理方法のしらべと話しあい ・なめし方實習 ・用途加工の研究	9. 經營と栽培技術とはどんな関係があるか 7. 養 畜 1. 土地を高度に利用するにはどうし

○彼岸		たらよいか (土地勞力資本は どうしたら合理的に 使えるか)。 農業の經營は どんなにした ら堅實になる か
來年度の計畫 (2)		

職業科工業學習指導年次計畫

立案の要旨

- 中學校に於ては各教科の獨自性、教科目標が非常にはつきりとしているので單元の目標から學習素材が強く浮び出されるので、子供の生活を省略して學習内容と單元の目標に重點をおいた。
- 指導が各教科の専門に移されるので季節と行事も特に重要な點をあげて學習活動との關連をはかつたがむりに連絡をつなようとしなかつた。
- 夏季冬季の特別日課をしない考えから一年間の授業を計算した。
- 工業はまだ指導要領が出ていないのでわかっている範圍内で研究して簡単にその内容を記した。
- 時間的な配當も獨自の考えで生徒の實情に應じて決定した。
- 單元も大きく二ツか三ツになつていたので學習素材は出来る限り土地の獨自性をあげた。
- 單元の順序も文部省案と必ずしも一致せず生徒の興味と實力に應じて順序を考えた。
- 單元が非常に工作と近いし密接な關連があるので工作の指導法と特に關連つけた。
- 指導要領を見ていないので不安な點は省略した。
- 工業は製作中心であるので一素材にたつぷりと時間をとつた。
- 季節に應じて適合したやりよい單元を配當した。
- 技術と知識とに指導内容がわかるのであるが餘り内容を明示しないで簡略化した。
- 工業の内容は今までとほとんどその内容を異にしてゐるので他數科との關連を慎重にした。
- 一年間を三十五週として時數を決定し實際に出来る各月の時數を行事によつて計算して配當した。
- 工場見學、實習は出来る限り休日を利用しようと考えて餘り時間に配當しなかつた。
- 製圖設計技術は各單元に何時でも行うように考えて特別な時間を餘り多くとらなかつた。
- 各單元は文部省試案にもとづいて考えたがその重點は獨自に考えて決定した。

月	季節と行事	学習素材	学習活動	目標及び単元との関係	連絡と注意	効果判定
4	○入學式 始業式 櫻開く 花見 天長節 選挙	○工業講話(4) ○筆立(8)	○工業と日本のこれからについて特に農村工業、農村電化の問題について話し合う ○機械工業、繊維工業などの現況について話す ○化学工業について話す ○工業学習上の問題について計畫、態度など ○その他工業に関する問題 ○ブリキ板の廢品又は空罐を切り開いたのを用いて作る ○角筒と臺をつくり接合する ○ハンダ付をする ○各自由に塗装する ○工作圖をかく ○けがきの仕方を習う ○折曲の仕方を習う ○製品を反省してしらべる ○問題を出してよく考察する(技術と知識)	○講話の單元 ×工業の概要について知識をつける ×工業の學習の仕方について自覚せしめる ×農村の合理化に關心をもたせる ○金工の單元 ×意匠の考え方をねらせる ×工作圖のかき方を高める ×板金の基本技術を高める ×塗料について研究させる	○農業 ○考作	○記述尺度法
5	護齒日 新憲法記念日 事端午の節句 遠足 創立記念日 後援會總會 健康週間	○金だらひ(8) ○杓子(8)	○ブリキ板、空罐でつくる ○工作圖をかくて設計する ○側面を折り曲げ四隅を銲で接合する ○側面の上端は折り曲げてふちを作る ○適當な把手を考へてつくる ○各部を清淨にして塗装を行う ○銅のうす板を用いる ○材料の手に入らない時は鐵板、ブリキ板、アルミニウム板などで試みる ○切斷した板を絞りによつて宛形にし別に把手をつくる ○銅の銲でとりつける ○使う目的によつて各自由に考へる ○製品を反省して良否を檢討する	○金工の單元 ×意匠の考え方をねらせる ×工作圖のかき方がけがき接合などの基礎技術を高める ×銲による接合の方法を知らせる ×創作力を高める ×塗料の仕方 ○金工の單元 ×意匠の考え方を習う ×創作圖、けがき、裁斷等の基本技術を高める ×絞りの習作の仕方を習う ×銲による接合の仕方を習う	○工作 ○工作	○記述尺度法 記述尺度法

月	季節と行事	学習素材	学習活動	目標及び単元との関係	連絡と注意	効果判定
6	時の記念日 入梅 麥刈り 農繁期 田植 農休 夏至	○ろうそく(8)	○ブリキ板でつくる ○とけた、らう、うける ○血は鐵線をはめこむ ○穴を中央にあけて四つの邊を折り曲げて四隅をハンダ付けし鐵線をはめこんで、はんだ付する ○板金を折曲げつぎ合せて支柱をつくる ○ハンダ付して臺をつくる ○把手をつくりハンダ付する ○清淨して塗装する ○反省して良否を檢討する ○問題を考察する	○金工の單元 ×意匠の考え方 ×金工の技術力を高める ×はんだ付の仕方を習う ×銲による接合の仕方を習う ×塗料の種類について	○問題によつて考察する	○工作 記述尺度法
7	七夕 土用 終業式 夏休み	○盆(8) ○製作の技術と意匠の考え方(4)	○鐵のうす板又は適當な板をまるくきりとけがきによつての盆深さをつくる ○好みによつて銅板又は眞鍮板の把手をハンダ付又は銲でつける ○把手をのそいた他を塗料する ○問題を出して考察する ○絞りの注意について ○金工の意匠の考え方について ○匠作圖、けがきの仕方の要領 ○金工の一般的技術について特に大切なもの ○作品の例によつて考へる	○金工の單元 ×意匠の考え方 ×金工の基本技術 ×絞りの工作技術 ×銲による接合の仕方 ○金工の單元 ×金工の一般の意匠の考え方 ×基本技術を高める	○工作 ○工作	記述尺度法 問題解答
9	二百十日 二學期開始 始業式	○たばこセツト(8)	○ぶりき板を用いて作る ○灰落しは波形の部分に絞りによつて作り側板は折り曲げおのおのつき目ははんだ付する ○裝飾は透し彫りをして裏面に磨いた黃銅板のハンダ付をする ○マッチ立ては四邊を折り曲げ低い箱形にして四隅をハンダ付	○金工の單元 ×意匠の考え方をねらせる ×工作圖、その他の基本技術を高める ×絞り、銲接合の仕方を習う ×透し彫りの方法を習う	○工作	記述尺度法

<p>水泳大會 研究發表會 彼岸 十五夜</p>	<p>○こゝで知らなければならぬこと(8)</p>	<p>した臺を作りその上に透し彫りしたブリキ板でつくる ○まき煙草入れはブリキ板でつくる ○盆もブリキ板黄銅板ではんだ付して作る ○塗裝する</p> <p>○意匠の考え方について知らなければならぬことを習う、材料、工作の方法、目的を中心として意匠の考え方、設計の仕方、習う例、筆立</p> <p>○工作圖の書き方 ○工作圖の役目 ○青寫眞 ○工作圖の書き方の例 ○材料の選擇、種類について</p> <p>○けがきの仕方 金工用ものさし、金工用コンパス</p> <p>○裁斷の仕方 金鋏で裁斷する 技術の経練の必要</p> <p>○折曲の仕方について 髓、折臺、拍子木、金敷</p> <p>○はんだ付の材料と工具 はんだ付の仕方、技術</p> <p>○紙による接合の方法 ○折曲による接合の方法</p> <p>○絞りの工作の仕方 ○透し彫の方法 ○わか國の透し方 ○塗料の種類 ○塗裝の仕方 ×ラツカーの場合 ×エナメルの場合</p>	<p>○金工の單元 ×金工の各製 作で知らな ければなら ない知識的 方面につ いて知ら せて知ら せる</p> <p>×正しい工業 の知識と技 術について の考え方を 高める</p> <p>×製作知識の 關心を高め る</p>	<p>○工 作 科 ○問題解 答</p>
<p>10 稻刈り</p>	<p>○電池をつかつた灯のつけ方(4)</p>	<p>○2個の乾電池を電源として豆電球に點燈する ○乾電池を直列に接續して次に並列に變へてみてこの二つの場合の豆電球の明るさの變化をしらべて觀察する</p> <p>○細い電線をつかつてさしつかえない ○感電の危険はない ○電池の正(+)と負(-)の極も電線でつなぐこと ○問題を觀察する</p>	<p>○電氣の單元 ×電池につ いての知識 を高める</p> <p>×電氣の興 味を喚起す る</p> <p>×研究心を 高める</p>	<p>○理科 (三年)</p>

<p>運動會</p>	<p>○配線の仕方(4)</p> <p>○電球をつかつたいろいろな實驗(4)</p>	<p>○鉛直板の表面に配線してクキとコンセントとを取付け板の頂上から前へ出ている水平板にコードをつり、その電燈を取りつける</p> <p>○レセプタルは2個を直列に接續する</p> <p>○電流を測定できるように電源に電流計を取付ける</p> <p>○ねち類は固くとりつける</p> <p>○被覆をはく時の注意</p> <p>○まへの仕事でやつた配線に電球を點燈して次の觀察を行う</p> <p>○コード吊りソケットに電球を點燈し温度と光の色との關係をしらべる</p> <p>○レセフタグルの一つだけに電球を點燈する方法を考えて點燈する</p> <p>○ワット數の異なる2個の電球を點火し、その時の現象を觀察する</p> <p>○2個のおなじ電球を點燈</p> <p>○艶色消しガラスの電球に點火する透明ガラスの電球にも點火する</p>	<p>○電氣の單元 ×電池の配線の仕方を習う</p> <p>×配線の接續、取扱いの力をつける</p> <p>×研究心を高める</p> <p>○電氣の單元 ×學習の興味を喚起する</p> <p>×電球使用の實驗になれさせる</p> <p>×研究心を高める</p>	<p>○理科三年</p> <p>○理科三年</p>
<p>11 明治節 遠足 紅葉 お祭り</p>	<p>○電氣スタンド(8)</p> <p>○電氣コンロ(8)</p>	<p>○木と竹と紙と針金でつくる</p> <p>○各自自由は型につくる</p> <p>○臺、支柱を特に工夫する</p> <p>○ソケットとコードをつけてコードの先にプラグをつける</p> <p>○笠は針金でわをつくり紙をはる</p> <p>○笠をおさえるには針金で二つの輪をつくり電球にはめる</p> <p>○ニスを塗つて仕上げ</p> <p>○問題 スタンドの笠はどんな効果があるか</p> <p>○鐵板、又はジラルミン板で足のついた臺をつくり、その上に乘燒の熱板を取りつける</p>	<p>○電氣の單元 ×電氣應用製作の意慾を高める</p> <p>×電氣の理解を深める</p> <p>×照明についての知識をつける</p> <p>×製作技術を高める</p> <p>○電氣の單元 ×電氣コンロの製作になれさせる</p> <p>×導體不導體</p>	<p>○工作電氣スタンドを同一に</p> <p>○理科三年</p> <p>記述尺度法</p>

		○熱板の溝にはニクロム線を納めその両方のばしはコンセントを通してコードにつなぐ ○つなぎ方はボルトナットでかたくしめつける ○導体と不導体について研究する ○短絡について研究する ○實際に使つて見る	○電気の單元 ×電流について習う ×電気の興味を深める	○理科三年	問題解答
12 防火デー 音楽會 冬至 二學期終業式 冬休み	○ラジオの製作 (2)	○磁石ラジオを基本として製作する ○單球、四球と各自の力に應じて製作する ○部品の名稱について ○配線圖の記號読み方かき方について研究する ○ラジオ理論について ○何故聞えるか ○電波の研究をする ○ハンダ付の仕方 ○組み立ての順序 ○修理と故障の發見について ○その他ラジオ一般について習う	○電気の單元 ×ラジオの製作の興味を喚起する ×製作技術を養う ×ラジオの關心を高める ×電波についての關心を高める	○理科三年	問題解答
1 正月 三學期始業 寒入り 春渡祭 大寒	○ベルを使つたいろいろな實驗 (4) ○こゝで知らなければならぬこと (8)	○2個の電池を直列につないでベルを鳴らし次にこの電池を並列につないで鳴らしてみよう ○この二つの場合の音の大小を比較して見る ○變壓器をつかつてベルを鳴らして音の大小を前の場合に比較して見る ○この三つの場合について實驗をよく研究して見て觀察する ○直流と交流について ○オームの法則 ○直列と並列 ○電流の磁氣作用 ○變壓器 ○發電について 1. エポナイトなどをこすつた時 2. 科學的發電 3. 磁氣作用による發電 ○直流と交流について研究する ○導体と不導体につ	○電気の單元 ×電気の研究心を高める ×直流と交流について研究する ×オームの法則について習う ×直列と並列について ×磁氣作用について研究する ×變壓器について習う ○電気の單元 ×電気の理論全般について理解を深める ×電氣に對する興味を養う ×研究を高め	○理科三年 ○理科三年	○問題解答 ○問題解答

		○導体の形と抵抗の研究 ○オームの法則について ○直列と並列について研究する ○電池の直列接續について ○電池の並列接續について ○電燈の並列接續 ○電燈の直列接續 ○電球 ○電流による發熱 ○電熱器 ○電線の安全電流 ○配線 短絡 ○電球 變壓器 ○製品を買うのに必要なこと ○學校に於ける製作と工業生産との關係 ○クリートの取りつけその他について			
2 立春 豆まき 紀元節 初午	○自由製作 (12) ○時計の研究 (4)	○電氣器具を利用した自由製作をする ○各自設計して今までの力を生かす ○工夫して新しいものをつくる ○パン焼器、ラジオ、電氣樂器、電車など正確に作る ○時計の分解組み立てをする ○分解の仕方、技術について習う ○打ち方、時報と別々に分解して見る ○圖にかいてしらべる ○力の傳り方、各部分の役目についてしらべる ○力をよくしらべて構造を明にする ○掃除して油をつけ組み立てる ○時計屋を參觀したり工場に行つたりする	○電氣の單元 工夫考案力をねらせる ×電氣利用の技術をねる ×製作慾を高める ○機械の單元 ×時計の構造を理解させる ×分解組立ての力をねる ×機械の關心を深める	○工作 記述尺度法 ○工作理科 問題解答	
3 桃の節句 學藝會 展覽會 父兄會	○製圖と讀圖 (特殊曲線) (4)	○投影圖を立體的に讀む ○投影圖を姿圖法や斜投影でかく ○機械圖をどんな機械か立體的に描畫して見る ○特殊曲線について習	○製圖の單元 ×讀圖力をつける ×製圖力をつける ×興味を喚起する ×特殊曲線に	○工作 圖畫 ○一對比較法	

彼岸 修了式	○工業講話 (2)	う はい線、渦線などを 製圖する ○工業の一般について 話す ○学校の製作と工業生 産の関係について ○工場と技術について ○近くの工場の作品に ついて調査する ○村の工業實態を調査 する	理解を深め る ○講 話 ×工業一般に ついて關心 を深める ×研究心を高 める ×村の實態を つかむ	○農 業	○調 査 報 告
	○工具の手 入れ (2)	○工具の手入れ保存に ついて習う ○研磨手入れ注油の仕 方 ○工具の正しい取りあ つかいについて習う ○實習する	○金工の工元 ×金工の器具 の手入れの 方法を習う ×工具を大切 にする習慣 をつける	○工 作	○問題解 答

職業科家庭學習指導年次計畫

立案の主旨

- 中學校における家庭科は職業科の中から生徒の希望によつて選擇したものであり、大部分の女子が選擇したものと考へて立案した。どこまでも家事裁縫の合科でなく、新しく家庭建設する能力を養うために生れたのである、各學年の流れを考へてみると
- 1 年は健康にして、手まわしのよい家庭の整理、計畫的の家庭生活を中心としている。
- 2 年は季節と家庭生活が中心となる。
- 3 年は生活の改善が中心となる。
- 地方に應じて生徒の生活環境が異つてゐるから作業單元學習活動はみづから異つて來るものである。
- 教科書の用ひ方は従來の教科とちがひ問題を發見する手引きとし、問題解決の手引として用ひるのである、又教科書は學習張ともなり問題集ともなつてゐるので常に持つていてよい参考書となすべきである、計畫の中の關連事項の教一とあるのは教科書との關連を示したものである。
- 效果判定の方法は技術的進歩と態度の進歩の狀況をみるのであるから繼續的の觀察の方法が必要である、季節的月毎などにしてみてもよいと思ふ、家庭科學習のうち效果判定は最も重要な問題ではないかと思ふ。
- 中學校男子に課す家庭科は今年だけであると思ふが、家庭生活を理解させる程度であるから女子と同じ要求をする必要はない、この場合男女共になすのもよいが、男女別口によつてもさしつかへはない。
- 時間數は1週4時間として年次計畫を立案した。
- 計畫は計畫であるから學習しながら反省し實質のともなつたものにだんだん作り上げる必要があると思ふ。

月	生活環境	作業時間	學習活動	目標と單元の關係(文)	效果判定の方法	関連事項
4	<p>○進級した喜びにみちみちしている時である</p> <p>○生活環境も改まり新しい第一歩がふみだされ</p> <p>○自治會の活動も自主的となつてくる</p> <p>○氣候がよくなると共に家庭の仕事を増して来る</p>	我が國の住居(12)	<p>○今住んでいる家について作文をかく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間取りよりすばどうだろうか ・他の家とどこか改善するところがあるか ・住みよいかどうか改善するところがあるか ・改築はどのようにするか <p>○作文について話し合いをする、其の後自分の家の間取り圖をかいいて改める</p> <p>○外國の家と日本の家について比較してみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料と構造の關係 ・生活様式との關係 ・實用性から ・災害に對する危險 ・季節への適應 <p>○日本の住居について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなところを改造するか ・衛生的に悪いところはないか ・建具で何か特徴はないか <p>○自分の最も理想としている家を工夫して設計圖をかく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・發表會、展覽會をする <p>——○——</p> <p>○春の特徴を考えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氣候 ・全體としての感じ ・色 <p>○どんな生活が春に適しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋の飾り ・服裝(配色) 	<p>單一</p> <p>○わが國住居の得失に關する研究</p> <p>○たのしい生活を送るための住居の使い方の工夫</p> <p>單二E</p> <p>○春の生活についての特徴を理解させる</p>	<p>○理想な家の設計圖をみる</p> <p>○たのしい家の工夫の狀態をみる</p>	<p>○社會科</p> <p>●十を参考</p> <p>體 (住居と衛生)</p> <p>理 (家)</p> <p>農 (農業工作)</p> <p>圖 (我が國の住居の時代的機能、構成)</p> <p>●一を参考</p> <p>●二</p> <p>●八</p>
5	○農家では苗代をつくり田植えの準備がいそがしい					

月	生活環境	作業時間	學習活動	目標と單元の關係(文)	效果判定の方法	関連事項
6	<p>○季節もよくなりスズクが盛んになる</p> <p>○野菜ものがたくさん仕舞つてく</p> <p>○衣替えのときである</p> <p>○梅雨期に入る</p> <p>○保健衛生の注意がなつきである</p> <p>○田植えが盛んになる</p>	春の生活(16)	<p>・食べもの</p> <p>・其の他</p> <p>○特に食品について考えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近出ている食品を調べる ・配給量をしらべる ・献立をつくる ・習 ・營養の分析 <p>○春に適した生活を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫した部屋の畫をかく ・服飾について繪を畫く <p>——○——</p> <p>○健康體とはどんな體であろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・體格の上から ・精神的に ・營養的な面から ・其の他 <p>○營養素について研究する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭水化物 ・脂肪 ・蛋白質 ・ビタミン ・無機質 ・營養素と身體との關係 <p>○健康法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の方面から ・食物の上から ・睡眠の方面から ・其の他 <p>○食品の求め方を研究する</p> <p>——○——</p>	<p>○食品に對する常識をゆたかにする</p> <p>○調理技術の發展</p> <p>單二 A B C</p> <p>○營養的知識をひろめる</p> <p>○健康法の理解</p>	<p>○献立をつくることによる營養的な計畫がたえられるか</p> <p>○身なり服装について繼續的にする</p> <p>○保健上のいろいろな知識を記録法にて考査する</p>	<p>●九</p> <p>(農業科) たねまき</p> <p>●七</p> <p>●十三</p> <p>理科 からだ</p> <p>理科 一年 (食物について)</p>
7	○田植えが盛んになる					

7	○入梅はあけて本格的な暑さが来る ○暑いため腐敗する食品が多い ○傳染病が流行する ○とり入れがよい ○土用に入る
9	○夏休み後、不規則な生活にながれやすい ○休中他家の住復多くして他の家のようすをしる

夏の生活 (12)

- 夏を涼しく過ごすのにどんな方法があるか
 - ・住居の方面からみる工夫
 - ・服装の方面からみる工夫
 - ・食物の方面からみる工夫
 - ・其の他の方面からみる工夫
- 夏むきの献立を考えてみる
 - ・夏の野菜
 - ・夏の飲料水
 - ・實習して暑と比較してみる
- 食品の防腐の方法
 - ・腐敗する食品はどんなものか
 - ・防腐剤としてどんなものがあるか
 - ・防腐をするときの家庭で行っている方法
 - ・方法の話し合い
 - ・實地にやつてみる
- 夏の不潔になりやすいところをみて消毒する
- 夏休みの計畫をしてみる
 - ・食事の手傳い
 - ・衣類整理について
-
- 休中たのしかつた思い出を作文にか
 - ・何時頃でどのような時
 - ・誰と一緒にのしんだらう
 - ・どんな場所であつたか
 - 美しい家庭とはどんなところか
 - ・部屋が美しいのか
 - ・家中の気分がよいか
 - ・家全體が美しくて大きいのか
 - ・小さい家せまい部屋でも美しくなら
 - ・小さいか

家庭の美しさ (8)

- 夏に適する部屋の使い方
 - 單四
- 夏休みの衛生知識をふかめる
 - 單三 A. B.
- 季節むきの献立と調理法の習得
 - 單五
- 美しい家庭についての作文による考查
 - 十一

③

⑨

⑪

10	○彼岸もあつたんだんずすずしくなる ○一年を通して野祭の豊富な月である ○衣がえの時期である
11	○稻刈りが始まる ○月見等あり秋の行事がある ○スポーツの盛んなときである ○寒気が加はりややく火をこいしくなる

秋の生活 (20)

- 美しい家庭にする一つの手段心がまえについて話し合う
 - ・季節と住居
 - ・生け花について
 - ・花と器 部屋と花
-
- 秋と服装について
 - ・服の色 (配色)
 - ・形
 - ・模様と布地
- 秋の景色を話し合う
 - ・空の色と私たち
 - ・木々のようすと私たち
- 冬の用意と共に給の長着をつくる
 - ・給の特製
 - ・各部の名稱
 - ・布地と色
 - ・裁ち方
 - ・縫い方
 - ・仕上げ
- 給のきつけ方を練習する
- 秋むきの献立を考える
- ・實習して春夏と比較してみる
- ・秋の食事について考えてみる
-
- 寒さに向うため住宅はどのようにしたらよいか
 - ・窓のやぶれのつくり
 - ・障子をはる
 - ・穴をふせぐ

- ふだんの手入れが常になされるようにする
 - 單六 A
- 自他の身なりに對する關心の發長
 - 單六 B
- 季節によつて異なる被服の特色を理解させる
- 給類の長所短所の理解
 - 單八 A
- 寒い氣候に應ずる家族の營みを理解する

③

⑨

園工

中學三年

國語科學習指導年次計畫

立案の趣旨

- 國語科學習指導要領は九月末に刊行されることになっているが、一部に傳えられたような文學様式にならつた單元による學習區分は指定されないはずである。同指導要領で示されるものは、一般編をおしひろめて現代語の意義とその正しいつかみ方を主眼としたものと思われる。つまり、現代語の理解力と現代語による表現力を養成するのが目標であることには變りがない。
- 教科書の目次に示された題目の一つ一つが單元だと考えることもできるし、類似のもの、比較できるもの、互に關連のあるものなどをまとめて單元とするのもよく、これらは學習するものの側の考えにまかされていると見てもよからう。
- 學習時間や學習要項は一つの試案であるから、教師の考えによつて自由に按配できるもので決して拘束されるものではない。
- 漢文編の學習は一番問題が多いと思うが、反點訓讀を全面的に排撃したわけではなく、徐々に適當に慣れて行くことがよいのではないかと考えられ

月	季節と行事	生徒の生活	題目	時	學習要項	備考
	中等國語三(1)第一學期分 通常の年にはこの教科書は作文ととも毎週3時間 他に漢文毎週1時間、文法毎週1時間、學習の豫定		天の香具山(3)	(3)	○新古今和歌集・古典の學習 ○中等國語二1の短歌と俳句と連絡 ○古典の美しい言葉の流れとあわれと かと呼ばれているもの感得 ○新古今の主な歌人たちの話 ○民主的で知的な教材、社會科と連絡して學習 ○社會一般の人々が知識を習得するのに普通に出會ふ標準的な現代文だから、辭書を借りずに讀めるようになりたい ○新聞の起原ジャーナリズム、言論の自由、特權、ボットニユース、社會の公器などについて話しあう ○ラジウム、放射能の研究科學者、マリーキュリー ○新聞記者、日記、追憶を織りまぜて夫人の行動を浮彫にした感傷に富んだ記述 ○新しい傳記の書き方を示したものである ○名譽稱號、人氣など世俗にとられない科學者の高邁な精神、ヒューマニズムといったものがわかりたい	連絡社會科理科 脚映畫「キヌーリ夫人」の鑑賞
		新聞を持ちよつて讀む アメリカ映畫「キヌーリ夫人」が見たい	新聞の話 キヌーリ夫人	(4)		
	晩春と梅雨		花より雨に	(4)	○永井荷風の名文の一つ、僅かな變化も見がささない繊細な描寫	

イギリスの春秋	山のかな	中等國語二(1)文章についての中の志質直哉「城の崎にて」と比較するのも面白からう ○心境描寫の文章としてすぐれたもの
イギリスの春秋	小	○翻譯の自由詩、疊句、對句、句の切り方、行わけ、照應、連想の面白さを味わう ○自由な表現は得られれているが散文に近づき詩の本質讀文のリズムを見失わぬように鑑賞のときき氣をつける
イギリスの春秋	人	○英國作家スウィフトの「ガリバー旅行記」中の小人國 ○元來は政治的な諷刺小説であるが驚くべき想像力を働かせた寓話小説と見てよい ○冒險、空想、滑稽、ユーモアなどを味あう ○英國人が世界中の他民族、ちがった風俗習慣に接して得た経験や、それらと交わるために忍耐や妥協をつけて來た英國人の國民性のことなどをうかがいたい
イギリスの春秋	身振り語と言語(4)	○やさしい言語學の入門 ○言語意識を明確にし言語の面白さを知る ○中等國語二(1)「やさしいことばで」を参照する
イギリスの春秋	制作の方法(4)	○學問の研究方法の一端も學びたい ○中等文法の學習とも連絡する ○小泉八雲即ちラフカヂオハソンの文學創作編 ○中等國語二(1)の「文章について」「短歌と俳句と比較すると面白い」 ○文學の心理學的的美學的研究の一つであるそれゆえ、情緒、感覺、感情、印象、記憶、再生といった言葉の意味をはつきりとつかんで讀まなくてはならない

連絡中學英語二、の「ガリバー旅行」を参考

萬葉集の話や良寛和尚の話を開いたり、しらべたりする	長	歌(3)	○古典の一つである長歌の學習 ○萬葉の浦島と良寛和尚の月の兔の話 ○七五調の美しい語調を味わい、古典に親しむよすがとする	連絡社會科
	羽	衣(4)	○古典學習の發展として傳統的な約束の多い謡曲を取りあける ○全體の氣分、言葉の歌うよゆうな流れ、リズムの古典的な美しさなどを知る	連絡社會科
中等國語三(2)未刊第二學期分 中等國語三(3)未刊第三學期分				
中等國語三(4)漢文9月未配本 本年は例外でこの教科書は10月より毎週2時間ずつ學習の豫定				
	詩和白盤漢墨莊日本漢詩古雙孟	五朗漢樂雪字子と文都十子	首詠詩功話設子文學首景來張	

	中 等 文 法		○以上は國語の範圍又國語の延長として學習する ○歴史的に見て既に國民の教養となつて支那古典、漢文、思想、文化を取りあげる ○まず國文でかかけ地名人名などの解説をなし、最後に原文を示す句讀點、反點は記してあるが送りかぎは付してない ○常用漢字はそのまま採用してある ○内容より親しんで學習にはいり、漢文獨特の反點訓讀はいそがない
	語 文 法		○新讀本との連絡なく、獨立して編集された少し古い型の教科書であるから取扱いに苦心と注意を要する ○生徒の言語意識を明らかにし、學習の興味をわかせるために、中等國語三の「身振り語と言語」をしらべるのも一方法であろう ○新かなづかいと連絡して學習する中等文法口語のところを参照する ○文語は歴史的に形成されて基礎的法則となつたもので古典學習の鍵である
		文語とその文法 助動詞の接續(一) 第一學期 助動詞の接續(二) 第二學期 助動詞の種類と用法 文節の種類 文法の種類 第三學期	

社會科學習指導年次計畫

◆中學校社會科學習指導計畫の特色

(I) 基本的な特質

○中學校の計畫は、小學校の場合とよほど趣きを異にする。先づ生徒は、自然的な季節行事の影響も受けるが、それよりも時々刻々に生起する社會的な問題などへの關心が増大して来る。したがつて、生徒の生きた興味や欲求の中心は、豫測することが非常に困難となる。その上、さうした生徒と教師との話し合いから、學習の單元や學習活動が決められて行くとなると、指導計畫は、非常な幅を持つたものでないと、實際に利用されないことにならう。

○なお、第二に考えられることは、中學校社會科の教材の面からであるが、小學校のそれにくらべて、學習内容は相當にいわゆる知的なすすんだものとなつてゐる。したがつて、あまり細かに斷ち切られて行くことは好ましくないこととなる。

○そこで指導計畫は、生徒と教材のこのような實情の上に立つて、當然、大幅の機動性に富んだものが生まれて来ることになる。

(2) この計畫の要項について

(A) 單元の配當は、上のような趣旨から、一應は七學年の三箇年間にわたることも考えられるが、實際問題として一年間を一期間として、その中に七學年分、九學年分というようにしてあてはめることとした。したがつて一年間の中にどの單元がどこで行われても差支えないわけである。

(B) 表の單元の欄には、學習指導要領の單元名のほかに、参考單元名と豫定時間とをあげた。教材の排列では、主題を學習豫定の順序に従つてあげ、學習活動の例では、豫定された代表的なものを、出来るだけ数少なく記すことは備考では關係單元や關係教科と、一應考えられる季節的、生活的な單元實施の時期などを、参考までにあげてみたが、ここには、なお、將來調査された、學校や家庭郷土の學習参考となるような施設や、備品圖書などが記入されることがのぞましいと思われる。

(C) 更にこれが試案であるということや、これからの教育のあり方としての立場から、反省欄がもうけられ、たえず案が更新されるようにされてほしいものである。

單元(時間)	教材の排列	学習活動の例	備考
單元一 (20) われわれは過去の文化遺産をどのように受けついで来ているであろうか ○單元一、二を一緒にして文化國家を作るにはどうしたらよいか	(一) 文化的遺産の種類 (二) 社會の慣習や傳統の社會生活に及ぼす影響 (三) 文化的遺産の成立 (四) 文化的遺産の變化 (五) 文化的遺産の傳承發展 (六) 文化的遺産の社會變化に伴う適合	(五), (六), (八), (一四), (一六), (二〇), (二三), (二六), (三一), (四〇), (五四)	連絡 單元 六, 二, 國語一, 羽衣 國語二, 和漢朗詠集 國語四, 漢字のはなし日本に於ける漢文漢字 算數 理科 交通機關 圖工 美術と生活 音樂 體育 體育史
單元二 (イ)(10) われわれの藝術的欲求を満足させるために社會はどんな機會を與えているか ○楽しい豊かな生活をするために藝術はどんな役にたつてあるか	(一) 人間はどんな形で藝術的表現をするか (二) 藝術的表現の種類と社會生活に於けるその機會 (三) われわれはどうして藝術文化を楽しみ生活を豊かにすることができるか	(二), (六), (一三), (一五), (一七), (三〇), (三五), (四〇), (四七)	連絡 單元 六, 三, 一 音樂 圖工 應用美術と生活 工業 材料
(ロ) (10) 宗教は社會生活に對してどんな影響を與えてきたか	(一) 宗教の種類 (二) 宗教の發展 (三) 宗教の個人及び社會に對する影響 (四) 宗教と民主主義との關係	(一), (三), (四), (五), (一〇), (一一), (一八), (一九)	連絡 單元 六, 三, 一
單元三 (25) われわれの政治はどのように行われているであろうか	(一) なぜ政府は存在するか (二) わが國の政治活動はどのように行われているか (三) 國民の政治生活の歴史的背景 (四) われわれはどうして民主的な目的を、日常生活に具現したらよいか	(一), (二), (三), (七), (一二), (一七), (一九), (二一), (二六), (三一), (三二), (三三), (三五), (三七~四七), (五一), (五四), (五八), (六四), (七八)	連絡 單元 一, 六 國語 双十節の由來 英 foone ○この單元は議會開會のころ行ふことがよいと思われる

單元四 (30) 職業の選擇に際しまた職業生活の能率をあげるためにどんな努力をしなければならないか ○私たちはどんな職業をいらんだらよいであろうか	(二) 日本人のいままでの職業生活及び其の將來 (三) 職業選擇のための配慮 (四) 職業人としての心得 (五) 就職後の問題 (一) 職業による社會奉仕	(一) 2, 8, 9, 10 (二) 1, 3, 7 (三) 1, 3, 4, 6, 7 (五) 1 (六) 1, 2, 3 (七) 1 (八) 1 (九) 2, 3, 1 (一〇) 1, 9 (一一) 3, 8, 13, 18, 19	連絡 單元 三, 六 音樂 音樂史 圖工 ショーウィンドウ 體育 職業と疾患 農業 單元二, 三, 八 工業 ○この單元は學年のはじめに實施して學校生活に對してしつかりした目標をもたせたい
單元五 (20) 消費者の物資の選擇に際して社會の力はどのような影響を與えているであろうか ○物資不足や物價高に對して私たちはどんな工夫をしたらよいであろうか	(二) 商品の値段はどうしてきまるか (四) 消費の合理化支出を有効にする工夫 (三) 生活水準とはどういうことか (六) 社會や政府の消費者のためになすべき處置	(一), (二), (五), (一四), (一六), (一九), (二四), (三六), (三八), (四一), (四五), (四六), (四九)	連絡 單元 三, 四 農業 單元一, 六 家庭 ○この單元は食糧の問題がつよくさげられる九月頃がよいと思われる
單元六 (25) 個人は共同生活にうまく適合してゆくにはどうしたらよいであろうか ○住みよい世の中を作つてゆくにはどうすればよいか	(四) 共同生活に参加する個人の責任 (一) 個人尊重の必要理由 (二) 共同生活の理由 (三) 共同生活に對する貢獻	(三), (六), (一四), (一九), (二一), (二三), (二六), (二八), (三八), (三九), (四〇), (四一), (四三), (四七)	連絡 單元 一, 二, 三, 四, 五 理科 音樂 體育 農業 家庭 單元一, 二, 七, 九 ○この單元は學年のはじめに實施し、最上級生として實踐させることはよい方法と考えられる

				<ul style="list-style-type: none"> 形と機能について調べる 形と速さ、形態と用途 形と耐力、形の組合せ等 力と物の形について調べる 形の表わし方について調べて研究する 投影図、縮圖、地圖等について調べる、かく 以上について實地見學をしたり構成、分解、製作したりしながら研究する ○計算練習、方程式解題、作圖等綜合問題について 	<ul style="list-style-type: none"> ○數と生産、消費生活 ・數と生産・消費生活について話し合う ・物の生産から消費までの實際について調べ需要と供給の初歩關係について考える ・資本物價指數、生産指數等について實際につき理解する ・いろいろの自然現象に對し統計をととり、現象を理解する ・いろいろの社會現象に對し統計をととり現象について理解する ・自然現象や社會現象を函数的に觀察してきままりを見出す、式 	<ul style="list-style-type: none"> ○數と生活、消費生活 ・數と生活・消費生活について話し合う ・物の生産から消費までの實際について調べ需要と供給の初歩關係について考える ・資本物價指數、生産指數等について實際につき理解する ・いろいろの自然現象に對し統計をととり、現象を理解する ・いろいろの社會現象に對し統計をととり現象について理解する ・自然現象や社會現象を函数的に觀察してきままりを見出す、式 	<ul style="list-style-type: none"> ○圖形と生活との關心を深める ○圖形に對する數學的處理方法をまとめ ○數學的に形を解きそのたえめ物の形を考らているか 	<ul style="list-style-type: none"> ○數と生活との關係を深くする ○自然、社會生活に對する數學的處理方法をまとめ ○生産から生活に關する社會生活の程度を對するが深い ○歩合、損保等に關する理解能力 ○利息、株式、指す計算
	<ul style="list-style-type: none"> ○社會のあらゆる分野に對する關心がなす通象をより力と能 ○社會のあらゆる分野に對する關心がなす通象をより力と能 	數と社會生活						

6			<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の發達について調べる ・無理數の誕生 ・記數法の歴史 計算の方法と合理化 	<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の發達について調べる ・無理數の誕生 ・記數法の歴史 計算の方法と合理化 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置 	<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の意義と數學史上の位置 ○正の數、負の數、負の數の意義と數學史上の位置 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置 ○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置
7	<ul style="list-style-type: none"> ○美、力學的、物からこの代をよ ○美、力學的、物からこの代をよ 	<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の發達について調べる ・無理數の誕生 ・記數法の歴史 計算の方法と合理化 	<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の發達について調べる ・無理數の誕生 ・記數法の歴史 計算の方法と合理化 	<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の發達について調べる ・無理數の誕生 ・記數法の歴史 計算の方法と合理化 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置 	<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の意義と數學史上の位置 ○正の數、負の數、負の數の意義と數學史上の位置 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置 ○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置
8		夏休みの研究	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みの研究 ○自由研究 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みの研究 ○自由研究 			
二學期 46	<ul style="list-style-type: none"> ○美、力學的、物からこの代をよ ○美、力學的、物からこの代をよ 	<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の發達について調べる ・無理數の誕生 ・記數法の歴史 計算の方法と合理化 	<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の發達について調べる ・無理數の誕生 ・記數法の歴史 計算の方法と合理化 	<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の發達について調べる ・無理數の誕生 ・記數法の歴史 計算の方法と合理化 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置 	<ul style="list-style-type: none"> ○無理數の意義と數學史上の位置 ○正の數、負の數、負の數の意義と數學史上の位置 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置 ○計算方法の理解と使用 ○數系列上の位置

	<p>○数と社会生活、政治生活 ・数と社会生活、政治生活について調べる ・銀行、郵便局、株式會社等の組織について調べてみる ○利息、損益、利廻り等の計算をする ○いろいろな社会現象や自然現象に對して統計をとり函数的考察處理をする</p>	<p>○数と社会、政治生活との関係についてを深める ○数學的處理能力を高める</p>	<p>○統計表、圖表の理解やかき方 ○概數計算能力</p>	<p>○概數計算能力</p>	<p>○統計表、圖表の理解やかき方 ○概數計算能力</p>
<p>問 題</p>	<p>○各種問題について綜合練習</p>	<p>○力の基本的理解と運用能力</p>	<p>○比例、反比例等の函数見たしり運用する能力</p>	<p>○力の基本的理解と運用能力</p>	<p>○力の基本的理解と運用能力</p>
<p>問 題</p>	<p>○力とそれはたきについて調べる ○力と機械との關係について調べる ○力の基本的法則を理解しまとめ ○力に関する問題を解く ○各種雜題について研究する</p>	<p>○力の生活と生活に於ける認識</p>	<p>○機械と生活に於ける認識</p>	<p>○力の生活と生活に於ける認識</p>	<p>○力の生活と生活に於ける認識</p>

理科學習指導年次計畫

指導計畫をどのようにたてたか

- 問題形式の小単元は、必要と關心との焦點を拾いあげ、學習の第一段階を主体的に展開しようとした。
- 単元の配列は、季節に關連づけていつたが、小単元においては季節に適つていないものもあるが、他教科の學習と密接に連絡して、進めるようにした。
- 學習活動については、學習指導要領による一學年間六單元の學習活動内容は豊富で、今の生徒たちには、困難と思われる點もある。そこでこれを組みかえることも考えられるが、参考書が少なく教科書が唯一のものである現状として與えられた教科書を最高度に活用して、できるだけ教科書の順序や内容とタイアップするようにした。なお、教材の多いための時間の不足は生徒の實力に應じて取捨選擇して負擔過重にならないようにしたい。
- 時間の配當は、上に述べたような事情と主旨に基づいてわりだした。
- 指導の目標重點は、效果判定、その活用の材料ともなるようにした。
- 備考は、指導上の注意、連絡事項、参考圖書、映畫等の一部をあげた。

—(參)は参考書 (映)は視覺教育案内映畫 (國)は國語 以下これにならう—

(八月二十日現在の資料による)

月	季節と行事	單元(時間)	學習活動	指導の目標	備考
4	始業式 入学式 (一年生) 學級役員選挙 お祭 遠足 播種期 保護者會總會	○理科學習をどのようにしたらいいか (1) 13 星 (22) ○星はどのようになりはめられているか (2) ○空の神秘はどのようになりはめられているか (2) ○望遠鏡はどんな仕組みになっているか (4)	○二年の學習の反省と三年の學習計畫について話しあいをしその計畫表を作り教室にはる ○生活經驗の發表をしあう ○夜空を仰いで星をよくながめて星座のおもしろさや星の美しさを味わってみる ○傳説神話等について調べ話しあう ○星のよび方や星座の見方について毎夜観察して帳面に記録する ○月や星はどの位役に立ってきたか、迷信や傳説を聞いたり讀んだりして發表しよう ○星の運行についてどのように考えられ研究されてきたか調べてみる、又その運動を圖にかいてみる(理科年表を参考) ○天文學の發達(太陽中心説)がどのような経路をたどつて明らかになったか調べ話しあいをする ○簡単な望遠鏡を作つてみる ○レンズについての光の性質について實驗観察する ○光源焦點像の關係について實驗し圖にか	○研究心の導きとして探りを入れ問題を見る眼を養う ○計畫的學習をする ○前もつて參考書を與える ○宇宙の廣大さと星座の美しさを感得させる ○導きの段階であり興味や疑問を起すようにする ○太陽中心説がどのような理由づけられてきたかについて研究させる ○望遠鏡の仕組みを理解させる ○使用法、手入れについても注意する	○單元1 (社) 中學三年 ○日記から (國) 中學一年 ○新星 (國) 中學三年 ○冬の星 (理) 小學二年 ○涼み臺 (國) 中學一年 ○理科年表 (參) ○ダンネマンの大自然科學史 ○天文と宇宙 (參) ○四季の星座 (參) ○大宇宙の旅 (參) ○天文新話 (參) 恒星社刊 ○科學雜誌 ○理科17 微生物 ○寫真機 (理)

父天	兄弟	會節	身	體	檢	査	夜	八	八	5
たごの節句	八十八夜	○萬有引力とはどのようなものか (1) ○太陽は私たちにどのようなはたらきをしているか (4)	○萬有引力はどのようにして明らかになされたか調べ話しあう ○萬有引力がどのように働いているか調べる ○引力の法則はどのように私たちの生活を豊かにしてきたか調べて話しあいをする ○太陽の構造について参考書や人からきいて調べ話しあいをする ○太陽光線スペクトルについて實驗観察を	○萬有引力がどのようににはたしているかについて理解させる ○太陽の構造を調べる ○太陽の観察は特に注意する	○太陽系の構造を明らかにする ○惑星についていろいろの本によつて調べる	○望遠鏡の發明改良があつて見える範囲が廣まつた ○歐者座(カペラ) 牡牛座(アルデバラン)等みるのにいい	○ダンネマンの大自然科學史 ○調和を保とうとする傾向が大宇宙にみられる ○望遠鏡での太陽觀測は特に注意する ○物理I、高等學校用	小學五年 ○物理 (I) 文部省 ○望遠鏡 (映) 科學雜誌 ○望遠鏡の發明改良があつて見える範囲が廣まつた ○歐者座(カペラ) 牡牛座(アルデバラン)等みるのにいい	小學五年 ○物理 (I) 文部省 ○望遠鏡 (映) 科學雜誌 ○望遠鏡の發明改良があつて見える範囲が廣まつた ○歐者座(カペラ) 牡牛座(アルデバラン)等みるのにいい	5

創立記念日 大掃除	する ○太陽熱はどのように私たちの生活を豊かにしたかについて調べ話しあいをする ○季節はどうしてできるか模型を作つていろいろ実験し調べてみる ○地球の自轉公轉について理解する ○時間や時刻は何によつてきまめるか眞太陽日平均太陽日恒星日とはどのようなものか調べる ○日時計を作つて實驗し正確な時計と比べてみる ○曆の歴史について調べ話しあいをする ○月の觀測をして月の形の變化や月の出の時刻などについて調べる ○月の満ち欠けについて模型を作つて實驗する ○日食や月食はどのようにして起るか模型について調べる ○潮の満干はどおりして起るか調べる ○宇宙の廣さについて調べ話しあいをする ○銀河系宇宙とはどんなものか調べて話しあいをする ○星雲や星團をみてこの大宇宙を想像する ○星の年週運動について調べる	○太陽熱の利用を學ぶ ○季節のできるわけについて研究する ○曆のでき方について理解する ○日食や月食のできるわけを調べる ○大宇宙のなりたちらの概要をつかむ ○星の年週運動より約一晩で半年分の星をみる事ができる	○理科年表又は曆によつて四季の變化を調べておくといひ ○理科年表 ○黒い太陽(映) ○日蝕(映)
立	○日食と月食はどおりして起るか(2)		
小	○大宇宙はどのようにしてできているか(3)		
單			

春(かいこ)の掃立	○明かるい星(一、二等星)をえらびだしてそれで星圖をつくつてみる ○夜空の星を星座とくらべてみいろいろの疑問を發表しあい解決につとめる ○天空の事象とその利用について調べ話しあいをする ○星の觀察帳を整理する ○私たちがかかつかつた病氣の經驗や見聞について話しあう ○傳染病にはどのようなものがありどのような手だてをつくとして豫防しているか調べ話しあいをする ○傳染病が明かにされた道すじについて調べ話しあいをする ○パスツールコッホ野口英世等の傳記を調べグループで分擔して發表しあう ○簡単な顯微鏡をつくつて見る ○どのようににレンズが組合わさつているのかがいいか實驗してみる ○望遠鏡と比較してみてそれぞれの特徴をあげてみる ○顯微鏡の取扱について話しあいをする	○毎月同じ星空を見るためには約二時間毎早めればよい ○疑問を整理しこれからの問題とする ○導きの段階としてこの學習の必要性を感得させる ○學者の苦心と學問の發達について學ぶ ○顯微鏡の取扱い方について實習しなれる	○まとめの段階ではあるがこの一年間總括的に天空の觀察をするようにする ○自然の精緻(映) ○傳記物を與える ○理科B星 ○パスツール等の傳記 ○野口英世(映) ○科學雜誌(參) ○植物顯微鏡(參) ○顯微鏡寫眞摘要(參) ○生物實驗法(參) ○檢鏡生物學(參) ○臺數が少くないから準備をよくし先に各班のリーダーを作るのがいいと思う
苗	○星と私たち(1) 17 微生物(23) ○傳染病の本體はどのようにして明らかになされたか(3)		
小運動會	○顯微鏡はどんな仕組になつているか(3)		

6	芒 時の記念日 衣服の虫干 食品の貯蔵 入 麥刈農事多忙 田 農 夏 蚊 雷	種 念 虫 貯 梅 多 植 み 至	○微生物はどのようにして発生するか(5) ○病原體にはどのようなものがあるか(2)	○細胞(たまねぎ、むらさきゆづり)や微生物(プラントトン、かびとうじ等)をのぞいて取り扱い手入れになれる ○一般の生物の分布の仕方をしらべる ○昆虫や植物の種子はどんな方法でその子孫をふやしているか ○以前は植物の全く生えてなかつた空地で今はどんな種類のものが生え又それがどんなに移つてきたか調べる ○微生物の発生についてのよりに考えられてきたか調べて話しあひをする ○じやがいも菌、空中細菌の発生等について培養菌を作つて實驗觀察する ○病院を見學して病原體を檢鏡しその特徴を觀察し又いろいろ病原體の話をきく ○細菌の形、種類、運動、繁殖、抵抗力等について調べて話しあひをする ○顯微鏡が病院でどのように利用されているか話をきく	○生物は生物からというこ とを明らかにする ○自然發生説とはどんなこ とが理解する ○各班で實驗する時にしん ちようにするよう注意す る ○病原體の特徴をつかむ	○生物學のひびき(參) ○種子の散布(映) ○時の記念日に時間のきめ 方について話しあひをす るといい ○蠅(映) ○蚊の一生(映)
---	--	---	--	--	---	--

7	公開研究会 半 小 た 自由研究会 水 士 傳	夏 至 暑 た ば た 秋 用 病	○病氣はどのよう な経路をたどつ て移るか ○傳染病の豫防や 治療はどのよう にしたらよいか ○傳染病と私たち (3)	○病氣の移り方について經驗や見聞につい て話しあひをする ○潜伏期とはどんなものか調べる ○はえは衛生上どんな害をするかしらべて みる、又はえ退治をする ○私たちは病氣に對してどのよりの抵抗力 をもつているか調べる ○傳染病豫防のために先人はどのような努 力をつづけたか調べて話しあひをする ○ワクチン、血清について調べる ○消毒薬、治療薬の進歩について調べて話 しあひをする ○薬品の原料はどんなものかしらべる ○いろいろな特効薬をあげてみる ○病院を見學しわが國の傳染病と私たちの 心構えについて衛生講話をききその後こ れらのことについて話しあひをする ○結核とその豫防について調べる ○法定傳染病とその心構えについて話しあ ひをする ○細菌の利用はどのよりにされているか調 べてみる ○傳染病のない明るい社會や丈夫なからだ をつくるための心構えについて話しあひ	○病氣はどんな場合に移る かについて研究させる ○病氣の豫防治療の方法に いて理解させる ○整理の段階としてよくま とめさせる ○結核については特によく 指導する ○アメリカカの衛生思想など と比較して向上をはかる	○はえやかまでもでてくる時期 であるから適時指導する ○腕(映) ○蚊の一生 映) ○傳染病のこころやすい時 期である 話をきいたり調べたりす るだけでなく豫防の方法 を實踐する ○理科8からだ ○夏の衛生 小學五年 ○私たちのからだ林藤著 ○甘酒とアルコール(理) 小學五年
---	--	---	--	--	--	--

大夏	暑み	○夏休みをどのよう にすごしたら よいか(2)	をし作文する ○自由研究、問題について話しあいをする ○夜空の星座の観察の反省やこれからの準備をする ○傳染病にかからぬようにする ○なるべく機械の研究や電気應用の作品をつくることについて話しあいをする	○自主的研究とし楽しめる ようにしたい ○蝸(さそり)座織女、牽牛、 天の川を見るのにいい ○星の観測の好期
9	二學期始業	○どのように研究 してきたか(2)	○自由研究発表会をする ○自分の研究の成果や反省を發表し話しあ いをする ○作品をならべて批評しあいなどのようなど ころに苦心しているか話しあう ○これからのどのように研究していつたらい いか ○機械的なはたらきを利用した道具や機械 のこどについて見聞したことを發表し話 しあいをする ○機械や道具がどのようにしてできたか知 っていることを話しあう ○機械の種類をあげてみる ○どのように研究したらいいか話しあう ○古代の人々はどのようにより道具を使つてき たか本をよんで調べて話しあいをする	○作品を尊重する態度に注 意 ○九月下旬の自由研究發表 の準備にとりかか ○歴史 ○大自然科學史ダメンマン ○物理(2)(3) ○高等學校用 ○工業と連絡 ○農業 ○中學二年 ○歴史
水	泳大會	○機械はどのよう にできたか(1)	○機械の發達のみちすじを 理解する	○完成への苦心を體得する ○整理をよくする態度を養 う
自由發	研究會	○道具はどのよう に使つてきたか (2)	○参考書等によつて前もつ て調べておく ○機械學習の段階であ るからこの時間に全體の みとをしを興え計畫を立 てる ○エネルギー保存の法則を 理解させると共に道具の 發達は如何に人類相互の	

9	彼	岸	○人類の偉さについて話しあう ○からだのする仕事と力學的な仕事とはど のようなものか調べる ○道具と仕事とはどうい う関係があるか調 べる ○道具の發達と人類の發達について調べ しあいを ○私たちの村の農業機械にはどのよう なものがあるか調べて表 にする ○ひもをどのよう に利用しているか ○滑車を 話しあ いする ○滑車はどのよう に利用されているか 調べる ○滑車を使うとど のよう な得があるか 實驗 して みる ○棒はどのよう に利用されているか ○さおばかりの支 點力點の關係につ いて 研究する ○てこの理と偶力 について調べる ○運動エネルギー 打撃の效果は速度 とどの よう な關係があるか 調べる ○棒の彈性を利用 したものはどのよ うなものか調べる ○彈性利用をする のにどのよう なことに留 意しているか調 べる	○世界の農業と收蓄(社 中學二年 ○白鳥座の觀察にいい ○力とその傳達(數) 中學一年 ○運動と安定(數) 中學二年 ○物理(2) ○高等學校用 ○ベクトル圖表につ いては 數學で研究す み ○秋分に際し單元13 星で學 習した地球と太陽 との關 係につ いて更 に話し あ い を す
	秋	分	○幸福を増してきたか かを理 解させる ○機械は仕事の能率を 上げ たり、 新しい發明發見を する 助け になつ ている ○機械の原理を理 解さ せる ○定滑車動滑車のは たら きを 理 解 さ せ る ○釣り合 いの 原 理 を 理 解 す る ○彈性の利用面の理 解を す る	

名	月	○摩擦はどのようにはたらくか(3)	○エネルギーの種類をあげる ○斜面をどのように利用しているか経験を發表しあう ○物の斜面に働く力について實驗してみる ○斜面と摩擦との関係をしらべる ○ねじはどのように利用されているか経験や見聞を發表しあう ○ねじを使うとどのような得があるか調べる ○双物の種類とその特徴をあげてみる ○双物のあつかい方道具の手入等について調べる ○ころや車はどんな所にどのように利用されているか調べて話しあいをする ○轉がり摩擦について實驗してみる ○車の發達利用について調べる ○火力を利用した機械にはどんなものがあるか調べてみる ○ポンズはどのようにして作られてきたか又できているか調べる ○紡績機械は私たちの仕事をどう助けているか ○蒸氣機關はどのようにして作られたか發達をしらべる	○斜面と摩擦面との関係について理解する ○双物のそれぞれについて理解する ○轉がり摩擦について調べる ○パスカルの原理を理解する ○紡績機械の發達と人類文明の進歩について理解する ○蒸氣機關の利用をその特質について理解する	○理科(16) 交通通信 ○月を観察するのにいい時である ○運動と安定(數) 中學二年 ○物理(2) 高等學校用 ○實驗器具を作つて學習すること ○滑り摩擦については數學(二年)で學習してある
虫	音				○力とその傳達(數) 中學一年 ○物理(2) 高等學校用 ○農業と連絡 ○自轉車(理) 小學六年 ○工業工作と連絡 ○理科 7 着物 ○物理 高等學校用 ○産業革命についての讀書や話をすることがいい
大	除	○機械はどのようになつてきたか(5)			

自由研究會	更	○原動機はどのようになり進歩し將來はどうか(2)	○蒸氣機關の特徴を調べる ○機械を作る人や機械はどのようにに發達してきたかを調べる ○現在の工作機械のある工場を見學し工作機械にはどんなものがあり又その用途はどうか調べる ○内燃機關の發達について調べてみる ○ディーゼル機關はどんな特色をもつているか調べてみる ○將來の原動機としてどのようなるものがあるか調べて話しあいをする	○理科16 交通通信 ○理科16交通通信のところ でその原理は學習する ○日頃觀察する機械の特徴 その機械の力の傳達構造 はどうかか注意を向ける ○工業と連絡	○理科(16) 交通通信 ○月を観察するのにいい時である ○運動と安定(數) 中學二年 ○物理(2) 高等學校用 ○實驗器具を作つて學習すること ○滑り摩擦については數學(二年)で學習してある
10	研究會(社會科)	○双物や機械はどのようになつたらしいか(1)	○双物や機械はどのように取り扱つたらいいか調べて話しあいをする ○機械の整備はどのようにしたらいいか學校にある機械について話しあう ○生活の合理化能率化につとめるにはどのような機械を利用したらいいか調べて話しあいをする ○農業の機械化はどのようにすればいいかお互に研究し調べ話しあいをする ○電氣についていろいろの經驗を思い出し發表しあひこの學習の計畫をたてる	○工業圖工と連絡 ○農業と連絡 ○アンドンロメダの大星雲ベガ ○電氣學(參) ○少年技師の電氣學(參) 誠文堂新光社	○力とその傳達(數) 中學一年 ○物理(2) 高等學校用 ○農業と連絡 ○自轉車(理) 小學六年 ○工業工作と連絡 ○理科 7 着物 ○物理 高等學校用 ○産業革命についての讀書や話をすることがいい
秋	祭	○私たちの生活を能率化するにはどうしたらいいか(2) 15電氣(26) ○電氣とはどんなものか(4)	○双物や機械の一般的な取り扱いや手入れを理解する ○生活の合理化と機械のはたらきについて理解する ○經驗の發表より児童生活經驗の内容を探り興味と必要感を起す	○工業圖工と連絡 ○農業と連絡 ○アンドンロメダの大星雲ベガ ○電氣學(參) ○少年技師の電氣學(參) 誠文堂新光社	○力とその傳達(數) 中學一年 ○物理(2) 高等學校用 ○農業と連絡 ○自轉車(理) 小學六年 ○工業工作と連絡 ○理科 7 着物 ○物理 高等學校用 ○産業革命についての讀書や話をすることがいい

運神	會動	稻	農事	農休	明治	11
○電氣はどんなところにあるか知っていることを話しあひする ○電氣をいろいろなる方法でつくつてみる ○電氣には静電氣動電氣のあることを理解する ○電池の構造、はたらきについて調べ又實驗観察する ○電池の種類を調べる ○簡単な電池を作つてみる ○ベンジヤミン、フランクリンの傳記を読む ○電流電壓抵抗の關係をしらべてオームの法則を實驗によつて理解する ○電球の發達構造機能について調べる ○直列並列とはどのようなならびでどのような作用があるか實驗して理解する ○電氣パン焼きや水の電氣分解を實驗しその状態をしらべる	○電氣はどのようなよ なはたらきをするか(8)	○電流はどのよ うなはたらきをするか(8)	○電流はどのよ うなはたらきをするか(8)	○電氣はどのよ うにして作られるか(5)	○電氣はどのよ うにして作られるか(5)	
○物理(1) 高等學校用 ○かいちゆう電燈(理) 小學四年 ○科學雜誌(參) ○かみなりも靜電氣の一種であることに注意 ○フランクリン(參) ○電氣工作に興味をもつ生徒の作品を示しその學習の助長に興味かん起につとめる ○電球(理) 小學六年 ○電氣工事必携 ○理科2水 ○理科9海	○電池の構造、原理を理解する ○オームの法則を理解する ○電流のはたらきについて調べる ○實驗する上の班長の指導を前もつてして危険やまぢがいのないようにする ○電氣パン焼きの使用については注意する	○エチソンの傳記をしらべる ○空罐を利用して三極モーターを製作してどうしてまわるか調べ理解する ○磁石についての經驗を發表しあう ○磁石の性質と極性について調べて話しあひをする ○電流の磁氣作用について實驗観察する ○電流計電壓計の構造とその動作原理を理解する ○モーターは私たちの身のまわりにどのよ うに利用されているか調べて話しあひをする ○發電機の實驗をしどのよ うにして發電されるか調べる ○交流の特質について更に深く調べる ○コイルの位置の誘導する起電力の大きさを圖にあらわしてみる ○水力發電火力發電はどのよ うにするか書物で調べたことを見聞したことについて話しあひし、その特質を理解する ○發電より配電までの系統圖を作つてみる ○電磁誘導作用についてしらべる ○トランスはどのような構造かしらべてみる ○誘導電動機はどのよ うにしてできているかしらべる ○積算電力計の動作原理をしらべる ○コンデンサーの原理について調べて理解する ○コンデンサーにはどのような種類があるか知つていけるものをあげてみるよ	○エチソン(參) ○トランスとモーターの作り方(參) 誠文堂新光社 ○ハンダごてやばさみの使い方に注意する	○エチソン(參) ○トランスとモーターの作り方(參) 誠文堂新光社 ○ハンダごてやばさみの使い方に注意する	○エチソン(參) ○トランスとモーターの作り方(參) 誠文堂新光社 ○ハンダごてやばさみの使い方に注意する	○エチソン(參) ○トランスとモーターの作り方(參) 誠文堂新光社 ○ハンダごてやばさみの使い方に注意する

立霜	紅葉	新嘗	體力測定
○工具はこのよ うな時各自購入しておくとい い ○磁石と電磁石(理) 小學五年 ○モーター(理) 小學五年 ○物理(1) 高等學校用 ○教室内に配線工事して各班の机に電氣が送れるよ うにしたい ○交流理論書(參) ○電氣工作(工業) 中學一、二、三年	○工具はこのよ うな時各自購入しておくとい い ○磁石と電磁石(理) 小學五年 ○モーター(理) 小學五年 ○物理(1) 高等學校用 ○教室内に配線工事して各班の机に電氣が送れるよ うにしたい ○交流理論書(參) ○電氣工作(工業) 中學一、二、三年	○工具はこのよ うな時各自購入しておくとい い ○磁石と電磁石(理) 小學五年 ○モーター(理) 小學五年 ○物理(1) 高等學校用 ○教室内に配線工事して各班の机に電氣が送れるよ うにしたい ○交流理論書(參) ○電氣工作(工業) 中學一、二、三年	○工具はこのよ うな時各自購入しておくとい い ○磁石と電磁石(理) 小學五年 ○モーター(理) 小學五年 ○物理(1) 高等學校用 ○教室内に配線工事して各班の机に電氣が送れるよ うにしたい ○交流理論書(參) ○電氣工作(工業) 中學一、二、三年
○電流の磁氣作用について理解する ○製作にあつては生徒が必要道具や部品を調べる態度を養う	○電流の磁氣作用について理解する ○製作にあつては生徒が必要道具や部品を調べる態度を養う	○電流の磁氣作用について理解する ○製作にあつては生徒が必要道具や部品を調べる態度を養う	○電流の磁氣作用について理解する ○製作にあつては生徒が必要道具や部品を調べる態度を養う
○誘導起電力はどのよ うにして起るか理解する	○誘導起電力はどのよ うにして起るか理解する	○誘導起電力はどのよ うにして起るか理解する	○誘導起電力はどのよ うにして起るか理解する
○火力水力發電の原理について概要を理解する ○電磁誘導作用について理解する	○火力水力發電の原理について概要を理解する ○電磁誘導作用について理解する	○火力水力發電の原理について概要を理解する ○電磁誘導作用について理解する	○火力水力發電の原理について概要を理解する ○電磁誘導作用について理解する
○物理16交通通信 ○ラジオ(理) 小學六年 ○交流理論書 ○ラジオ技術 教科書(參)	○物理16交通通信 ○ラジオ(理) 小學六年 ○交流理論書 ○ラジオ技術 教科書(參)	○物理16交通通信 ○ラジオ(理) 小學六年 ○交流理論書 ○ラジオ技術 教科書(參)	○物理16交通通信 ○ラジオ(理) 小學六年 ○交流理論書 ○ラジオ技術 教科書(參)

<p>○電氣をどのように利用したらいいか(1)</p> <p>16交通通信(30)</p> <p>○交通通信機関は(30)どのように進歩してきたか(3)</p> <p>○有線通信にはどのようなものがあるか(4)</p>	<p>○コイルはどのような働きをもっているか調べる</p> <p>○交流に對するコイル自己誘導作用について水流の場合ととえて考え理解する</p> <p>○ラヂオの同調回路はどのような働きをしているか</p> <p>○電波はどのように傳播するか調べる</p> <p>○私たちの生活にどのように利用されてきたか又今後の増産や生活の向上にどのように利用したらいいか調べ話しあいをする</p> <p>○教科書のまえがきを讀む</p> <p>○交通通信機関はどのように大切なものがあるか理解する</p> <p>○この學習をどのように進めたらいいか話しあいて計畫をたてる</p> <p>○通信機關發達の歴史について調べる</p> <p>○音と光はどのように利用されてきたか調べる</p> <p>○音の振動傳播について實驗觀察をする</p> <p>○有線通信にはどのようなものがあるか見聞したことに對して發表しあう</p> <p>○郵便局を見學して通信機構を分擔しグループ學習をする</p> <p>○簡単な電信機を製作してその原理の理解をすると共にその利點缺點について話しあいをする</p>	<p>○コイルの働きをまとめ研究する</p> <p>○同調回路のはたらきを理解する</p> <p>○研究心の導きをする</p> <p>○學習計畫のもとに見學するところ等には前から連絡をとつておく</p> <p>○通信機關の發達史をかき理解する</p> <p>○電信機の構造機能について調べ理解する</p> <p>○郵便局の通信機構の概要を理解する</p>	<p>○小學生當時の作品について研究する</p> <p>○ラヂオ製作に興味を持たせるようにしたい</p> <p>○理科12家</p> <p>○理科16交通通信</p> <p>○理科15電氣</p> <p>○商業1交通及び通信</p> <p>○電氣機關車(映)</p> <p>○社會と連絡</p> <p>○放送局見學は一しよに新聞社の見學をする</p> <p>○新聞の話(國)</p> <p>○中學三年</p> <p>○謎の音(映)</p> <p>○音楽と連絡</p> <p>○物理(IX)(2)</p> <p>○高等學校用</p> <p>○郵便局見學の準備をよくする</p> <p>○オリオン星座大犬座を観察するのにいい時である</p> <p>○電信機と電鈴(理)</p> <p>○小學六年</p>
---	--	---	---

<p>○無線通信はどのようなものがあるか(10)</p>	<p>○電話器の發明はどのようにしてできたか先人の苦心について調べる</p> <p>○電話の原理についてしらべる</p> <p>○電話機はどのようにして一般に普及しているかしらべる</p> <p>○電話交換臺を見學する</p> <p>○電話交換はどのような機構かしらべる</p> <p>○無線通信にはどのようなものがありどう利用されているか話しあいをする</p> <p>○放送局を見學しその施設放送の實況、放送のすじ道等を研究する</p> <p>○單球受信機を製作し受信器の骨組みを確實に理解する</p> <p>○コイルはどんなところに使われどんなはたらきをしているか調べる</p> <p>○受信機各部のコイルはどんなはたらきをしているかしらべる</p> <p>○コンデンサーはどんな性質がありどんなところにどのように使われているかしらべる</p> <p>○抵抗はどんなものがどのように用いられているか又どんなはたらきをしているか調べる</p>	<p>○電話機の構造機能調べ理解する</p> <p>○實驗用電話機を使用する</p> <p>○放送から受信までの概略を理解する</p> <p>○單球受信機の構造機能について理解する</p> <p>○ラジオ受信機に利用されている面から研究しそのはたらきを理解する</p>	<p>○電話遊び(理)</p> <p>○小學四年</p> <p>○中學二年</p> <p>○Belland Telephone(英)</p> <p>○グラハムベルの傳記(參)</p> <p>○ラジオ(理)</p> <p>○小學六年</p> <p>○多休みの研究問題をつかむようにする</p> <p>○ラジオ技術教科書(參)</p> <p>○僕らのラジオ(參)</p> <p>○解説無線工學(參)</p> <p>○共立出版株式會社</p> <p>○小學生の時に製作に鑛石受信機でも研究する</p>
------------------------------	--	--	---

<p>○無線通信はどのようなものがあるか(10)</p>	<p>○電話器の發明はどのようにしてできたか先人の苦心について調べる</p> <p>○電話の原理についてしらべる</p> <p>○電話機はどのようにして一般に普及しているかしらべる</p> <p>○電話交換臺を見學する</p> <p>○電話交換はどのような機構かしらべる</p> <p>○無線通信にはどのようなものがありどう利用されているか話しあいをする</p> <p>○放送局を見學しその施設放送の實況、放送のすじ道等を研究する</p> <p>○單球受信機を製作し受信器の骨組みを確實に理解する</p> <p>○コイルはどんなところに使われどんなはたらきをしているか調べる</p> <p>○受信機各部のコイルはどんなはたらきをしているかしらべる</p> <p>○コンデンサーはどんな性質がありどんなところにどのように使われているかしらべる</p> <p>○抵抗はどんなものがどのように用いられているか又どんなはたらきをしているか調べる</p>	<p>○電話機の構造機能調べ理解する</p> <p>○實驗用電話機を使用する</p> <p>○放送から受信までの概略を理解する</p> <p>○單球受信機の構造機能について理解する</p> <p>○ラジオ受信機に利用されている面から研究しそのはたらきを理解する</p>	<p>○電話遊び(理)</p> <p>○小學四年</p> <p>○中學二年</p> <p>○Belland Telephone(英)</p> <p>○グラハムベルの傳記(參)</p> <p>○ラジオ(理)</p> <p>○小學六年</p> <p>○多休みの研究問題をつかむようにする</p> <p>○ラジオ技術教科書(參)</p> <p>○僕らのラジオ(參)</p> <p>○解説無線工學(參)</p> <p>○共立出版株式會社</p> <p>○小學生の時に製作に鑛石受信機でも研究する</p>
------------------------------	--	--	---

1	正月 小雪 自由研 発表	月 寒 究 會 寒	<ul style="list-style-type: none"> ○同調回路とはどんなものでどんなとき同調がとれるか又そのはたらきをしらべ ○電波光波音波を比較してみる ○電波を波長で分類してみる ○ラジオの電波は無線電信の電波とどう違うかしらべる ○音聲はどのように送信されどうして再現されるかしらべる ○受信機はどのようにに發運してきたかラジオの歴史について調べ話しあいをする ○熱電子管の動作原理について研究する ○真空管はどのようにして進歩してきたかしらべる 	<ul style="list-style-type: none"> ○鑽石受信機で十分判れば同じである鑽石受信機を利用するのがよい ○變調について理解する ○真空の動作原理とその働きについて理解させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○電氣振動と電磁波の大略にふれたい ○物理(2) 高等學校用 ○鑽石ラジオで十分よくわかるまで學習するようにしたい ○解説無線工學 共立出版株式會社 ○オーレルウェーヴの話(映) ○物理(2) 高等學校用
2	立春	春 分	<ul style="list-style-type: none"> ○二極三極四極等それぞれの構造機能をしらべる ○真空管はどのようなはたらきをするか又それぞれのはたらきに適した球をあげ分類してみる ○受信機の配線圖の讀み方を練習し實物と照合する 	<ul style="list-style-type: none"> ○變品をあつめて内部を研究するといい ○實驗には注意し危険のないようにする ○研究準備の上實物にあたり機械を破損しないようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ○廢品をあつめて内部を研究するといい ○實驗には注意し危険のないようにする ○研究準備の上實物にあたり機械を破損しないようにする

1	正月 立春	月 寒 究 會 寒	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の家のラジオ受信機についている真空管をしらべどのように動作しているか研究し話しあいをする ○交通機關にはどんなものがあるか見聞していることを發表しあう ○昇へ行つて蒸氣機關の見學をしその話をきく ○蒸氣機關はどのようにして廣くつかわれているかその機構特徴について研究する ○ピストンはどのようにに動いているか ○自動車はどのようにして起るか機關や各部の構造について觀察研究する ○ガソリン機關のピストンはどのようにに運動しているか模型や圖によつて研究する ○速さのレコードを調査する ○流線型について話しあいをする ○蒸氣タービンとはどんな構造でどんなに利用されているか研究する ○蒸氣タービンと蒸氣機關との差をしらべてみる ○燒玉機關とはどんなものでどのようにに利用されているか ○ジーゼル機關はどのようににでき、どんなものか研究する 	<ul style="list-style-type: none"> ○メーターの使用になれる ○蒸氣機關車のピストンの動きとこの機關の特質を理解する ○ガソリン機關の動作原理を理解する ○自動車の構造機能を理解する ○電氣タービンの構造の概要を會得する ○ジーゼル機關の特質を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○總べて班別にリーダーを養成しておく ○點寒時と冬至について關心をむける ○研究は時間の關係上グループ學習として發展したい ○南船北馬(國) 中學二年 ○運動と安定(數) 中學三年 ○自由研究の指導をし三月の展覽會の準備をする ○理科16交通通信
2	立春	春 分	<ul style="list-style-type: none"> ○交通機關にはどんなものがあるか見聞しているか(5) 	<ul style="list-style-type: none"> ○メーターの使用になれる ○蒸氣機關車のピストンの動きとこの機關の特質を理解する ○ガソリン機關の動作原理を理解する ○自動車の構造機能を理解する ○電氣タービンの構造の概要を會得する ○ジーゼル機關の特質を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○總べて班別にリーダーを養成しておく ○點寒時と冬至について關心をむける ○研究は時間の關係上グループ學習として發展したい ○南船北馬(國) 中學二年 ○運動と安定(數) 中學三年 ○自由研究の指導をし三月の展覽會の準備をする ○理科16交通通信

<p>公開研究会</p>	<p>○蒸気機関蒸氣タービン鏡玉機関の利害得失を比較する</p> <p>○海上機関の利害得失について検討する</p> <p>○航空機の發達とその特質を調べ話しあう</p> <p>○近在のバス列車の輸送について調査をする</p> <p>○近在の橋についての調査研究する</p> <p>○交通路はどのようになつていたら理想的か研究をし發表しあう</p> <p>○今後の交通路はどうか研究し話しあいをする</p> <p>○生活改善はどのような考えでなければならぬか話しあう</p> <p>○わが國の家庭生活(衣食住)で改善しなければならぬ点について調査し話しあいをする</p> <p>○生活を更に能率的合理的にすることのできる面をあげその具體策をたて理想案をつくる</p> <p>○電氣機械を家庭にどのように合理的に取り入れたらいいか調べその理想案を作つてみる</p> <p>○どんな面に學校生活の物に關した點での改善があるか話しあいをする</p>	<p>○たこあげ(理) 小學六年 ○物理(3) 高等學校用</p> <p>○理科12家 ○たこあげをするところである ○そのあがる原理を考へる</p> <p>○理科單元から單元17まで ○みな關係している綜合的 ○單元とみることができ ○家庭2生活改善 ○家庭2住宅 ○社會連絡 ○燃料讀本(映) ○工業と連絡</p> <p>○社會と連絡 ○小學校(映) ○よりよき明日(映)</p>
<p>○今後の交通はどのように發達するだらうか(2)</p> <p>18生活(12) ○家庭生活の改善(物に關した點) はどのようになりしたらいいか(3)</p> <p>○學校生活の改善をどのようになりしたらいいか(1)</p>	<p>○交通機關の進歩は交通路の發達整備によらなければならぬことを理解する</p> <p>○まとめの段階であり今後の私たちの生活を豊かにするよう導く</p> <p>○研究心を導き科學的な考へ方を理解する</p> <p>○中學生になつての理科學習のまとめの研究であるから、あらゆる面から検討し研究する</p> <p>○校舎施設備品はどうか考えればならぬか科學的考へ方を考える</p>	<p>○たこあげ(理) 小學六年 ○物理(3) 高等學校用</p> <p>○理科12家 ○たこあげをするところである ○そのあがる原理を考へる</p> <p>○理科單元から單元17まで ○みな關係している綜合的 ○單元とみることができ ○家庭2生活改善 ○家庭2住宅 ○社會連絡 ○燃料讀本(映) ○工業と連絡</p> <p>○社會と連絡 ○小學校(映) ○よりよき明日(映)</p>

<p>3 桃の節句</p>	<p>○校舎や學校施設で改善しなければならぬ点あげ研究する</p> <p>○衛生上よりどのような點を改善したらいいか調査し話しあいをする</p> <p>○防火施設等について考察し備えある生活はどのようになりたいいか研究する</p> <p>○社會生活の改善はどのようになりたいたか調べ話しあいをする</p>	<p>○わが國の地勢と氣候とはわれわれの生活様式に大きな影響を與えている</p>
<p>父兄會</p>	<p>○慰安施設保健施設にはどのようなものがあるか又どうししなければならぬか研究する</p> <p>○温泉の分布調査泉質の調査、どんなきめがあるかの調査をする</p> <p>○温泉の保健上の利用について調べ又その施設の改善意見などを發表しあい理想的な計畫案をたてる</p>	<p>○社會生活の合理化はどうか検討する</p> <p>○保健施設はどうか検討する</p> <p>○二年の時行つた温泉について記録をしらべる</p>
<p>展覽會</p>	<p>○國立公園についての調査研究をする</p> <p>○公園の地圖寫眞を集めて整理する</p> <p>○日光國立公園について調査しその觀光計畫案をたてる</p>	<p>○社會と連絡 ○町の發達(映) ○尾瀬(映)</p>
<p>學藝會</p>	<p>○國立公園はどのようになりたいいか</p>	<p>○觀光日本という點から調べる</p>

草花の橋種	雨	岸分式	○都市計画はどのようになりか ○都市計画はどのようになりか 理解する	○社会と連絡 ○星の観測の整理をする
春			○宇都宮市の都市計画を検討してみる ○宇都宮市の一區劃についてその家屋道路の分布を調べ考察する ○私たちの今後の生活はどうあるべきか話しあいをする	○春分について理解を深める ○社会と連絡 ○実験器具や研究の整理をして次の三年生に引き継ぐ
彼春本			○いままでの研究をまとめ ○中学生になつてどのようにな理科学習をしてきたか反省する ○私たちの学習をどのように活かしていつたらいいか話しあいをする	○整理活用の段階であり科学的な生活態度に導く
			○都市計画はどのようになりか ○都市計画はどのようになりか 理解する	

音楽科学習指導年次計画

立案の趣旨

- 音楽教育目標を達成するために児童生徒の発達、環境、学習目標を考え合わせて立案することとした。
- 学習目標の要項は文部省で単元として発表されているのでこれにならつた。
- 題目のとり方は単元の項目をとると系統的学習は出来るが児童、生徒の心情に合わない活動が多くなるので主として歌唱教材の題目をとつた。そして学習の場では目標達成のための種々な活動が行われるようにした。
- 学習活動の内容は歌唱、鑑賞、器樂、作曲を中心としその特記すべき要項だけあげた。
- 単元との関係とは学習活動の目標が単元のどれになつているかということをかいた。
- 他教科との連絡は備考欄にあげた。
- 学習結果の考査は音楽学習の特質から毎時行われているので特別あげなかつた。
- この計画の他に音楽科単元各項目の学習系統案ともいふべきものがある。例えばリズム、メロディ、ハーモニー等の学習系統案、器樂学習系統案、創作学習系統案、音楽の形式、構成、音楽史等の系統案等この系統案がいつも年次計画の基本となつている。